

泉 中 学 校 空 調 整 備 工 事

(建 築 主 体 工 事)

図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
A-01	工事標準仕方書（1）	A-32	南棟校舎改修前3階天井図		
A-02	工事標準仕方書（2）	A-33	南棟校舎改修後1階天井図		
A-03	改修工事特記仕様書（1）	A-34	南棟校舎改修後2階天井図		
A-04	改修工事共通仕様書（2）	A-35	南棟校舎改修後3階天井図		
A-05	改修工事共通仕様書（3）	A-36	南棟校舎改修前断面図		
A-06	改修工事共通仕様書（4）	A-37	南棟校舎改修後断面図		
A-07	配置・案内図	A-38	南棟校舎標準詳細図-1		
A-08	管理棟校舎1、2階平面図	A-39	南棟校舎標準詳細図-2		
A-09	管理棟校舎3階平面図	A-40	南棟校舎改修後矩計図		
A-10	管理棟校舎改修前1階天井図	A-41	1階建具配置図		
A-11	管理棟校舎改修前2階天井図	A-42	2階建具配置図		
A-12	管理棟校舎改修前3階天井図	A-43	3階建具配置図		
A-13	管理棟校舎改修後1階天井図	A-44	建具表（1）		
A-14	管理棟校舎改修後2階天井図	A-45	建具表（2）		
A-15	管理棟校舎改修後3階天井図	A-46	ローリング計画図		
A-16	管理棟校舎改修前断面図	A-47	仮設校舎 平面図・断面図（参考図）		
A-17	管理棟校舎改修後断面図	A-48	仮設校舎 立面図・断面図（参考図）		
A-18	管理棟校舎標準詳細図-1	A-49	仮設校舎 設備図1（参考図）		
A-19	管理棟校舎標準詳細図-2	A-50	仮設校舎 設備図2（参考図）		
A-20	管理棟校舎改修後矩計図	A-51	仮設校舎 附近見取図・配置図・各様面積計算表（参考図）		
A-21	東棟校舎1、2、3階平面図	A-52	仮設校舎 敷地求積図・ボーリング柱状図（参考図）		
A-22	東棟校舎改修前後1階天井図				
A-23	東棟校舎改修前後2階天井図				
A-24	東棟校舎改修前後3階天井図				
A-25	東棟校舎改修前後断面図				
A-26	東棟校舎標準詳細図-1				
A-27	東棟校舎改修後矩計図				
A-28	南棟校舎1、2階平面図				
A-29	南棟校舎3階平面図				
A-30	南棟校舎改修前1階天井図				
A-31	南棟校舎改修前2階天井図				

防衛施設周辺防音事業		工事標準仕方書（2）																													
3.1 木 工 事 3.1.1 壁胴縁組	3 工 事 仕 様																														
	吸音用あなあきせっこうボード、合板、せん孔合板の下地の壁胴縁組は、原則として45mm×45mmの垂木材を455mm間隔に水平に取り付け、垂直に45mm×45mm／2の貫材を455mm間隔に表面をそろえて組むものとする。壁胴縁のコンクリート壁への添付け工法は、「建築工事監理指針(下巻)」(国土交通省大臣官房官庁審判部監修)の壁及び天井下地に関する事項によるものとする。																														
3.2 金属製建具工事 3.2.1 材 料	金属製気密建具に使用する材料は、次表に掲げる規格に適合するものとする。 <table> <tr> <td>鋼製気密建具</td><td>枠、戸及びアンカー</td><td>鋼</td><td> JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」JIS G 3131「熱間圧延軟鋼板及び鋼帯」及びJIS G 3141「冷間圧延鋼板及び鋼帯」に規定する形鋼及び鋼板又はこれらにりん酸塩その他の処理をしたもの。 JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板で、亜鉛の最少付着量は両面で120g／㎡以上のもの。 JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板にJIS H 8610「電気亜鉛めっき」に規定するEp-Fe/Zn 2以上の処理をしたもの。JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」及びJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板で上記に適合するもの。 </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>ステンレス鋼</td><td> JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304。 JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304。 </td></tr> <tr> <td></td><td>アルミニウム合金製気密建具</td><td>枠及び戸</td><td> アルミ H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S。 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P、A1200P、A3003P、A3203P、A5005P、A1050P又はA5052P。 </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>枠及び戸の補助材料</td><td> アルミ H 4100に規定するA6063S。 JIS H 4000に規定するA1100P、A1200P、A3003P、合金 A3203P、A5005P、A1050P又はA5052P。 </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>ステンレス鋼</td><td> JIS G 4305に規定するSUS304。 </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>鋼</td><td> JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板を用い、アルミニウム合金との接触腐蝕を起こさないように表面処理をしたもの。 </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>アンカー</td><td> 鋼 JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板を用い、アルミニウム合金との接触腐蝕を起こさないように表面処理をしたもの。 </td></tr> </table>	鋼製気密建具	枠、戸及びアンカー	鋼	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」JIS G 3131「熱間圧延軟鋼板及び鋼帯」及びJIS G 3141「冷間圧延鋼板及び鋼帯」に規定する形鋼及び鋼板又はこれらにりん酸塩その他の処理をしたもの。 JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板で、亜鉛の最少付着量は両面で120g／㎡以上のもの。 JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板にJIS H 8610「電気亜鉛めっき」に規定するEp-Fe/Zn 2以上の処理をしたもの。JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」及びJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板で上記に適合するもの。			ステンレス鋼	JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304。 JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304。		アルミニウム合金製気密建具	枠及び戸	アルミ H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S。 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P、A1200P、A3003P、A3203P、A5005P、A1050P又はA5052P。			枠及び戸の補助材料	アルミ H 4100に規定するA6063S。 JIS H 4000に規定するA1100P、A1200P、A3003P、合金 A3203P、A5005P、A1050P又はA5052P。			ステンレス鋼	JIS G 4305に規定するSUS304。			鋼	JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板を用い、アルミニウム合金との接触腐蝕を起こさないように表面処理をしたもの。			アンカー	鋼 JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板を用い、アルミニウム合金との接触腐蝕を起こさないように表面処理をしたもの。	3.2.6 建具廻りのモルタル充填	
鋼製気密建具	枠、戸及びアンカー	鋼	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」JIS G 3131「熱間圧延軟鋼板及び鋼帯」及びJIS G 3141「冷間圧延鋼板及び鋼帯」に規定する形鋼及び鋼板又はこれらにりん酸塩その他の処理をしたもの。 JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板で、亜鉛の最少付着量は両面で120g／㎡以上のもの。 JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板にJIS H 8610「電気亜鉛めっき」に規定するEp-Fe/Zn 2以上の処理をしたもの。JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」及びJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板で上記に適合するもの。																												
		ステンレス鋼	JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304。 JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304。																												
	アルミニウム合金製気密建具	枠及び戸	アルミ H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S。 JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P、A1200P、A3003P、A3203P、A5005P、A1050P又はA5052P。																												
		枠及び戸の補助材料	アルミ H 4100に規定するA6063S。 JIS H 4000に規定するA1100P、A1200P、A3003P、合金 A3203P、A5005P、A1050P又はA5052P。																												
		ステンレス鋼	JIS G 4305に規定するSUS304。																												
		鋼	JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板を用い、アルミニウム合金との接触腐蝕を起こさないように表面処理をしたもの。																												
		アンカー	鋼 JIS G 3131又はJIS G 3141に規定する鋼板を用い、アルミニウム合金との接触腐蝕を起こさないように表面処理をしたもの。																												
		3.3 木製建具工事 3.3.1 材 料																													
		3.3.2 製 作																													
		3.3.3 気密締金具																													
		3.3.4 気密バックング																													
		3.3.5 気密バックング取り付け																													
		3.4 ガラス工事 3.4.1 ガラス止め																													
		3.4.2 工 法																													
		3.5 内装工事 3.5.1 グラスウール吸音ボード張り																													
		3.5.2 成形板張り																													
		3.5.3 下地合板張り																													
		3.5.4 揭示板用壁装材張り																													
		3.6 雑工事 3.6.1 建具間吸音層																													
		3.6.2 消音自然換気口																													
		3.6.3 ガラリ排気口																													
3.2.2 加工及び表面処理	金属製気密建具の加工及び表面処理は、JIS A 4702「ドアセット」又はJIS A 4706「サッシ」に定めるもののほか、次のとおりとする。 a 鋼製気密建具の切断、溶接、ビス止め等の材料損傷箇所は、ジンクリッチペイントなどにより処理し、JIS K 5629「鉛酸カルシウムさび止めペイント」に規定する塗料又はこれらと同等以上のさび止め性能を有する塗料2回塗りとする。 b アルミニウム合金製気密建具の被膜処理は、JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装被膜」に規定する被膜の種類B又はこれと同等以上の性能をもつ表面処理を施すものとする。																														
3.2.3 金 具	金属製気密建具に使用する付属金具は、見え掛り部は材質をJIS H 5120「銅及び銅合金鋳物」に規定する黄銅鋳物、JIS H 5301「亜鉛合金ダイカスト」に規定する亜鉛合金ダイカスト又はJIS H 5302「アルミニウム合金ダイカスト」に規定するアルミニウム合金ダイカストとし、JIS H 8617「ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき」に規定するニッケルクロムめっきを施すものとする。 特に、摩耗運動の激しい部分は、JIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC2600、C2700又はC2800の銅合金、JIS G 4051「機械構造用炭素鋼鋼材」に規定するS45C又はS48Cの焼入鋼或いはJIS G 4303「ステンレス鋼棒」又はJIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304のステンレス鋼を使用するものとする。 取り付けねじ類は、JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4308「ステンレス鋼線材」、JIS G 4314「ばね用ステンレス鋼線」若しくはJIS G 4315「冷間圧造用ステンレス鋼線」に規定するステンレス鋼又はニッケルクロムめっきを施したJIS G 3505「軟鋼線材」に規定する軟鋼線材を使用するものとする。 なお、アルミニウム合金製気密建具に使用するねじ類等には、接触腐蝕を起こさない材料を使用するか又は表面処理を施したものを使用するものとする。 なお、防火設備に使用する引き寄せハンドル及び受にステンレス鋼を使用する場合は、JIS G 5121「ステンレス鋼鋳鋼品」に規定するステンレス鋼鋳鋼品とする。																														
3.2.4 性 能	金属製気密建具の性能は、JIS A 4702又はJIS A 4706に定める耐風圧性の等級S－5以上、気密性の等級A－4及び水密性の等級W－5以上に適合するものとする。																														
3.2.5 気密機構	a 金属製気密建具の気密機構は、建具の可動部に設けた2箇の引き寄せハンドルとこれに連動する楯に隠べいた連動締により、建具を窓枠に固定できる構造とする。 建具の固定箇所は閉鎖時において、可動部の高さが1.2m未満のものにあつては4箇所、1.2m以上のもの及び1.2m未満でも気密保持のため特に必要なものにあつては6箇所とする。 ただし、区分5の金属製気密建具の気密機構は、引き寄せハンドルとこれに連動する楯に隠べいた連動締により、建具を窓枠に固定する構造とするか、又は開閉繰り返し試験(JIS A 1550「サッシの開閉繰り返し試験方法」に規定する開閉操作に、クレセントが掛かる状態まで建具を閉じる条件を過																														
		備考																													
		承認覧																													
		工事名称	泉中学校空調整備工事																												
		図面名称	防衛施設周辺防音事業工事標準仕方書（2）																												
		図面番号	A-02																												
		日付																													

別 表 設 計 計 画 表

(1)教育関係施設(鉄筋コンクリート造等)設計計画基準							
工事種別			1 級 工 事		2 級 工 事	3 級 工 事	4 級 工 事
開口部	施工室～外部		区分4の金属製気密建具(5)＋建具間吸音層＋木製気密建具(3)又は金属製普通建具(3)	区分1及び区分2の金属製一部二重気密建具若しくは区分4の金属製気密建具(5)＋建具間吸音層＋木製気密建具(3)又は金属製普通建具(3)	区分4の金属製気密建具(5)	区分5の金属製気密建具(5)	金属製普通建具(3)
	施工室～廊下		木製気密建具(3)又は金属製普通建具(3)	普 通 仕 上 げ			
	廊下～外部		区分4の金属製気密建具(5)	区分1及び区分2の金属製一部二重気密建具若しくは区分4の金属製気密建具(5)＋建具間吸音層＋木製気密建具(3)又は金属製普通建具(3)	区分4の金属製気密建具(5)	区分5の金属製気密建具(5)	金属製普通建具(3)
天井	施工室	一般教室 特別教室 管理諸室 オーブンスペース	せっこうボード(9.5)＋ロックウール化粧吸音板(9)。ただし、講堂においては、グラスウール吸音ボード(40)仕上げとして差し支えない。また、畳敷きの施工室は、普通仕上げとして差し支えない。				
	廊 下		平せっこうボード(9.5)＋ロックウール化粧吸音板(9)	吸音用あなきせっこうボード(9.5)(周囲平せっこうボード(9.5))	普 通 仕 上 げ		
壁	施工室	小壁	せん孔合板(5.5)若しくは吸音用あなきせっこうボード(9.5)。ただし、畳敷きの施工室は、普通仕上げとして差し支えない。			普 通 仕 上 げ	
		中壁	合板(5.5)＋揭示板用壁紙。ただし、畳敷きの施工室は、普通仕上げとして差し支えない。				
		腰壁	普通仕上げ				
	管理諸室壁		普通仕上げ				
	廊下壁		普 通 仕 上 げ				
柱・はり型			普 通 仕 上 げ				
換気	給 気		送風機による強制給気				
	排 気		原則として、消音排気口により廊下に自然排気の上、消音部分を有するダクトを経て排風機により屋外へ排気	原則として、ガラリにより廊下に自然排気の上、消音部分を有するダクトを経て排風機により屋外へ排気			
空調	除 湿		冷却除湿方式とする。				
	湿 度 保 持		原則として湿風暖房方式とする。				
その他			正面黒板側は、特別の場合を除き音響材料又は工法を用いない。				
			天井吸音材は、はり型を除外した部分に取り付ける。				
			柱型、小壁については、工場成型品以外の軟質材料を使用しない。				
			施工室又は廊下と外部に接する壁体は、原則として鉄筋コンクリート150mm(仕上げを含む厚さ)以上とする。				
			施工室と廊下間の壁が木造等の場合には、せっこうボード(9.5)を張り立てる。				

(備考) 1 表中建具の区分は、1の2の2.3建具の遮音量の表中の区分を示す。
 2 表中()内数字は、建具にあつてはガラスの厚さを、その他の材料にあつてはその厚さを示す。(単位はmm)

(2)医療関係施設(鉄筋コンクリート造等)設計計画基準					
工事種別		1 級 工 事	2 級 工 事	3 級 工 事	4 級 工 事
外 部 開 口 部		区分1及び区分2の金属製一部二重気密建具若しくは区分4の金属製気密建具(5)+建具間吸音層+木製気密建具(3)又は金属製普通建具(3)	区分4の金属製気密建具(5)	区分5の金属製気密建具(5)	金属製普通建具(3)
天 井		せっこうボード(9.5)+ロックウール化粧吸音板(9)。ただし、畳敷きの施工室及び手術室、レントゲン室等の特殊な室は、普通仕上りとして差し支えない。			
壁		普 通 仕 上 げ			
換 気	給 気	送風機による強制給気			
	排 気	原則として、ガラリ等により廊下に自然排気の上、消音部分を有するダクトを経て、排風機により屋外へ排気			
空 調	除 湿	冷却除湿方式とする。			
	温 度 保 持	原則として温風暖房方式とする。			
そ の 他		天井吸音材は、はり型を除外した部分に取り付ける。			
		柱型、小壁については、工場成型品以外の軟質材料を使用しない。			
		施工室又は廊下と外部に接する壁体は、原則として鉄筋コンクリート150㎜(仕上げを含む厚さ)以上とする。			

(備考) 1 表中建具の区分は、1の2の2.3建具の遮音量の表中の区分を示す。
 2 表中()内数字は、建具にあつてはガラスの厚さを、その他の材料にあつてはその厚さを示す。(単位はmm)

[illegible]

4	1. 施工調査数量	調査範囲 ※図示 () 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 () 調査報告書 ※ () 部を監督員に提出する。 補修方法 ・図示 () (1. 5. 3)	4	4. 欠損部改修方法	・充填工法 (4. 2. 2) (4. 4. 8) ※欠損部の面積が1箇所当たり0. 25㎡程度以下の場合は <table> <tr> <th>材 料</th><th>製 造 所</th></tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂モルタル</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>・ポリマーセメントモルタル</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ()</td></tr> </table> ・モルタル塗替え工法 (4. 2. 2) (4. 4. 9) 仕上げ厚又は全塗厚が2. 5mmを超える場合の処置 ※図示 () ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 10) (図4. 4. 1) 挿入孔1箇所当たりの充填量 ※25mL () ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 11) (図4. 4. 2) 注入口1箇所当たりの注入量 ※25mL () ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4. 4. 12) 注入口1箇所当たりの注入量 ※50mL () <table> <tr> <th></th><th>アンカーピン本数 (本/㎡)</th><th>注入口の箇所数 (箇所/㎡)</th></tr> <tr> <th>全面注入</th><th>部分注入</th><th>全面注入</th></tr> <tr> <td>一般部分</td><td>※1. 3 ・ ()</td><td>※1. 6 ・ ()</td><td>※1. 2 ・ ()</td></tr> <tr> <td>指定部分</td><td>※2. 0 ・ ()</td><td>※2. 5 ・ ()</td><td>※2. 0 ・ ()</td></tr> </table> 指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう。 浮き面積が1㎡以下の場合は、標準グリッドを当てはめた最大本数程度とする。 狭幅部（幅200以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）には、幅中央に5本/㎡とする。 アンカーピン ※SUS304 呼び径4mm 全ネジ切り加工 (4. 2. 2) ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 13) (図4. 4. 3) ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (4. 4. 14) (図4. 4. 4) ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (4. 4. 15) <table> <tr> <th></th><th>注入口付アンカーピン本数 (本/㎡)</th><th>注入口の箇所数 (箇所/㎡)</th></tr> <tr> <th>全面注入</th><th>部分注入</th><th>全面注入</th></tr> <tr> <td>一般部分</td><td>※9 ・ ()</td><td>※9 ・ ()</td><td>※9 ・ ()</td></tr> <tr> <td>指定部分</td><td>※1. 6 ・ ()</td><td>※1. 6 ・ ()</td><td>※1. 6 ・ ()</td></tr> </table> 指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等をいう。 浮き面積が1㎡以下の場合は、標準グリッドを当てはめた最大本数程度とする。 狭幅部（幅200以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）には、幅中央に5本/㎡とする。 注入口付アンカーピン※SUS304 呼び径6mm (4. 2. 2) <table> <tr> <th>材 料</th><th>注入量 (mL/箇所)</th><th>製造所</th></tr> <tr> <td>・固定用エポキシ樹脂</td><td>・2. 5</td><td>JIS A6024の規格品</td></tr> <tr> <td>・高粘度形</td><td>・ ()</td><td></td></tr> <tr> <td>・注入用エポキシ樹脂</td><td>・2. 5</td><td>JIS A6024の規格品</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ()</td><td></td></tr> <tr> <td>・ポリマーセメントスラリー</td><td>・5. 0</td><td>・ ()</td></tr> </table> ・浮き部分撤去モルタル塗替え工法 (4. 2. 2) 厚さ ※10 () ※検査 テストハンマーによる打診により確認を行い、その結果を監督員に提出し、承諾を受ける。	材 料	製 造 所	・エポキシ樹脂モルタル	・ ()	・ポリマーセメントモルタル	・ ()		・ ()		アンカーピン本数 (本/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)	全面注入	部分注入	全面注入	一般部分	※1. 3 ・ ()	※1. 6 ・ ()	※1. 2 ・ ()	指定部分	※2. 0 ・ ()	※2. 5 ・ ()	※2. 0 ・ ()		注入口付アンカーピン本数 (本/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)	全面注入	部分注入	全面注入	一般部分	※9 ・ ()	※9 ・ ()	※9 ・ ()	指定部分	※1. 6 ・ ()	※1. 6 ・ ()	※1. 6 ・ ()	材 料	注入量 (mL/箇所)	製造所	・固定用エポキシ樹脂	・2. 5	JIS A6024の規格品	・高粘度形	・ ()		・注入用エポキシ樹脂	・2. 5	JIS A6024の規格品		・ ()		・ポリマーセメントスラリー	・5. 0	・ ()	4	5. 浮き部改修方法	1. 施工調査数量 (1. 5. 2) 調査範囲 ※図示 () 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 ※モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。 ※浮き部分を壁面に表示する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 () 調査報告書 ※ (2部) 部を監督員に提出する。 補修方法 ・図示 () (1. 5. 3) ・樹脂注入工法 (4. 2. 2) (4. 4. 5) <table> <tr> <th>材 料</th><th>製 造 所</th></tr> <tr> <td>※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)</td><td>JIS A6024の規格品</td></tr> <tr> <td>・軟質形エポキシ樹脂</td><td>・ ()</td></tr> </table> 注入工法の種類 ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入孔間隔 ※200～300mm間隔 エポキシ樹脂の注入量 () ・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 注入孔間隔 <table> <tr> <th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入パイプの間隔 (mm)</th></tr> <tr> <td>0. 3以下</td><td>50～100</td></tr> <tr> <td>0. 3～0. 5</td><td>100～200</td></tr> <tr> <td>0. 5～1. 0</td><td>150～200</td></tr> </table> エポキシ樹脂の注入量 () 実施する ※実施しない コア抜き取り個数 びび割れ長さ () コアの形状 びび割れ長さ 500mm毎及びその端数につき1個 コアの形状 径50mm 深さ70mm 抜き取り部の補修方法 () ・ウカットシール材充填工法 0. 20mm以上 (4. 2. 2) (4. 4. 6) <table> <tr> <th>材 料</th><th>種 別</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>・シーリング用材料</td><td>※1成分又は2成分形</td><td>・ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr> <tr> <td>JIS A5785</td><td>ポリウレタン系シーリング材</td><td>※行方 行わない</td></tr> <tr> <td>・ ()</td><td>製造所</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>製造所</td><td>・ ()</td></tr> </table> ・シール工法 0. 20mm未満 (4. 2. 2) (4. 4. 7) <table> <tr> <th>材 料</th><th>製 造 所</th></tr> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>・ ()</td></tr> </table>	材 料	製 造 所	※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)	JIS A6024の規格品	・軟質形エポキシ樹脂	・ ()	ひび割れ幅 (mm)	注入パイプの間隔 (mm)	0. 3以下	50～100	0. 3～0. 5	100～200	0. 5～1. 0	150～200	材 料	種 別	備 考	・シーリング用材料	※1成分又は2成分形	・ポリマーセメントモルタルの充填	JIS A5785	ポリウレタン系シーリング材	※行方 行わない	・ ()	製造所	・ ()	・可とう性エポキシ樹脂	製造所	・ ()	材 料	製 造 所	・パテ状エポキシ樹脂	・ ()	・可とう性エポキシ樹脂	・ ()	4	2. 調査のための破壊部分の補修	4	5. 浮き部改修方法	1. 施工調査数量 (1. 5. 2) 調査範囲 ※図示 () 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 ※モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。 ※浮き部分を壁面に表示する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 () 調査報告書 ※ (2部) 部を監督員に提出する。 補修方法 ・図示 () (1. 5. 3) ・樹脂注入工法 (4. 2. 2) (4. 4. 5) <table> <tr> <th>材 料</th><th>製 造 所</th></tr> <tr> <td>※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)</td><td>JIS A6024の規格品</td></tr> <tr> <td>・軟質形エポキシ樹脂</td><td>・ ()</td></tr> </table> 注入工法の種類 ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入孔間隔 ※200～300mm間隔 エポキシ樹脂の注入量 () ・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 注入孔間隔 <table> <tr> <th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入パイプの間隔 (mm)</th></tr> <tr> <td>0. 3以下</td><td>50～100</td></tr> <tr> <td>0. 3～0. 5</td><td>100～200</td></tr> <tr> <td>0. 5～1. 0</td><td>150～200</td></tr> </table> エポキシ樹脂の注入量 () 実施する ※実施しない コア抜き取り個数 びび割れ長さ () コアの形状 びび割れ長さ 500mm毎及びその端数につき1個 コアの形状 径50mm 深さ70mm 抜き取り部の補修方法 () ・ウカットシール材充填工法 0. 20mm以上 (4. 2. 2) (4. 4. 6) <table> <tr> <th>材 料</th><th>種 別</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>・シーリング用材料</td><td>※1成分又は2成分形</td><td>・ポリマーセメントモルタルの充填</td></tr> <tr> <td>JIS A5785</td><td>ポリウレタン系シーリング材</td><td>※行方 行わない</td></tr> <tr> <td>・ ()</td><td>製造所</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>製造所</td><td>・ ()</td></tr> </table> ・シール工法 0. 20mm未満 (4. 2. 2) (4. 4. 7) <table> <tr> <th>材 料</th><th>製 造 所</th></tr> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td><td>・ ()</td></tr> </table>	材 料	製 造 所	※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)	JIS A6024の規格品	・軟質形エポキシ樹脂	・ ()	ひび割れ幅 (mm)	注入パイプの間隔 (mm)	0. 3以下	50～100	0. 3～0. 5	100～200	0. 5～1. 0	150～200	材 料	種 別	備 考	・シーリング用材料	※1成分又は2成分形	・ポリマーセメントモルタルの充填	JIS A5785	ポリウレタン系シーリング材	※行方 行わない	・ ()	製造所	・ ()	・可とう性エポキシ樹脂	製造所	・ ()	材 料	製 造 所	・パテ状エポキシ樹脂	・ ()	・可とう性エポキシ樹脂	・ ()	4	2. 調査のための破壊部分の補修	4	5. 浮き部改修方法	1. 施工調査数量 (1. 5. 2) 調査範囲 ※図示 () 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 ※モルタルのはがれ及び剥離部を壁面に表示する。 ※浮き部分を壁面に表示する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 () 調査報告書 ※ (2部) 部を監督員に提出する。 補修方法 ・図示 () (1. 5. 3) ・樹脂注入工法 (4. 2. 2) (4. 4. 5) <table> <tr> <th>材 料</th><th>製 造 所</th></tr> <tr> <td>※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)</td><td>JIS A6024の規格品</td></tr> <tr> <td>・軟質形エポキシ樹脂</td><td>・ ()</td></tr> </table> 注入工法の種類 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入孔間隔 ※200～300mm間隔 エポキシ樹脂の注入量 () ・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	材 料	製 造 所	※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)	JIS A6024の規格品	・軟質形エポキシ樹脂	・ ()
材 料	製 造 所																																																																																																																																																			
・エポキシ樹脂モルタル	・ ()																																																																																																																																																			
・ポリマーセメントモルタル	・ ()																																																																																																																																																			
	・ ()																																																																																																																																																			
	アンカーピン本数 (本/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)																																																																																																																																																		
全面注入	部分注入	全面注入																																																																																																																																																		
一般部分	※1. 3 ・ ()	※1. 6 ・ ()	※1. 2 ・ ()																																																																																																																																																	
指定部分	※2. 0 ・ ()	※2. 5 ・ ()	※2. 0 ・ ()																																																																																																																																																	
	注入口付アンカーピン本数 (本/㎡)	注入口の箇所数 (箇所/㎡)																																																																																																																																																		
全面注入	部分注入	全面注入																																																																																																																																																		
一般部分	※9 ・ ()	※9 ・ ()	※9 ・ ()																																																																																																																																																	
指定部分	※1. 6 ・ ()	※1. 6 ・ ()	※1. 6 ・ ()																																																																																																																																																	
材 料	注入量 (mL/箇所)	製造所																																																																																																																																																		
・固定用エポキシ樹脂	・2. 5	JIS A6024の規格品																																																																																																																																																		
・高粘度形	・ ()																																																																																																																																																			
・注入用エポキシ樹脂	・2. 5	JIS A6024の規格品																																																																																																																																																		
	・ ()																																																																																																																																																			
・ポリマーセメントスラリー	・5. 0	・ ()																																																																																																																																																		
材 料	製 造 所																																																																																																																																																			
※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)	JIS A6024の規格品																																																																																																																																																			
・軟質形エポキシ樹脂	・ ()																																																																																																																																																			
ひび割れ幅 (mm)	注入パイプの間隔 (mm)																																																																																																																																																			
0. 3以下	50～100																																																																																																																																																			
0. 3～0. 5	100～200																																																																																																																																																			
0. 5～1. 0	150～200																																																																																																																																																			
材 料	種 別	備 考																																																																																																																																																		
・シーリング用材料	※1成分又は2成分形	・ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																																																																		
JIS A5785	ポリウレタン系シーリング材	※行方 行わない																																																																																																																																																		
・ ()	製造所	・ ()																																																																																																																																																		
・可とう性エポキシ樹脂	製造所	・ ()																																																																																																																																																		
材 料	製 造 所																																																																																																																																																			
・パテ状エポキシ樹脂	・ ()																																																																																																																																																			
・可とう性エポキシ樹脂	・ ()																																																																																																																																																			
材 料	製 造 所																																																																																																																																																			
※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)	JIS A6024の規格品																																																																																																																																																			
・軟質形エポキシ樹脂	・ ()																																																																																																																																																			
ひび割れ幅 (mm)	注入パイプの間隔 (mm)																																																																																																																																																			
0. 3以下	50～100																																																																																																																																																			
0. 3～0. 5	100～200																																																																																																																																																			
0. 5～1. 0	150～200																																																																																																																																																			
材 料	種 別	備 考																																																																																																																																																		
・シーリング用材料	※1成分又は2成分形	・ポリマーセメントモルタルの充填																																																																																																																																																		
JIS A5785	ポリウレタン系シーリング材	※行方 行わない																																																																																																																																																		
・ ()	製造所	・ ()																																																																																																																																																		
・可とう性エポキシ樹脂	製造所	・ ()																																																																																																																																																		
材 料	製 造 所																																																																																																																																																			
・パテ状エポキシ樹脂	・ ()																																																																																																																																																			
・可とう性エポキシ樹脂	・ ()																																																																																																																																																			
材 料	製 造 所																																																																																																																																																			
※エポキシ樹脂 (・低粘度形 ・中粘度形)	JIS A6024の規格品																																																																																																																																																			
・軟質形エポキシ樹脂	・ ()																																																																																																																																																			

5

改修工法

既存建具を新規金属製建具に改修する場合の工法
・ かつせ工法
・ 撤去工法

(5.1.3)

2

アルミニウム製建具

種別
・ 普通サッシ
・ 防音サッシ
・ 断熱サッシ
表面処理

外部の面する建具
・ A種・B種・C種
性能
性能

内部建具
・ C-1種・C-2種

3

網戸

※ 外面納まりの可動式
網の材質 ※ 合成樹脂製
・ ガラス繊維入り合成樹脂製
・ ステンレス製

(5.2.3~4)

4

銅製建具

簡易気密型ドアセットの性能値
※適用する
※適用しない
亜鉛めっき鋼板のめっき付着量
銅板の厚さ

(5.4.2)
(5.4.3)
(5.4.4)

5

銅製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能値
※適用する
※適用しない
ビニール被覆銅板
カラー銅板
召合わせ、縦小口包み板などの材質※銅板
・ ステンレス鋼板

(5.5.2)
(5.5.3)

6

ステンレス製建具

材質 ※ SUS304
曲げ加工 ※普通曲げ
角出し曲げ

(5.6.2~5)

7

建具用金物

見本品を監督員に提出して承諾を受ける。
マスターキー ※製作する
建具金物の種類

(表5.7.1)
(5.7.2~4)

8

自動ドア開閉装置

開閉装置の性能値
スライディングドア用※「改修標仕」表5.7.1による
スイングドア用 ※「改修標仕」表5.7.2による
駆動力 ※電気式又は電動油圧式
電源 ※単相100V/過電流保護装置付
センサの種類 ※熱線
補助センサ ※安全光線スイッチ1組
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

(5.8.2~3)

9

重量シャッター

機能による種類
・ 一般
・ 防火
シャッターケース (防火・防煙以外の場合)
開閉機能による種類
※上部電動式 (手動併用) 電源
※上部手動式
耐風圧強度
防火、防煙シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

(5.10.2~4)

10

軽量シャッター

開閉機能による種類
※手動式
※上部電動式 (手動併用) 電源
耐風圧強度
スラットの形状 ※インターロック型
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

(5.11.2~4)
(表5.11.1)

11

オーバーヘッドドア

セクション材料 ※スチールタイプ
※ファイバークラスチック
開閉方式 ※バラン式
収納方式 ※スタンダード形
ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板
耐風圧機能

(5.12.2)

12

ガラス

建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示 (建具表) による。
ガラス留め材
建具の種類
アルミニウム製
鋼製、ステンレス製
耐風圧機能

(5.13.2)
(5.13.2、(b))
(表5.13.1)

13

方立等の補強

耐風圧性 S-5 以上を確保とする。

6

カーベット敷き

タフテッドカーベット
バイエル形状
カットバイエル
マルチレバーループ
レベループバイエル
カット、ループ併用

(6.9.2)
(6.9.3)
(6.9.4)
(表6.9.1)
(表6.9.2)

7

合成樹脂張り床

ホルムアルデヒド放散量
材 質 水性アクリル系樹脂塗料
仕上種類 コーティング (ローラー刷毛塗り)
塗布量 主剤 2 回塗りとし、総塗布量は 0.25kg/m² 以上

(6.10.2)
(6.10.3)
(表6.10.3~7)

8

防塵用塗料塗り

種別
・ 水性アクリル系樹脂塗料
・ エポキシ樹脂塗料
・ 樹脂モルタル仕上げ
ホルムアルデヒド放散量

(6.10.2)
(6.10.3)
(表6.10.3~7)

9

フローリング張り

種別
・ 複合1種フローリング
・ 複合2種フローリング
・ 単相
・ 無垢
ホルムアルデヒド放散量
樹 種
接着剤
表面塗装
張り付け
下張り板
ホルムアルデヒド放散量

(6.11.2~7)
(表6.11.1~4)

10

体育館用フローリング張り

種別
・ A種
・ B種
・ C種
・ D種

(表6.12.1)

11

畳敷き

種別
・ A種
・ B種
・ C種
・ D種

(表6.13.1)

12

せっこうボード
その他ボード
及び合板張り

種別
・ せっこうボード
・ 化粧せっこうボード
・ 化粧せっこうボード
・ 木目模様の (裏化粧付)
・ 木質セメント板
・ 炭素木セメント板
・ 普通木セメント板
・ 無石顔けい酸カルシウム板
・ 繊維板
・ パーティクルボード

(6.13.2)
(6.13.3)

13

壁紙張り

壁紙はJIS A 6921により、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量
パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量

(6.13.2)
(6.13.3)

14

タイル張り

タイル種類
・ 普通適合板
・ ラウラウ程度
・ 不透明塗料塗りの場合
・ 劣化程度
天然木化粧合板
壁又は天井に使用する合板は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量
パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量

(6.14.2)
(6.14.3)

15

断熱材

・ 打込み断熱材
材 種 種 類 厚 さ
※ポリスチレンフォーム保温板
・ 硬質ウレタンフォーム
施工箇所
※現場発泡工法に示された施工箇所以外の箇所
・ 現場発泡断熱材 (吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材)
難燃性
厚 さ
施工箇所
※窓回り等の断熱補修部分
上記製品はノンフロン製品を使用するものとする。

(19.9.2)
(19.9.3)

16

吸音材

材 種 品質・規格 厚さ
・ ロックウール吸音材
・ グラスウール吸音材
グラスクロス (JIS R3414) 難燃型
グラスクロス張りグラスウール吸音ボード (910×1820) の取付け工法
ポリプロピレン及びプラスチックファスナー留め 4本/m²程度以上

(14.2.1)
(14.2.2)
(表14.2.1)

17

ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地
フローリング類 厚さ

(6.5)
(6.8)

18

ステンレスの表面仕上げ

種類
※ヘアライン程度
・ №2B程度
・ 鏡面仕上げ
・

(14.2.1)
(14.2.2)
(表14.2.1)

19

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種類
・ B-1種
・ B-2種
・

(14.6.2)
(14.6.3)

20

鉄の亜鉛メッキ

施工箇所
亜鉛めっきの種類
溶融・A種・B種・C種
電気・D種・E種・F種

(14.8.2)
(14.8.3)

21

軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類
屋内
屋外
屋外における野縁等の間隔

(6.6.2)
(表6.6.2)
(6.6.3)

22

軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類
※「改修標仕」表6.7.1による

(6.7.3)
(表6.7.1)

23

金属成形板張り

材種 製法 材種 寸法 (mm) 厚 (mm) 表面処理
・ スパンドレル系
・ パネル系
伸縮調整継手
・ 設ける
・ 設けない

(14.6.2)
(14.6.3)

24

手すり及びタラップ

種類 材料の種類 表面処理
・ 手すり
・ タラップ

(14.8.2)
(14.8.3)

25

フリーアクセスフロア

支持方式
材 質
寸 法
耐荷重性能
表面仕上
製造所

(20.2.2)
(20.2.3)

26

可動間仕切 (既製間仕切)

構造形式
※パネル式
・ スタッド式
○ スタッド付パネル式
品質 JIS A 6512 によるもの又は評価名簿によるもの

(20.2.3)
(20.2.4)

27

移動式間仕切 (スライディングドア)

表面板
・ 鋼板
・

(20.2.4)

28

トイレブース

仕様
パネル
部 材
附属金物
形状
形 式

(20.2.5)
(20.2.6)

29

階段滑止め

・ 金属製
・ 磁器製

(20.2.6)

30

階段手すり

形式
径又は幅
笠木受付
備 考

(20.2.7)
(20.2.8)
(20.2.9)
(20.2.10)

31

煙突ライニング

・ 煙突用成形ライニング材
最高使用温度
・ キャスタブル耐火材
製造所

(20.2.11)
(20.2.12)
(20.2.13)

32

ブラインド

形 式
スラットの材質
開閉方式
スラットの幅

(20.2.14)
(表20.2.1)

33

ロールスクリーン

材種、品質等

(20.2.13)

34

カーテン及びカーテンレール

施工箇所
天井
床

(20.2.14)
(表20.2.1)

35

ブラインドボックス及びカーテンボックス

材種
色彩
形状

(20.2.15)

36

コーナード

材 種
施工箇所

(20.2.16)

37

天井見切縁

材 種
施工箇所

(20.2.17)

38

点検口

施工箇所
天井
床

(20.2.18)

39

くつふきマット

材種
色彩
形状

(20.2.19)

40

鋼製書架及び物置棚

JIS S 1039の規格による。

(20.2.20)

41

旗ざお

材種
形状
形式
寸法

(20.2.21)

42

旗ざお受金物

材種
ステンレス製 (市販品)

(20.2.22)

43

流し台ユニット

ステンレス流し台
コンロ台
吊戸棚
水切棚

(20.2.23)

44

視覚障害者用誘導床材

施工箇所
材 質
寸 法
備考

(20.2.24)

45

既製フェンス

・ ビニール被覆エキスパンドフェンス
・ 鋼管フェンス

(20.2.25)

46

かざ箱

※鋼製市販品
・ 30組用
・ 60組用
・ 120組用

(20.2.26)

47

敷地境界線

種別
・ A種
・ B種

(20.2.27)

48

屋外掲示板

照明器具
施 錠

(20.2.28)

49

車止め支柱

材種
形状

(20.2.29)

50

ビニル床木

材種
厚さ
高さ

(6.8.2)
(6.8.3)

51

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

52

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

53

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

54

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

55

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

56

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

57

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

58

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

59

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

60

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

61

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

62

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

63

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

64

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

65

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

66

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

67

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

68

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

69

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

70

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

71

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

72

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

73

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

74

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

75

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

76

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

77

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

78

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

79

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

80

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

81

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

82

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

83

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

84

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

85

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

86

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

87

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

88

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

89

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

90

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

91

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

92

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

93

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

94

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

95

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

96

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

97

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

98

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

99

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

100

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

101

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

102

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

103

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

104

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

105

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

106

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

107

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

108

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

109

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

110

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

111

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

112

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

113

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

114

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

115

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

116

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

117

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

118

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

119

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

120

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

121

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

122

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

123

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

124

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

125

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

126

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

127

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

128

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

129

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

130

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

131

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

132

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

133

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

134

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

135

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

136

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

137

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

138

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

139

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

140

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

141

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

142

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

143

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

144

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

145

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

(6.8.2)
(6.8.3)

146

ビニル床シート張り

材 種 種 類 記号 色柄 厚さ 工法 備 考
・ ビニル床シート
・

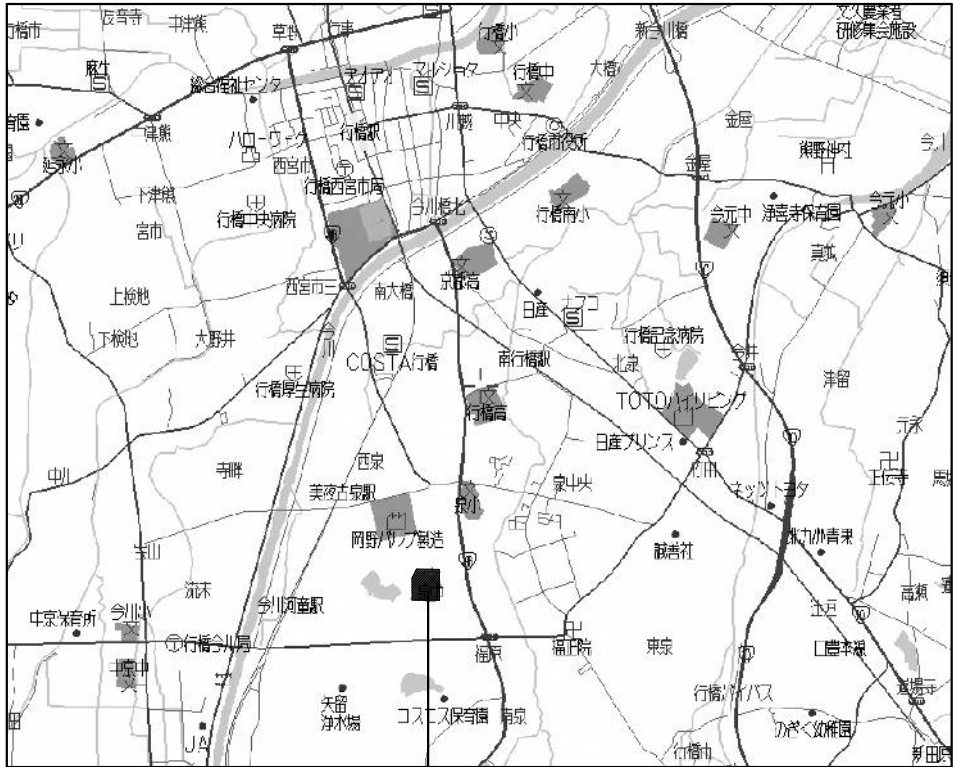
(6.8.2)
(6.8.3)

147

ビニル床シート張り

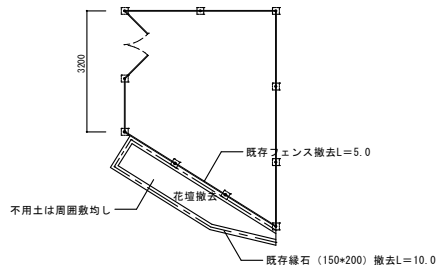
材 種 種 類 記号 色柄 厚さ

17. 鋼材の種類	材質 ※J I S等の規格品 ・ 建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鉄鋼種類 ・ S S 4 0 0 ・ () ・ () ・ () 寸法 ※図示	18. 高力ボルト	※トルシア形高力ボルト指定、認定品セットの種類※2種 (S 1 0 T 経 (※図示) ・ J I S形高力ボルトJ I S B 1 1 8 6 セシ2種10 T 経 (※図示) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト認定品セットの種類※1種 (F 8 T 相重) (※図示)
	19. 溶接部の検査		試験の種類 ※超音波探傷試験 ・ 放射線試験 ・ マクロ試験
	20. スタッド溶接後の試験		※外観試験 ※仕上がり高さ及び傾きの試験 ※打撃曲げ試験
21. 耐火被覆の種類及び性能	種類 耐火材吹付け ・吹付けロックウール ・	性能 ・1時間・30分 ・1時間・30分	使用箇所 ※図示 ※図示
	22. スリット	スリットの種類 ※完全スリット ・部分スリット ・幅 (5 0 m 未満 (※図示) ・) (8 . 2 . 2) ・耐火材 (仕様) (仕様箇所 ※図示 ・) ・遮音材 (仕様) (仕様箇所 ※図示 ・)	種類 ・金属系アンカー 引っぱり耐力 (セン断耐力) () 径 (埋込み深さ (※図示 ・) セット方式 (※本体打込み式 ・ 径 長さ) ・接合筋 (種類) (※カプセル型 引っぱり耐力 (セン断耐力) () 径 (埋込み深さ (※図示 ・) アンカー筋の種類 (※異形棒筋)
		23. あと施工アンカー	性能確認試験 ・適用する ※適用しない 穿孔前の埋込配管等の検査 範囲 ※全て 方法 ※鉄筋検査機 施工確認試験 ※引張り試験 (確認強度)
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県市橋市北泉五丁目12番6号		工事名称 泉中学校空調整備工事 図面名称 改修工事特記仕様書 (4)	図面番号 A-06 縮 尺

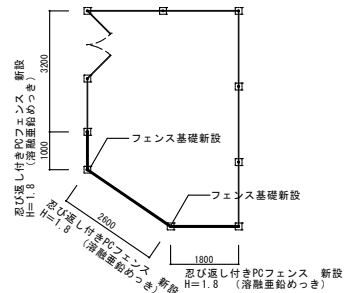


工事場所：行橋市西泉5丁目7番1号

付近見取り図



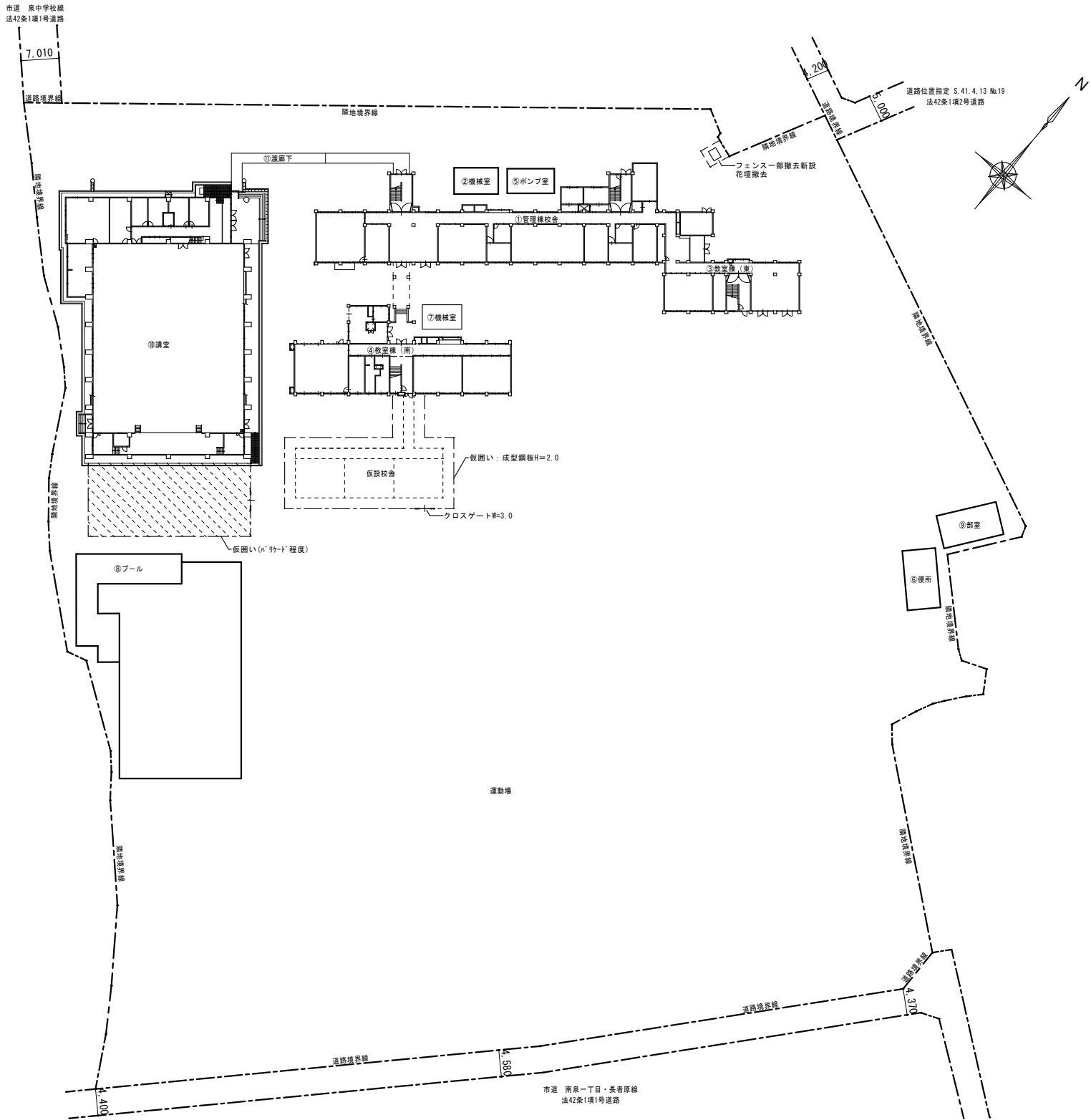
キュービクルフェンス平面図 改修前 S=1:100



キュービクルフェンス平面図 改修後 S=1:100

特記事項

- ※工事期間中、生徒、職員の安全に努めること。
- ※仮設物、仮囲い、現場事務所、等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
- ※敷地内の車両の通行に際しては、最徐行とし歩行者の安全に努めること。
- ※足場の進入口は鍵付とし、工事関係者以外の立ち入り禁止措置を行うこと。
- ※工事完了後は、仮囲い内の整地を行うこと。



配置図 S=1/500

OKANO ARCHITECTS OFFICE

一級建築士事務所

岡野設計事務所

福岡県行橋市北泉五丁目12番6号

一級建築士 第114155号

眞 治

TEL 0930-23-0412

DRAWN BY

CHECKED BY

工事名称 泉中学校空調整備工事

工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号

図面名称 配置・案内図

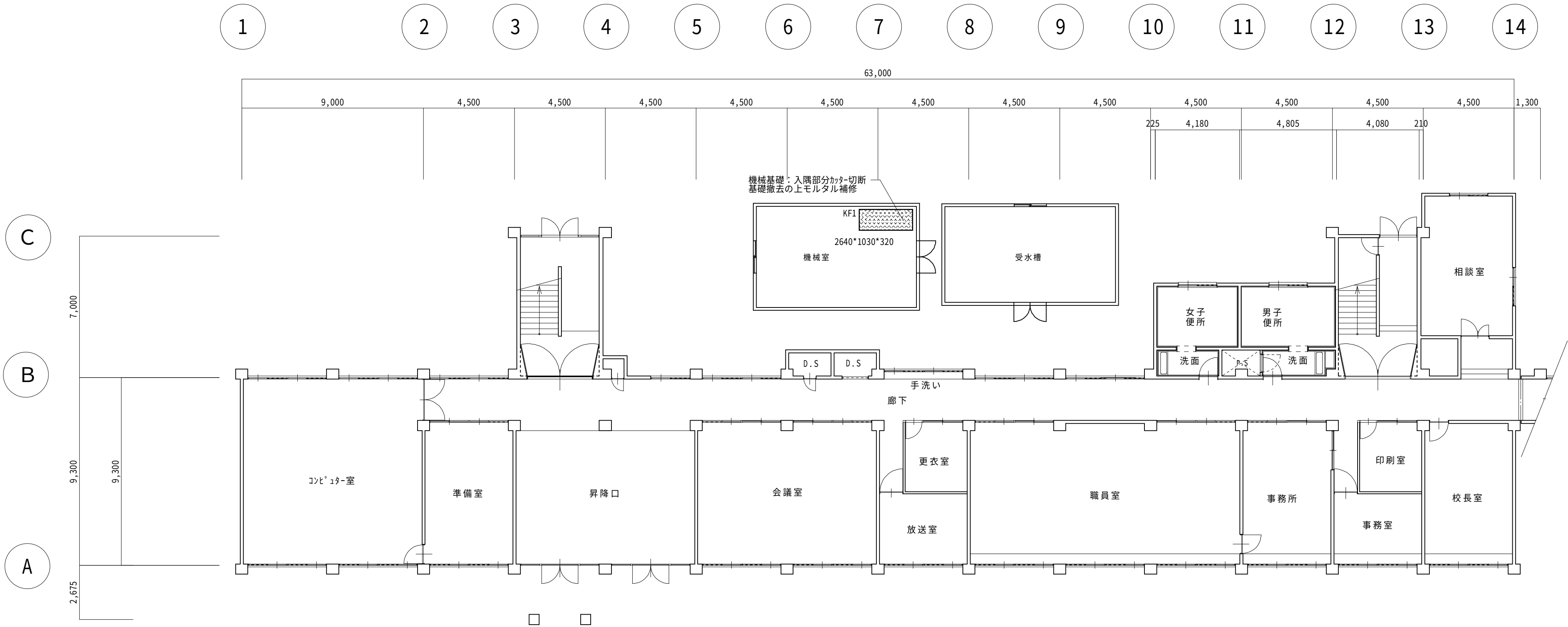
DATE

SCALE

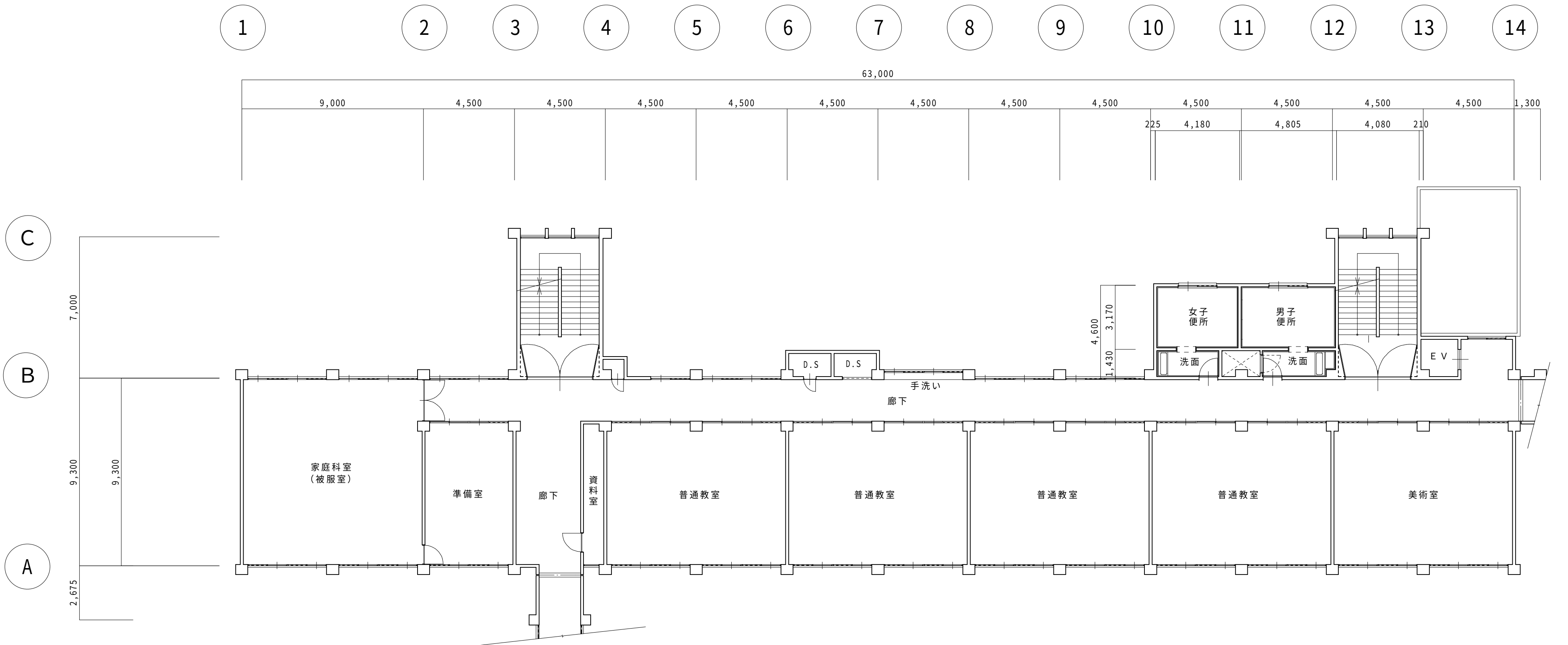
S=1:500

DRAWING NO.

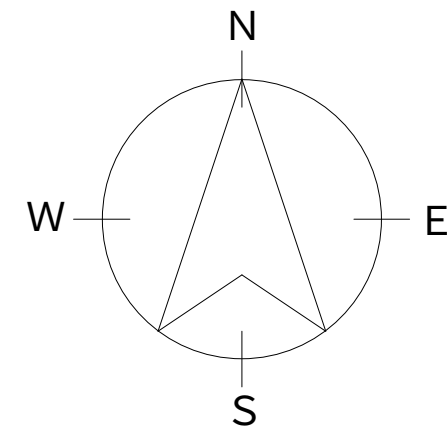
A-07



1階平面図 S=1/150



2階平面図 S=1/150

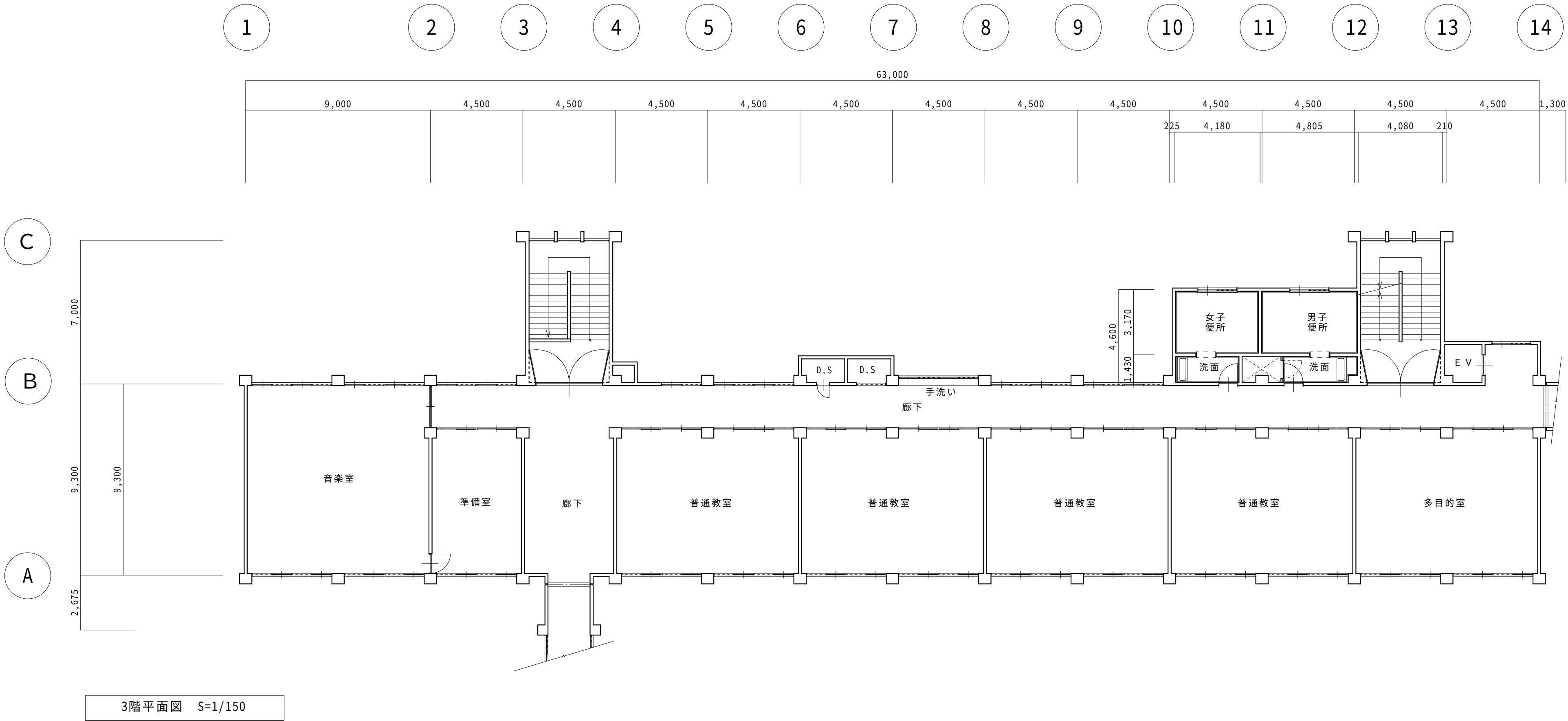
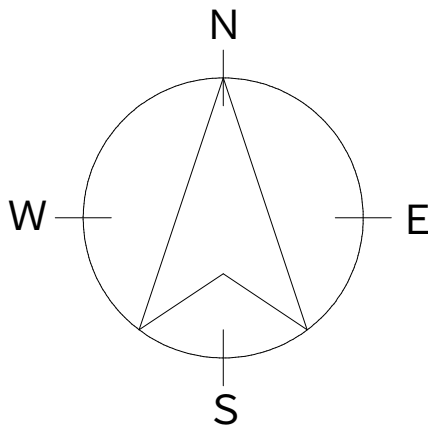


管理棟校舎	
室 名	空調対象面積
[1 階]	
コンピュータ室	9.0 × 9.3 = 83.70
会議室	9.0 × 7.1 = 63.90
職員室	13.5 × 7.1 = 95.85
事務所	4.5 × 7.1 = 31.95
事務室	4.5 × 3.6 = 16.20
校長室	4.5 × 7.1 = 31.95
[2 階]	
家庭科室	9.0 × 9.3 = 83.70
普通教室(4室)	9.0 × 7.1 × 4 = 255.60
美術室	9.0 × 7.1 = 63.90
[3 階]	
音楽室	9.0 × 9.3 = 83.70
普通教室(5室)	9.0 × 7.1 × 5 = 319.50
[1 階]	
コンピュータ準備室	4.5 × 7.1 = 31.95
放送室	4.5 × 3.6 = 16.20
更衣室	3.2 × 3.5 = 11.20
印刷室	3.2 × 3.5 = 11.20
便所	8.985 × 4.6 = 41.33
相談室	4.5 × 2.05 + 4.71 × 5.0 = 32.78
機械室	8.08 × 5.15 = 41.61
D S	4.5 × 1.3 = 5.85
階段・廊下・昇降口	
+ 54.0 × 2.2 + 4.5 × 0.35 + 1.21 × 1.0	
+ 4.71 × 2.0 = 261.13	
[2 階]	
家庭科準備室	4.5 × 7.1 = 31.95
資料室	1.15 × 7.1 = 8.17
便所	8.985 × 4.6 = 41.33
D S	4.5 × 1.3 = 5.85
階段・廊下	
+ 54.0 × 2.2 + 4.5 × 0.35 + 4.71 × 2.0	
+ 3.35 × 7.1 + 1.21 × 1.0 + 4.08 × 7.0 × 2	
= 211.91	
[3 階]	
音楽準備室	4.5 × 7.1 = 31.95
便所	8.985 × 4.6 = 41.33
D S	4.5 × 1.3 = 5.85
階段・廊下	
+ 54.0 × 2.2 + 4.5 × 0.35 + 4.71 × 2.0	
+ 4.5 × 7.1 + 1.21 × 1.0 + 4.08 × 7.0 × 2	
= 220.08	
施設面積計	
2,181.62	
空調面積計	
1,129.95	

機械室基礎撤去リスト	
符号	W×D×H
KF1	2,640 × 1,030 × 320
施工内容	
コンクリート機械基礎撤去(周囲カッター入れ) 撤去部分モルタル金ごて押え新設	

特記事項

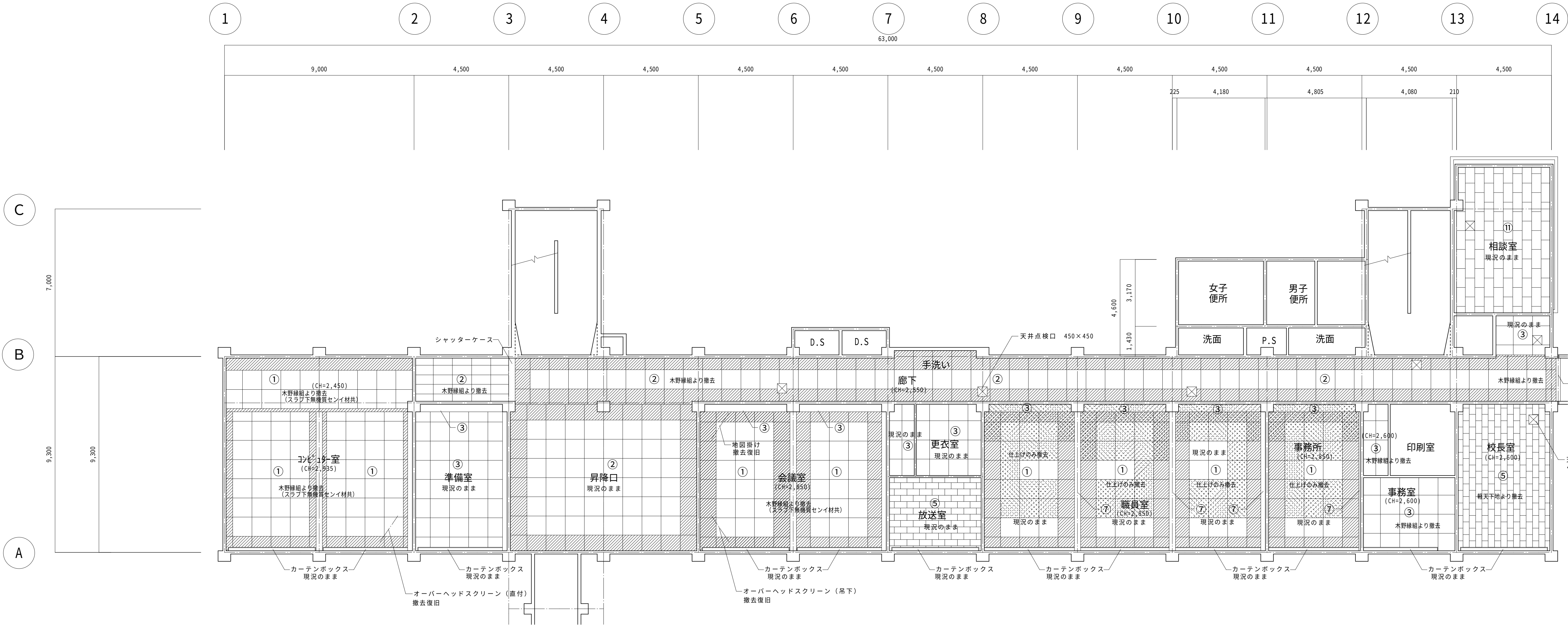
- ※ 工事期間中、生徒・職員の安全に務め、廊下等の避難経路を確保する事。
- ※ 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。
- ※ 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。
- ※ 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止処置をし安全を充分確保する事。
- ※ 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)
- ※ 工事対象室までの工事用搬入出路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。
- ※ 1階職員室は、天井を部分改修とし、工事中も極力使用できる様配慮する事。
- ※ コンピューター室は、施工時に室内のパソコンに影響を与えないよう全面に梱足場を設置し、梱足場上部を全面ブルーシートで養生する事。または移動させる事。
- ※ 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。



特記事項

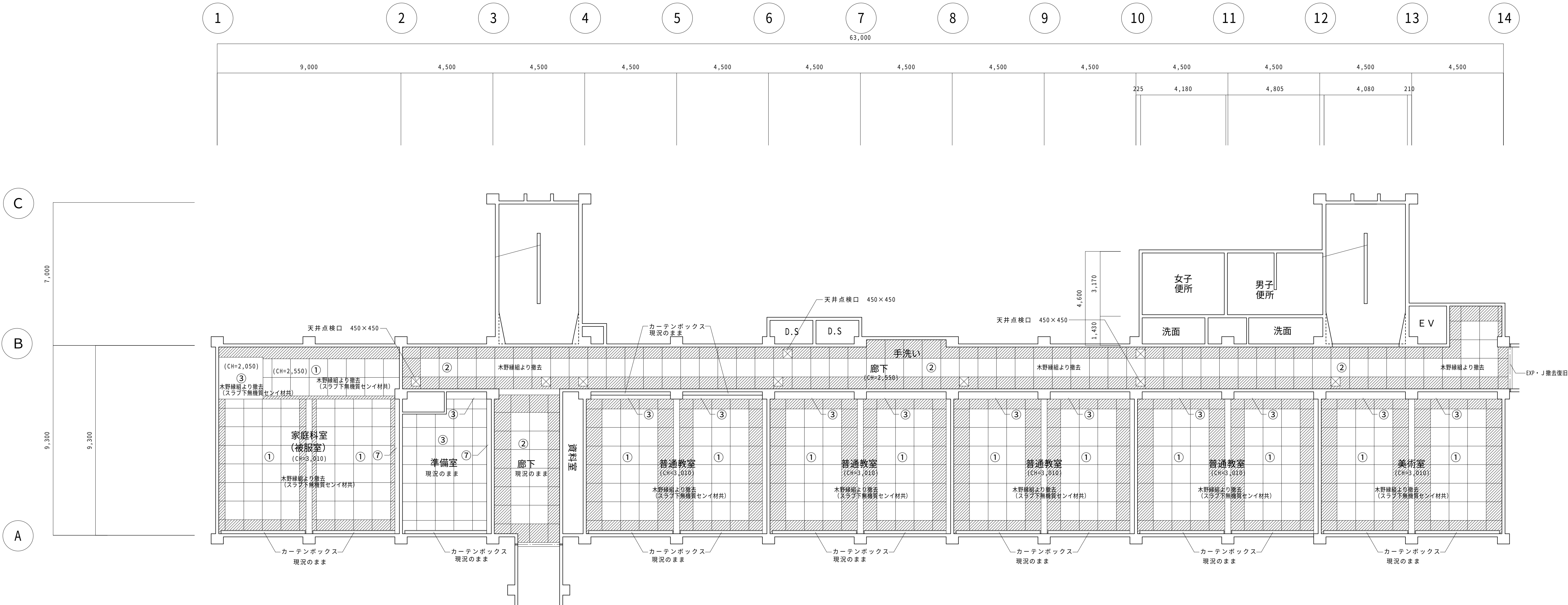
- ※ 工事期間中、生徒・職員の安全に務め、廊下等の避難経路を確保する事。
- ※ 仮設物・仮囲い等の設置場所については、施設関係者及び監督員と協議して決定する事。
- ※ 廊下等通路になる部分の工事は、学校の授業の無い日に工事する事。
- ※ 廊下等通路になる部分の天井及び壁等を撤去後は、危険防止処置をし安全を充分確保する事。
- ※ 工事対象室の床・壁等は、養生・整理清掃を行う事。(天井撤去時の埃等は、散らばらない様に注意して作業する事。)
- ※ 工事対象室までの工事前搬入出路になる、工事対象外の階段等は、幅1m程度、養生・整理清掃を行う事。
- ※ 1階職員室は、天井を部分改修とし、工事中も極力使用できる様配慮する事。
- ※ コンピューター室は、施工時に室内のパソコンに影響を与えないよう全面に棚足場を設置し、棚足場上部を全面ブルーシートで養生する事。または移動させる事。
- ※ 改修工事のため、各部を施工・制作前に調査・実測のうえ、施工・制作を行う事。

	OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 義経 真治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称 泉中学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO. A-09
			CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号	SCALE	
				図面名称 管理棟校舎3階平面図	S=1:150	



①	穿孔石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗（スラブ下無機質セシイ材）	⑧	杉貼桎合板 敷目
②	吸音石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗	⑨	パニヤ合板 t = 3
③	有孔ラワン合板 t=5.5 S.O.P	⑩	コンクリート打放し 吹付タイル
④	石綿セメント板t=5目透し貼 V P 塗	⑪	化粧石膏ボードt=9
⑤	平石膏ボードt=9下地 ロックウール化粧吸音板t=9		
⑥	コンクリート打放し アクリルリシン吹付		
⑦	プラスター塗		

改修前1階天井伏図 S=1/100

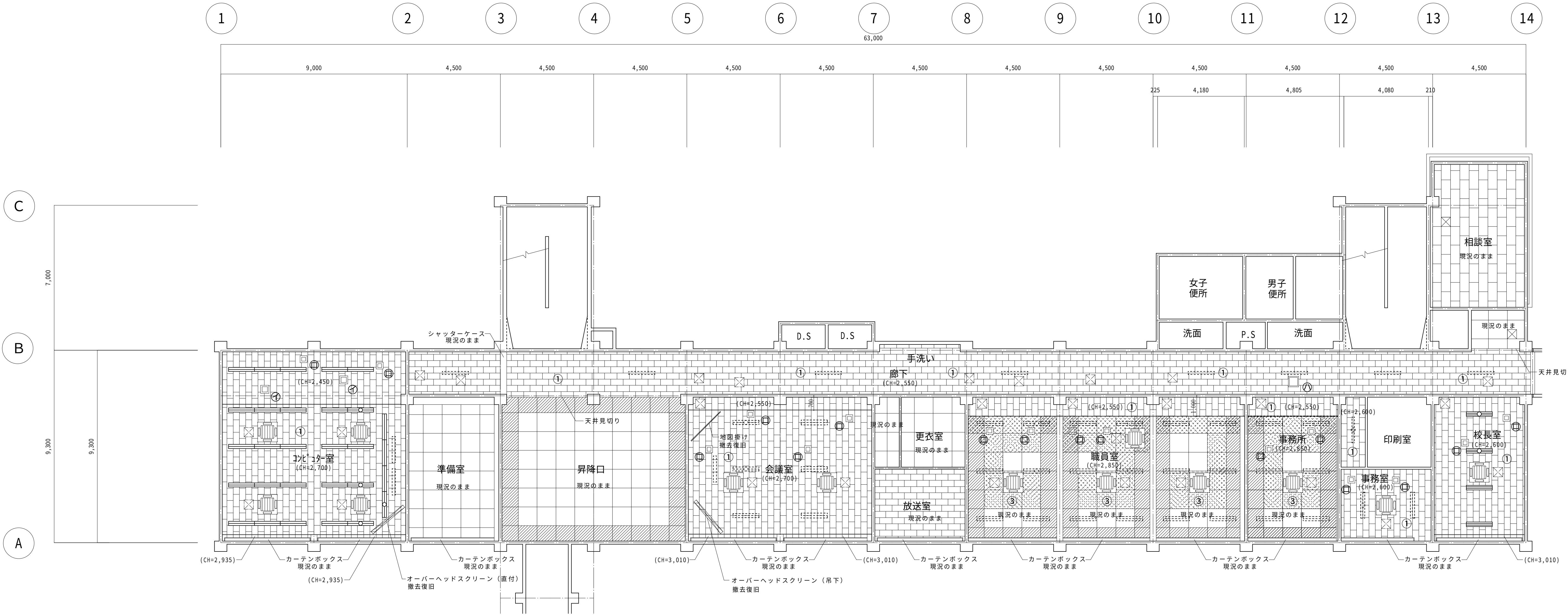


改修前2階天井伏図 S=1/100

①	穿孔石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗 (スラブ下無機質セシイ材共)	⑧	杉貼桎合板 敷目
②	吸音石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗	⑨	ベニヤ合板 t=3
③	有孔ラワン合板 t=5.5 S.O.P	⑩	コンクリート打放し 吹付タイル
④	石綿セメント板t=5目透し貼 V P 塗	⑪	化粧石膏ボードt=9
⑤	平石膏ボードt=9下地 無機質セシイ成型板t=9		
⑥	コンクリート打放し アクリルリシン吹付		
⑦	プaster塗		



OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北条五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 幾 経 貞 治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称	泉中学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO. A-12
		CHECKED BY	工事場所	福岡県行橋市西泉5丁目7番1号	SCALE	
			図面名称	管理棟校舎改修前3階天井伏図	S=1:100	



特記事項

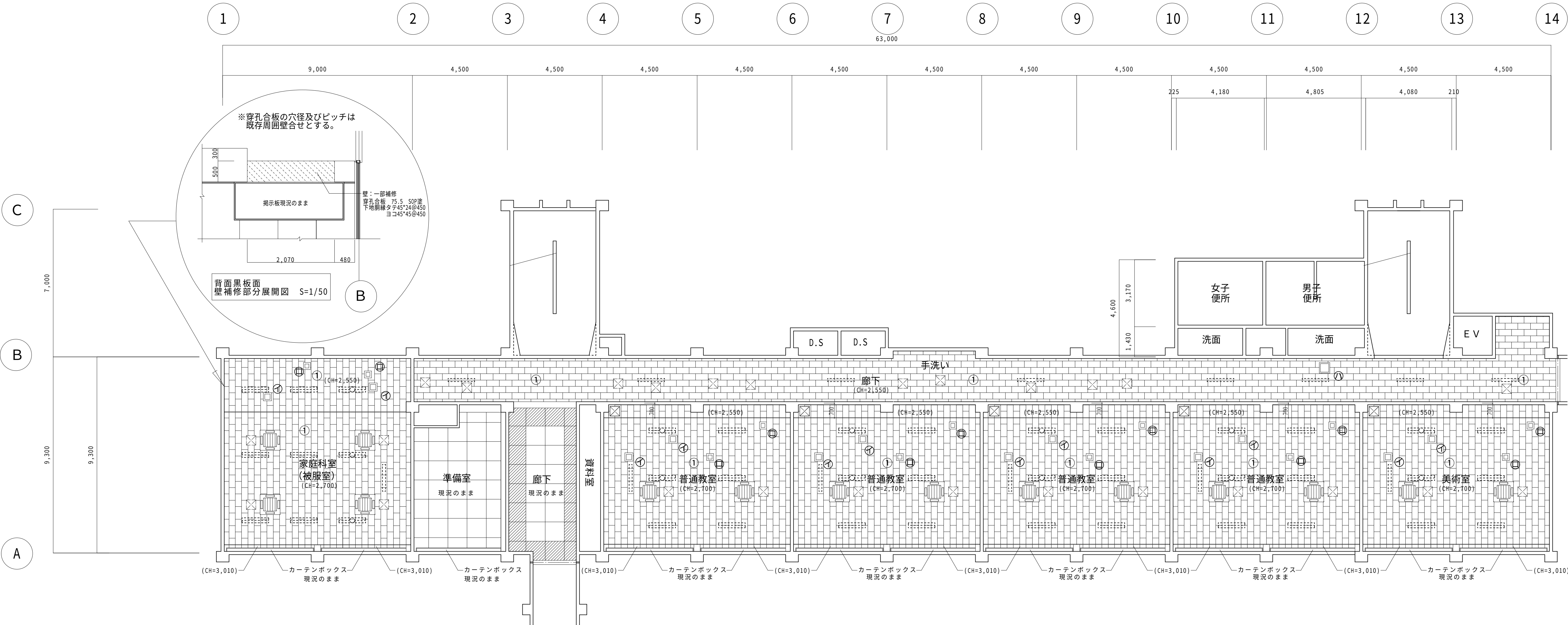
- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
- ※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
- ※職員室は、極力使用できる様配慮する事、天井高さは現況のままとする。
- ※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

改修後1階天井伏図 S=1/100

①	ロックウール化粧吸音板 7) 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
②	化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
③	吸音用あなざき石膏ボード 7) 9.5mm ※ 一部現況のままとする (ボード-石膏ボード 7) 9.5mm目スカシ) =撤去張替部分	EP EP
④	吸音テックス貼 7) 9mm	
	天井点検口 450角	
	給排気グリル	
	給気用グリル	
	カーテンボックス	
	オーバーヘッドスクリーン	

天井開口寸法

名 称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	9 1 0 × 9 1 0
給排気グリル	3 9 0 × 3 9 0
給排気グリル	3 1 0 × 3 1 0
給排気グリル	5 0 0 × 5 0 0
点検口	4 5 0 × 4 5 0
校長室電灯開口	3 0 0 × 1 2 3 5
コンピューター室電灯開口	3 0 0 × 1 2 3 5



特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
- ※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
- ※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

改修後2階天井伏図 S=1/100

天井開口寸法

名 称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910×910
給排気グリル ㊶	390×390
給排気グリル ㊷	310×310
給排気グリル ㊸	500×500
点検口	450×450

①	ロックウール化粧吸音板 ㊴ 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード ㊴ 9.5mm	
②	化粧石膏ボード ㊴ 9.5mm	
③	吸音用あなざ石膏ボード ㊴ 9.5mm ※ 一部現況のままとする (ボーター石膏ボード ㊴ 9.5mm目スカシ) ㊴㊴㊴㊴ =撤去張替部分	EP EP
④	吸音テックス貼 ㊴ 9mm	
㊴	天井点検口 450角	
㊴	給排気グリル	
㊴	給気用グリル	
㊴	カーテンボックス	
㊴	オーバーヘッドスクリーン	

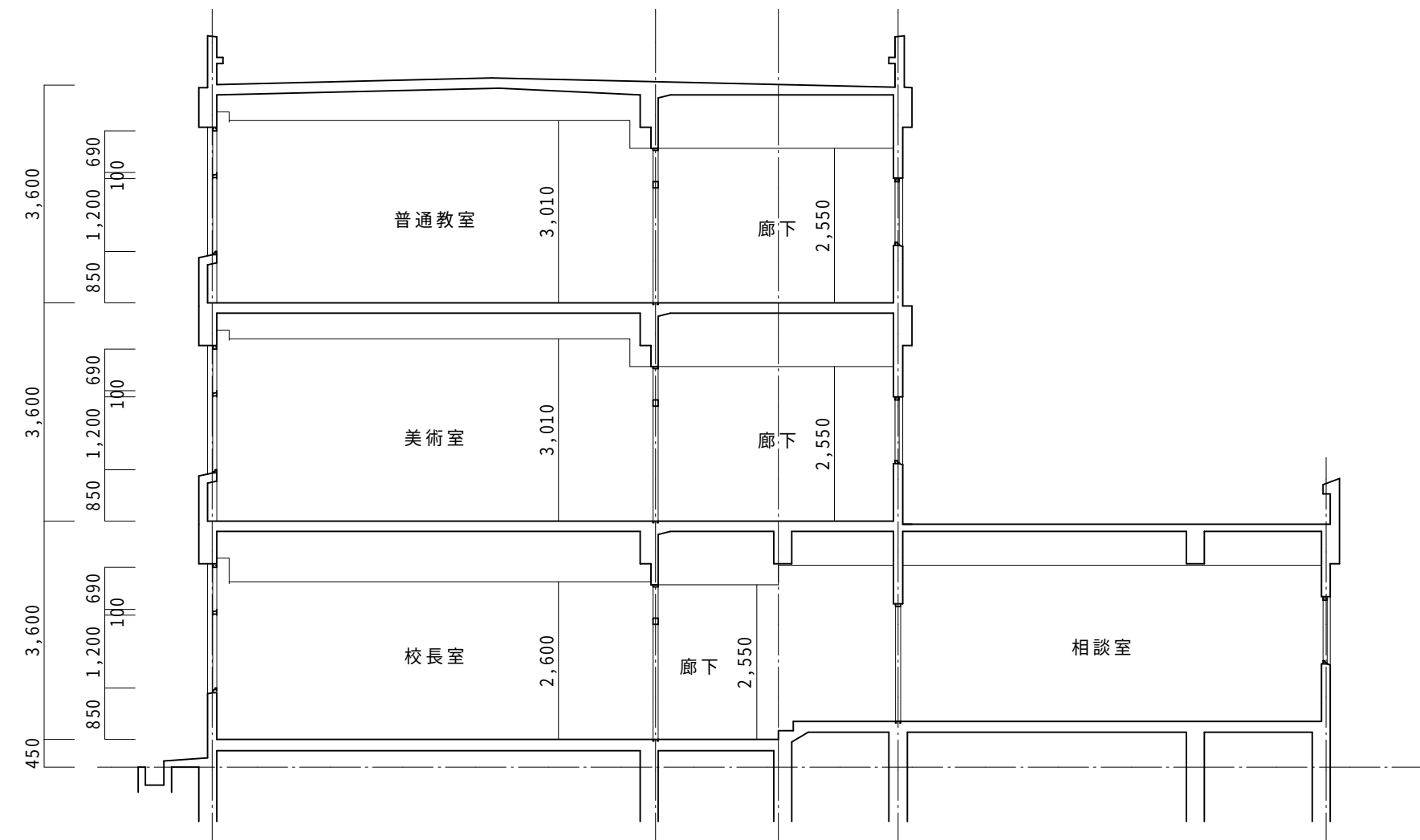
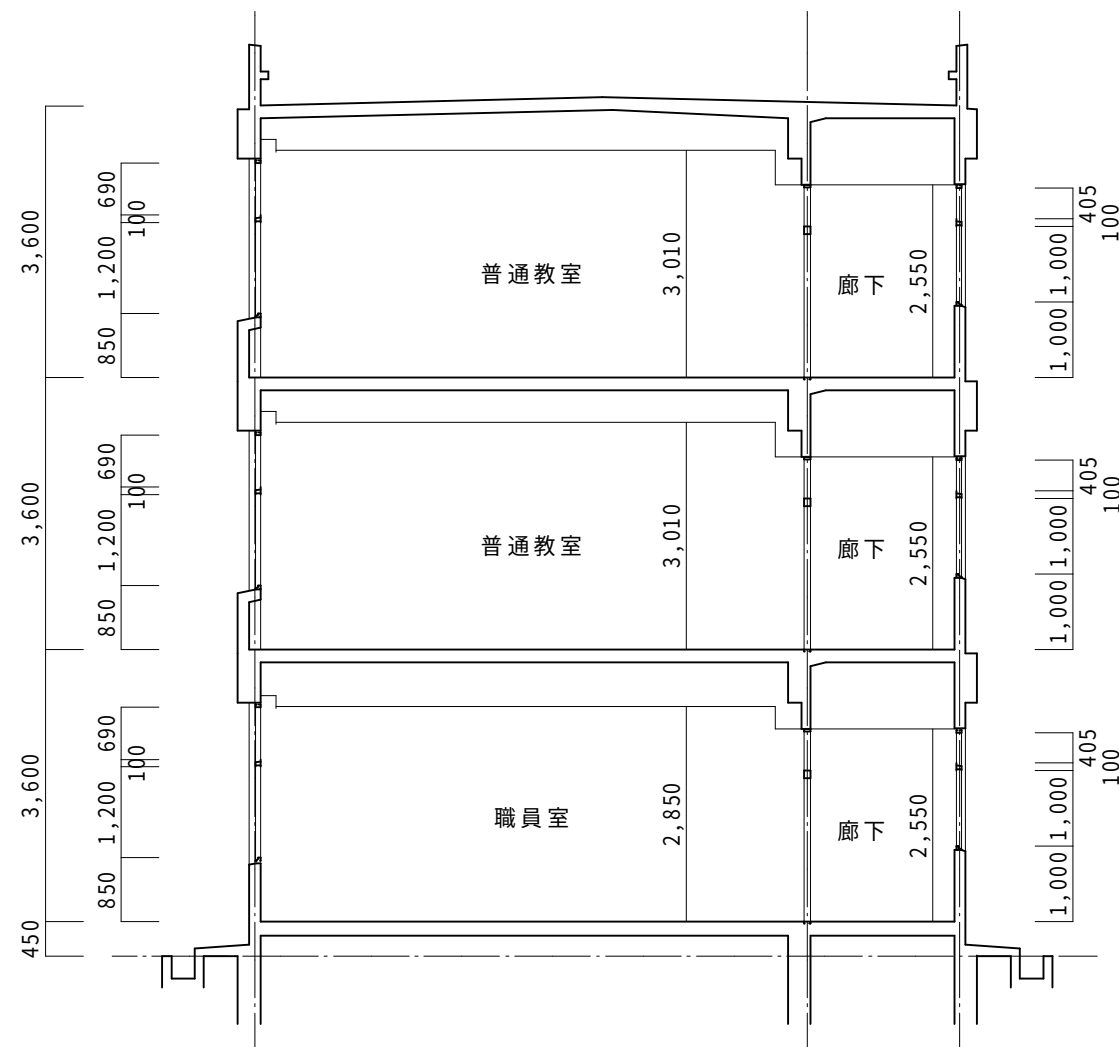
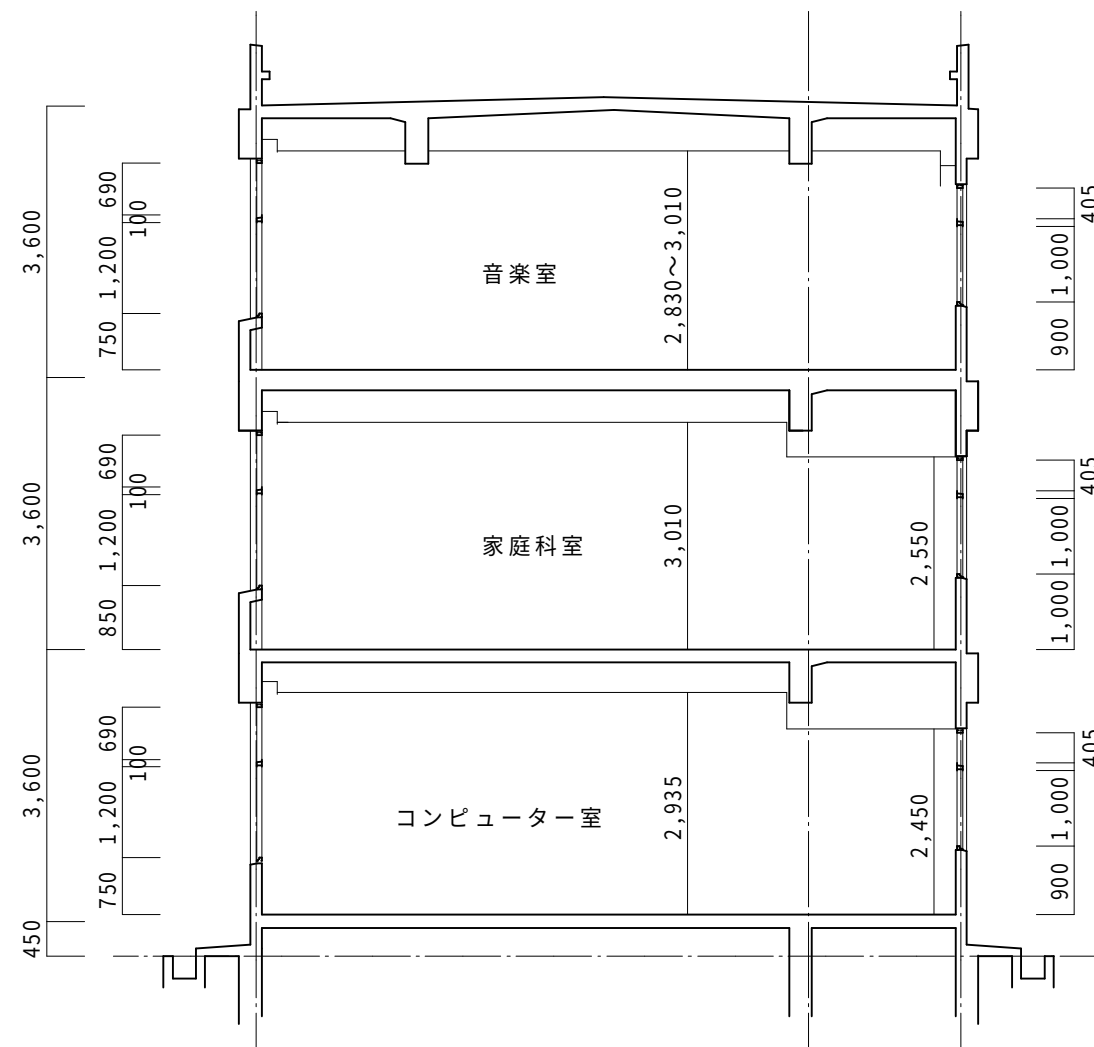
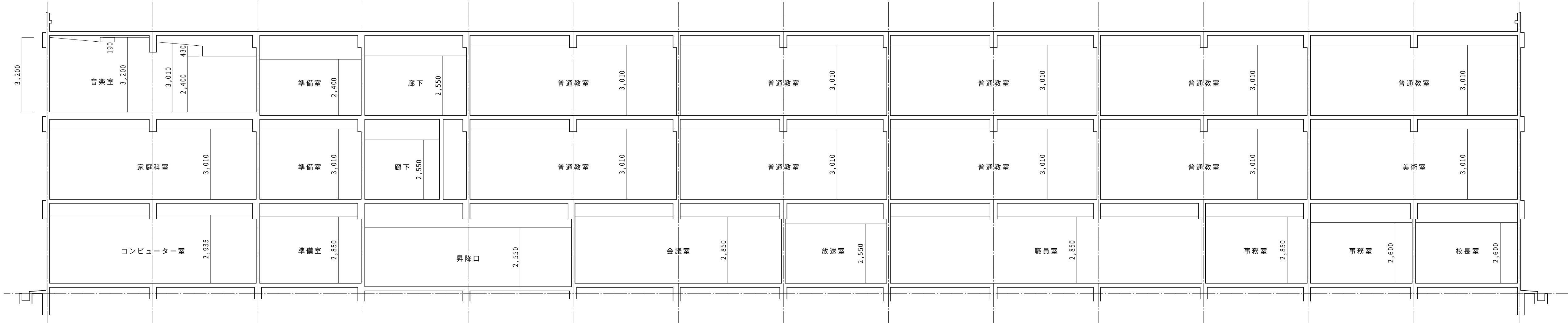


天 井 開 口 寸 法	
名 称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910×910
給排気グリル 	390×390
給排気グリル 	310×310
給排気グリル 	500×500
点検口	450×450

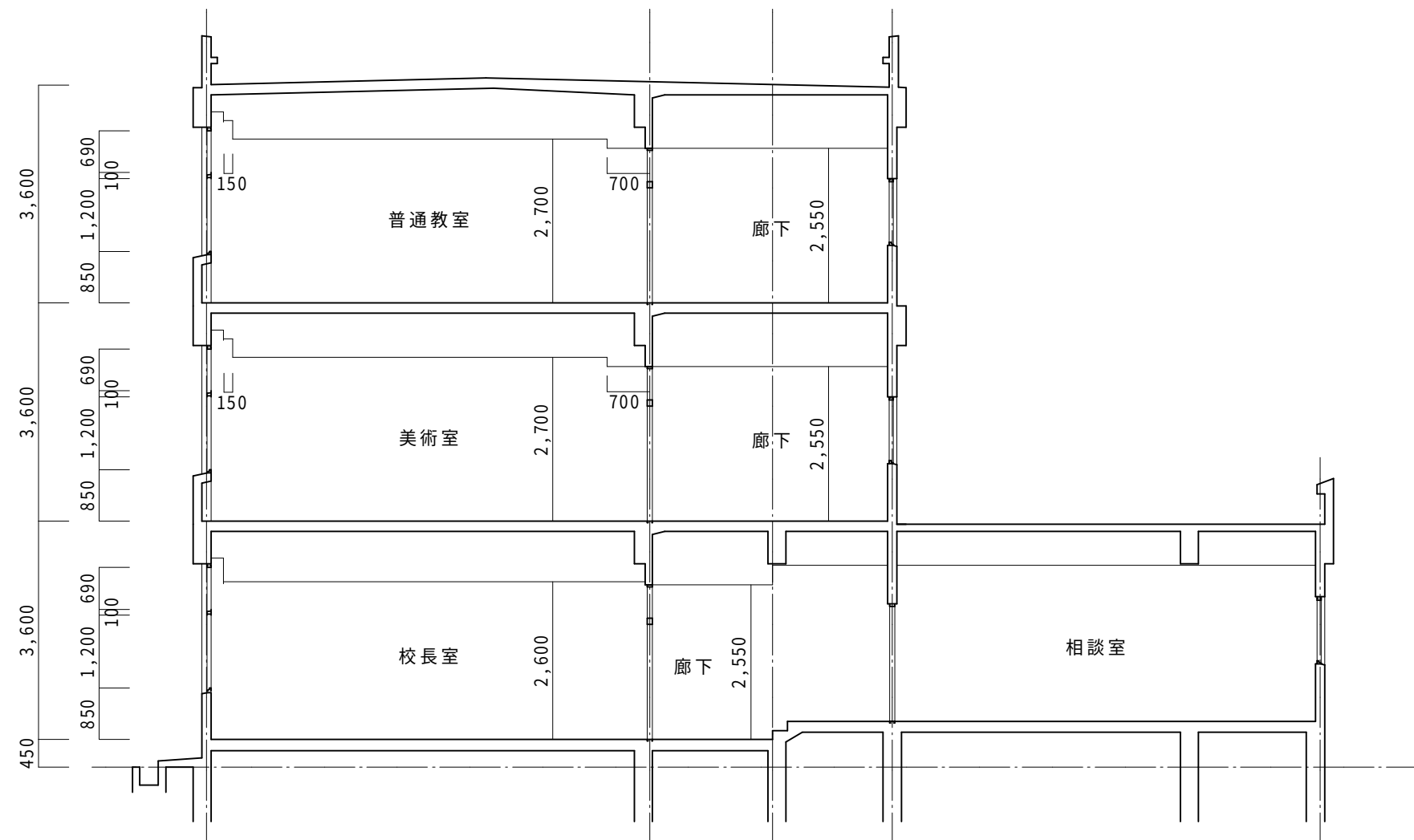
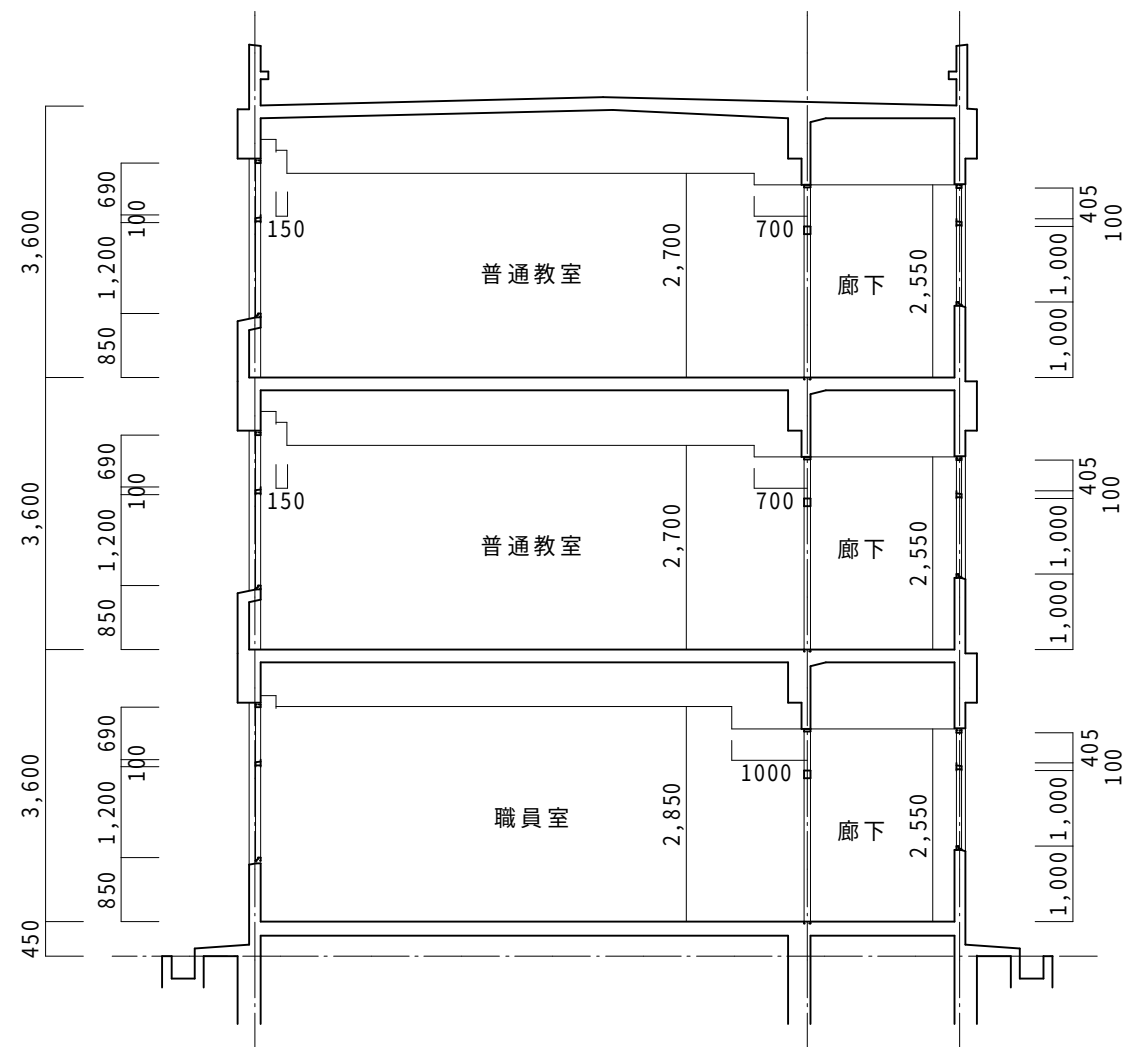
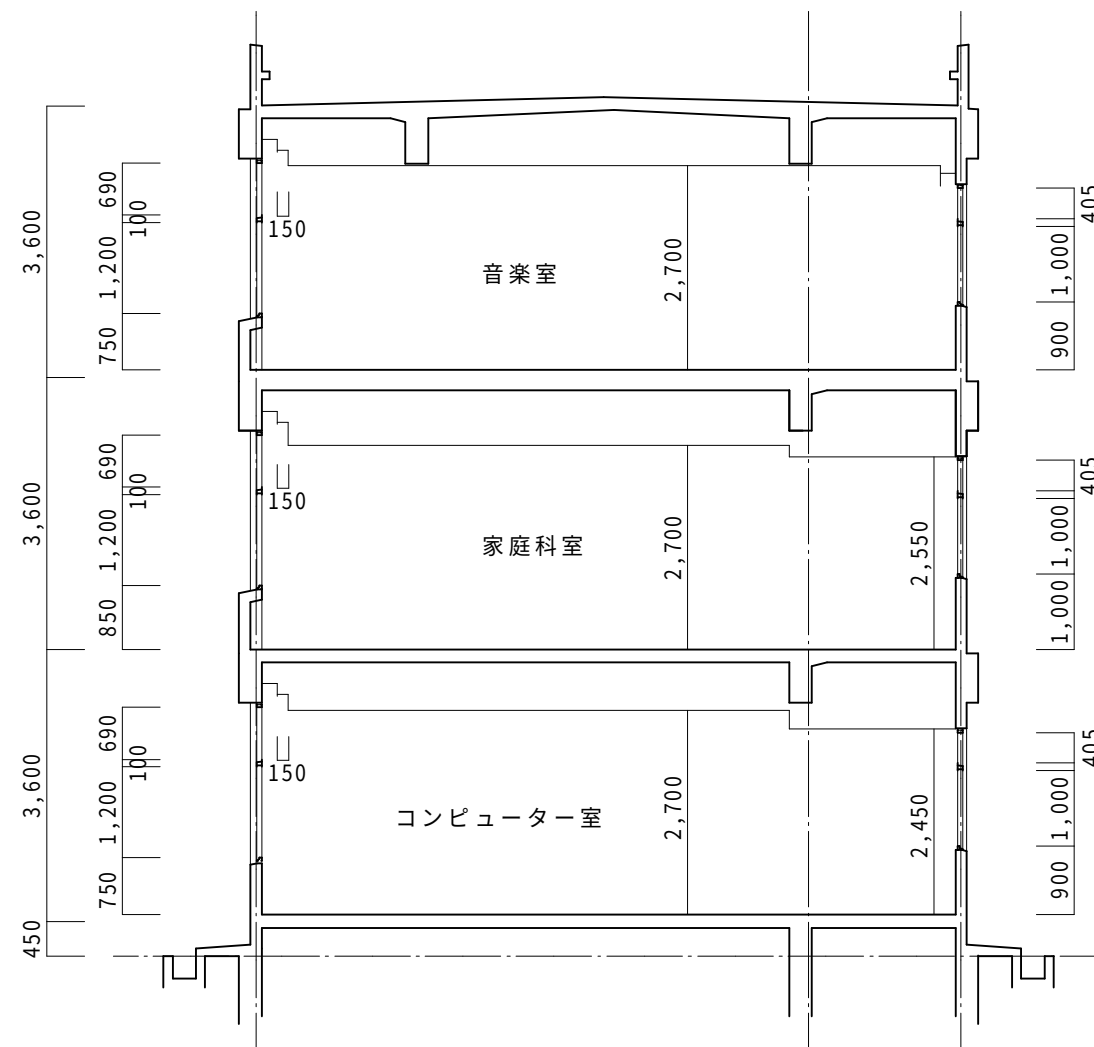
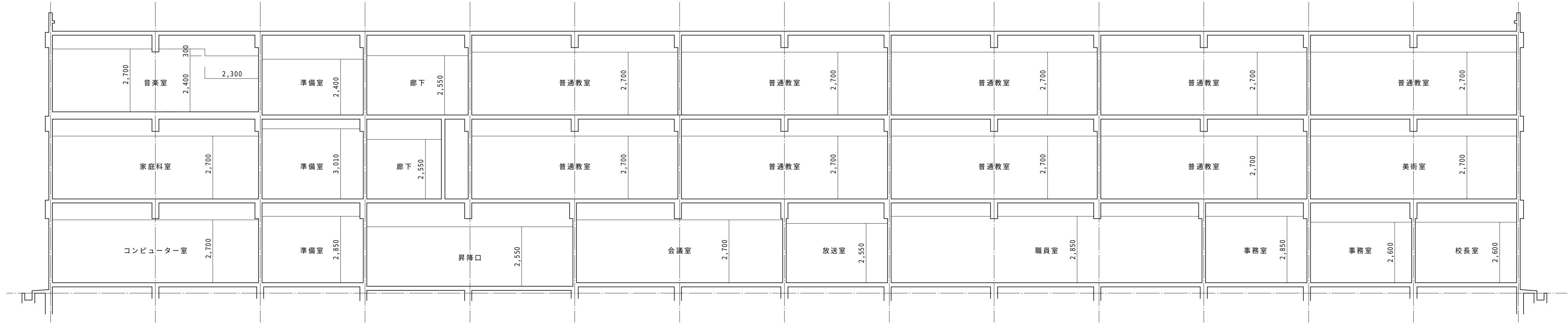
①	ロックワール化粧吸音板 7) 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
②	化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
③	吸音用あなき石膏ボード 7) 9.5mm ※ 一部現況のままとする (ボードー石膏ボード 7) 9.5mm目スカシ)  =撤去張替部分	EP EP
④	吸音テックス貼 7) 9mm	
	天井点検口 450角	
	給排気グリル	
	給気用グリル	
	カーテンボックス	
	オーバーヘッドスクリーン	

改修後3階天井伏図 S=1/100

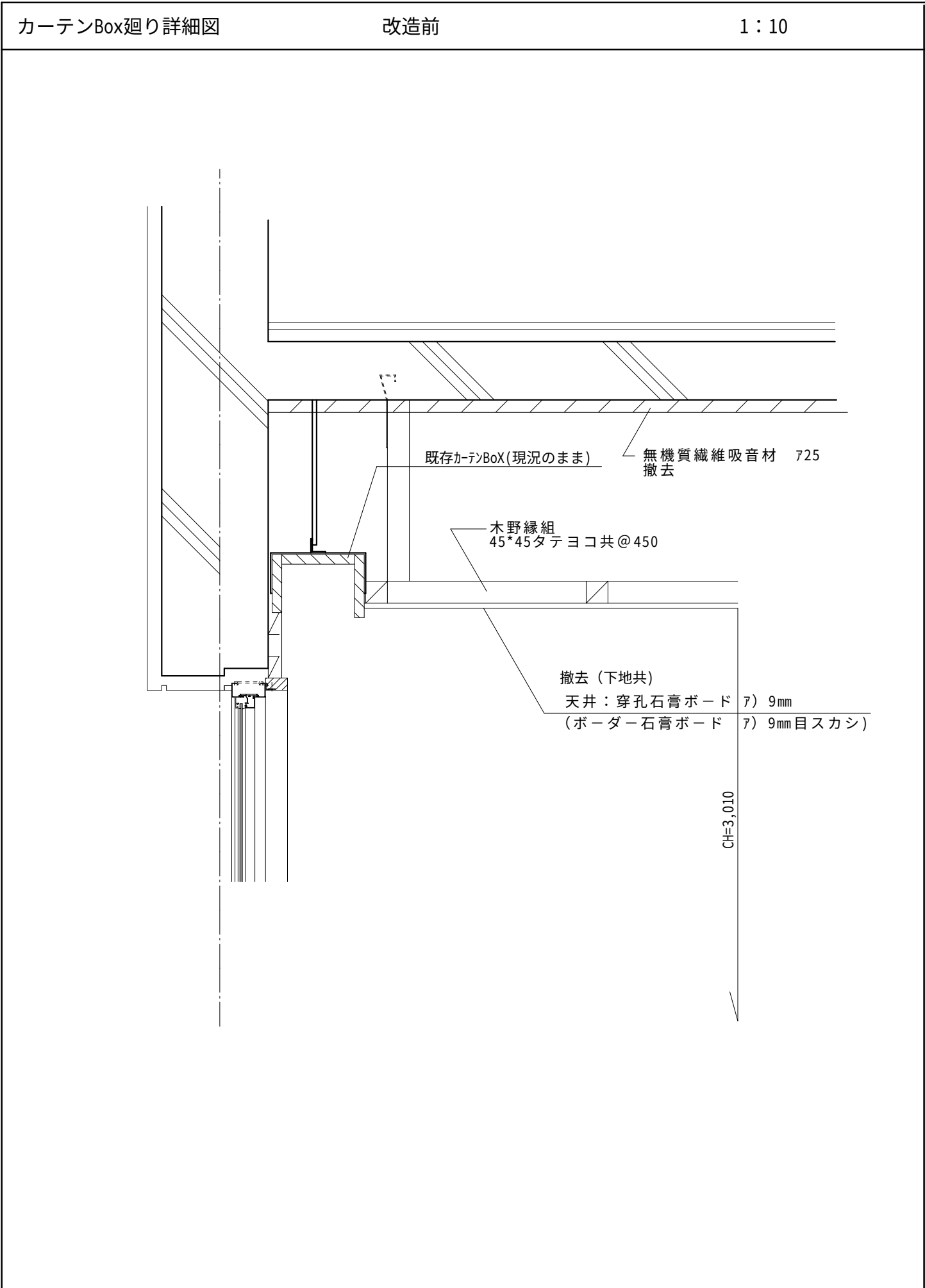
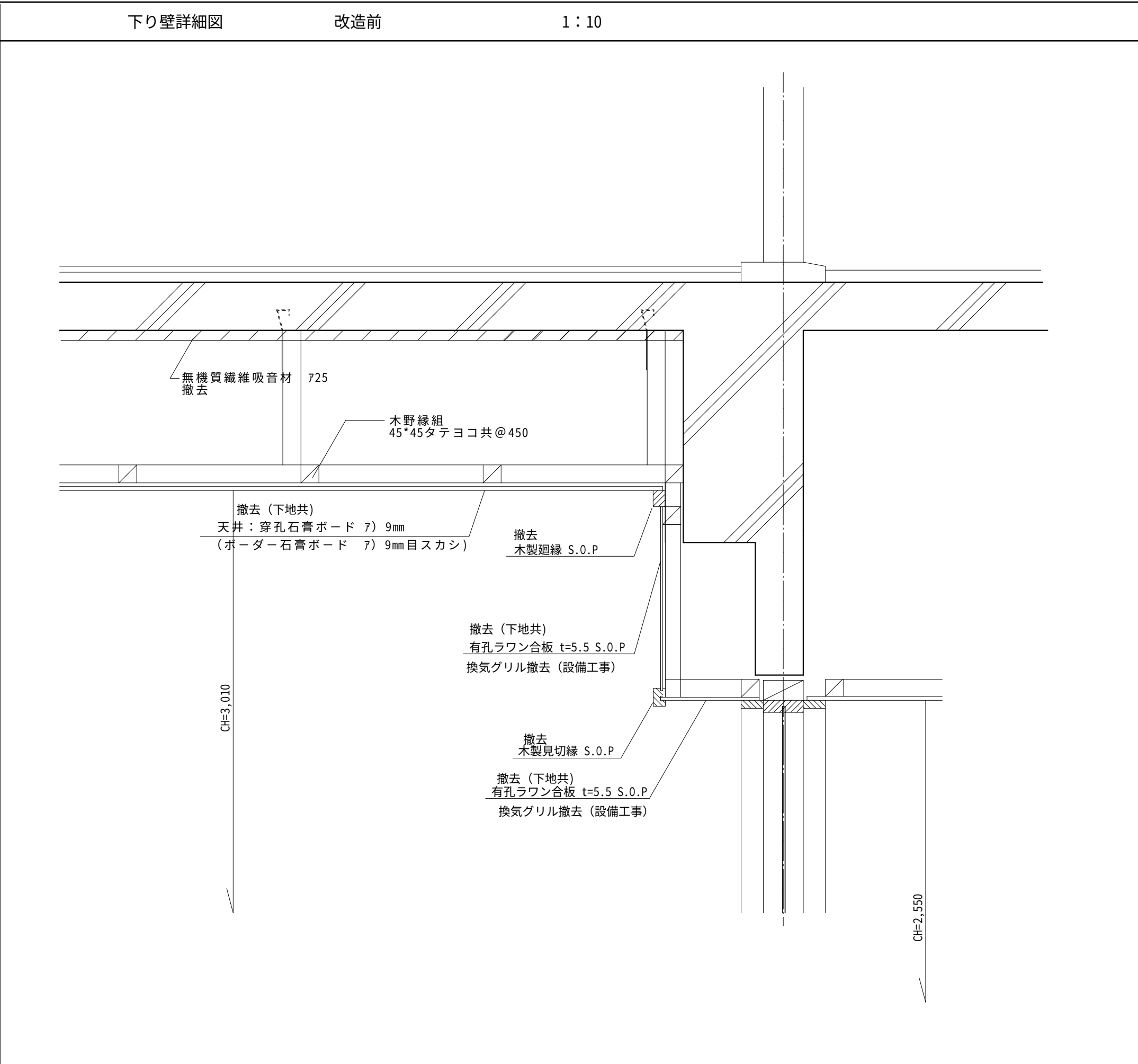
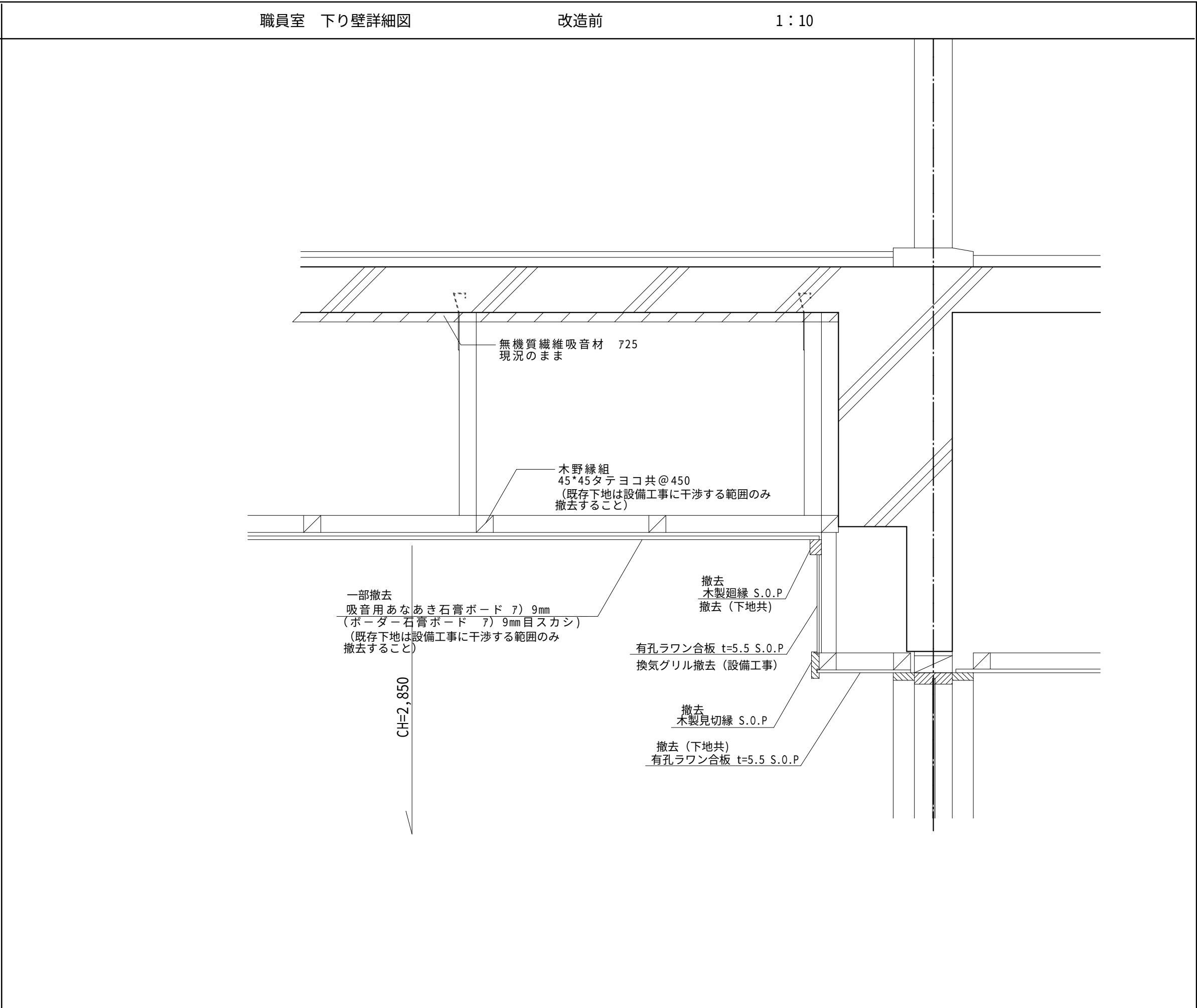
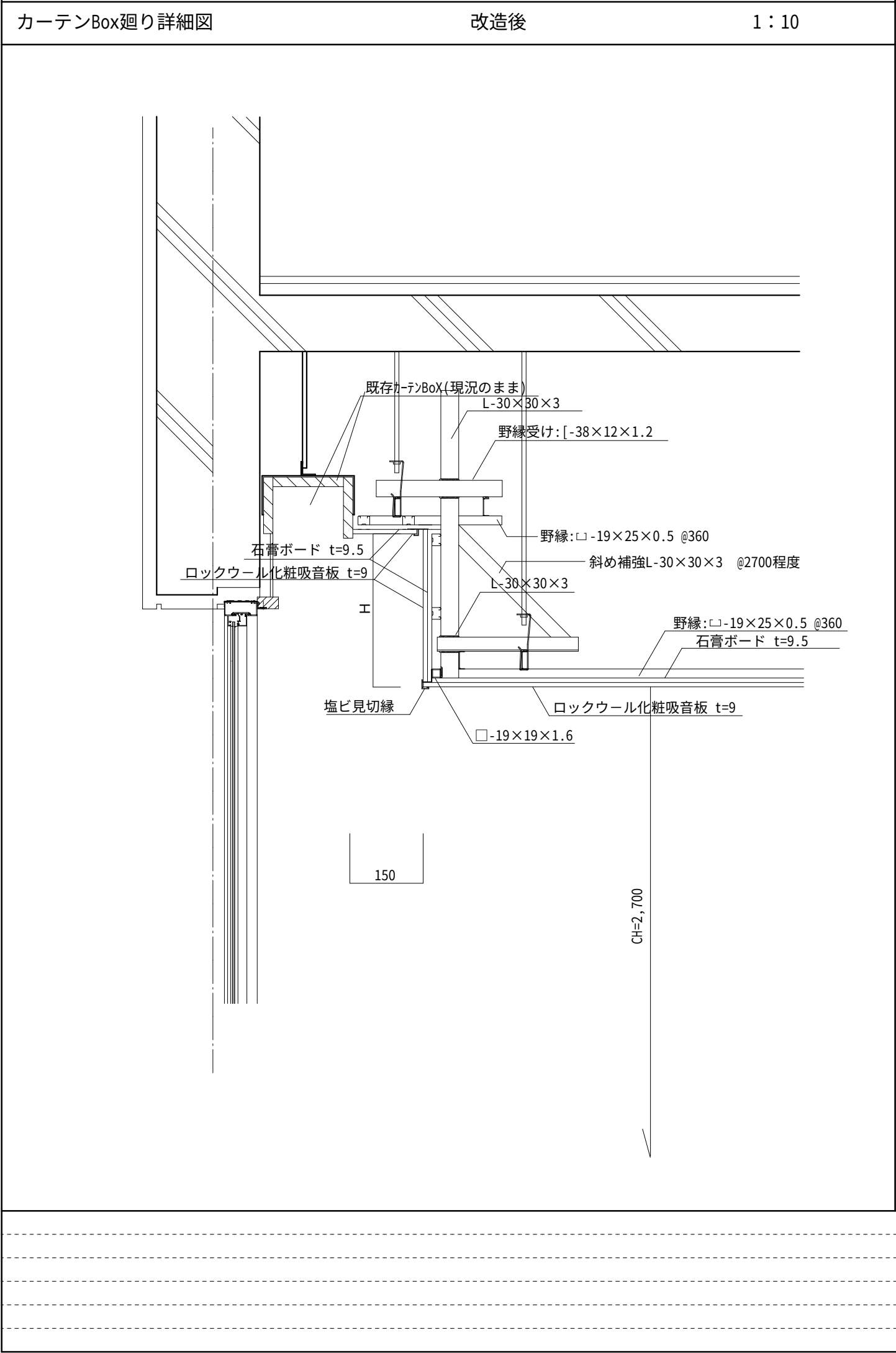
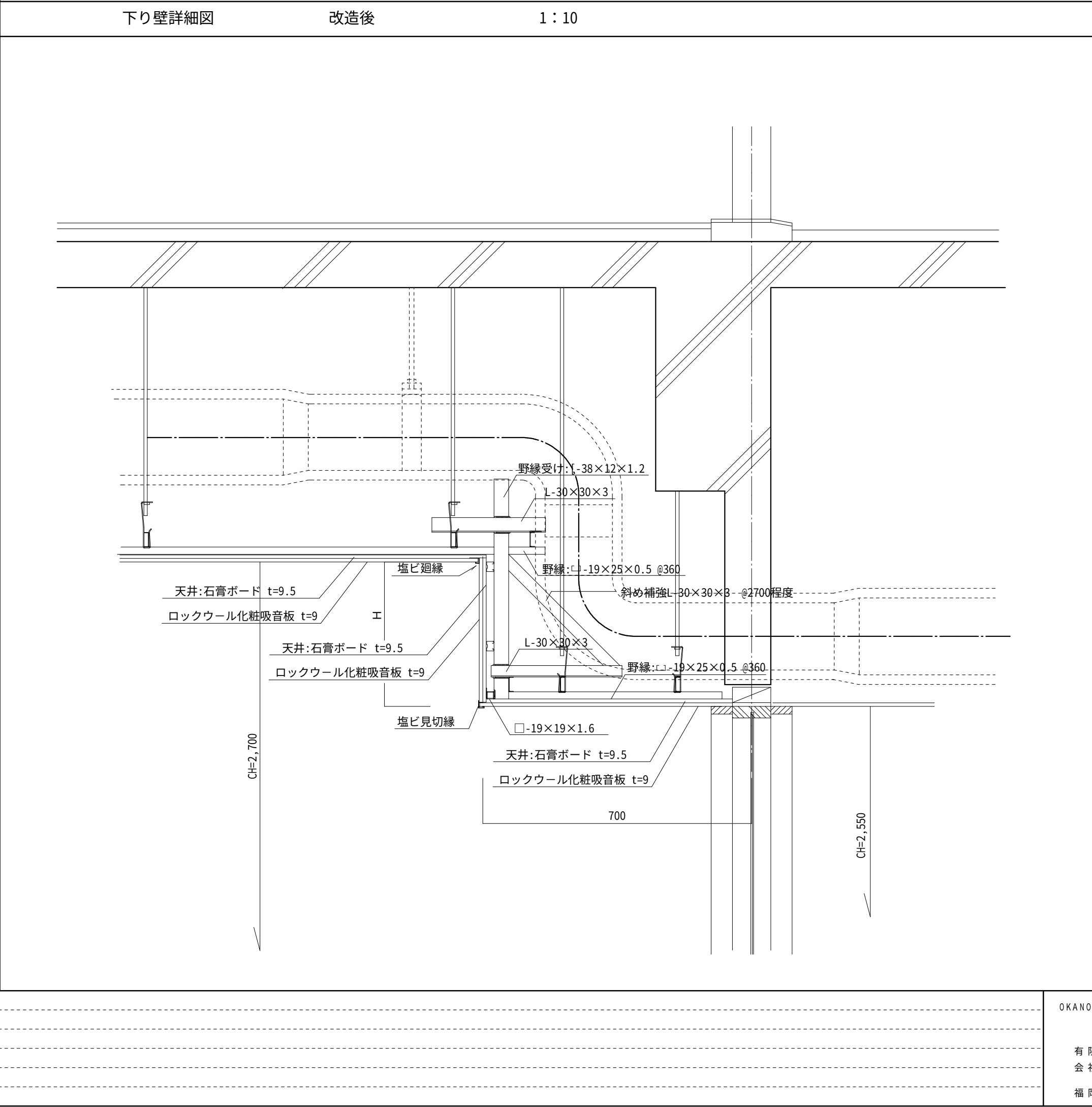
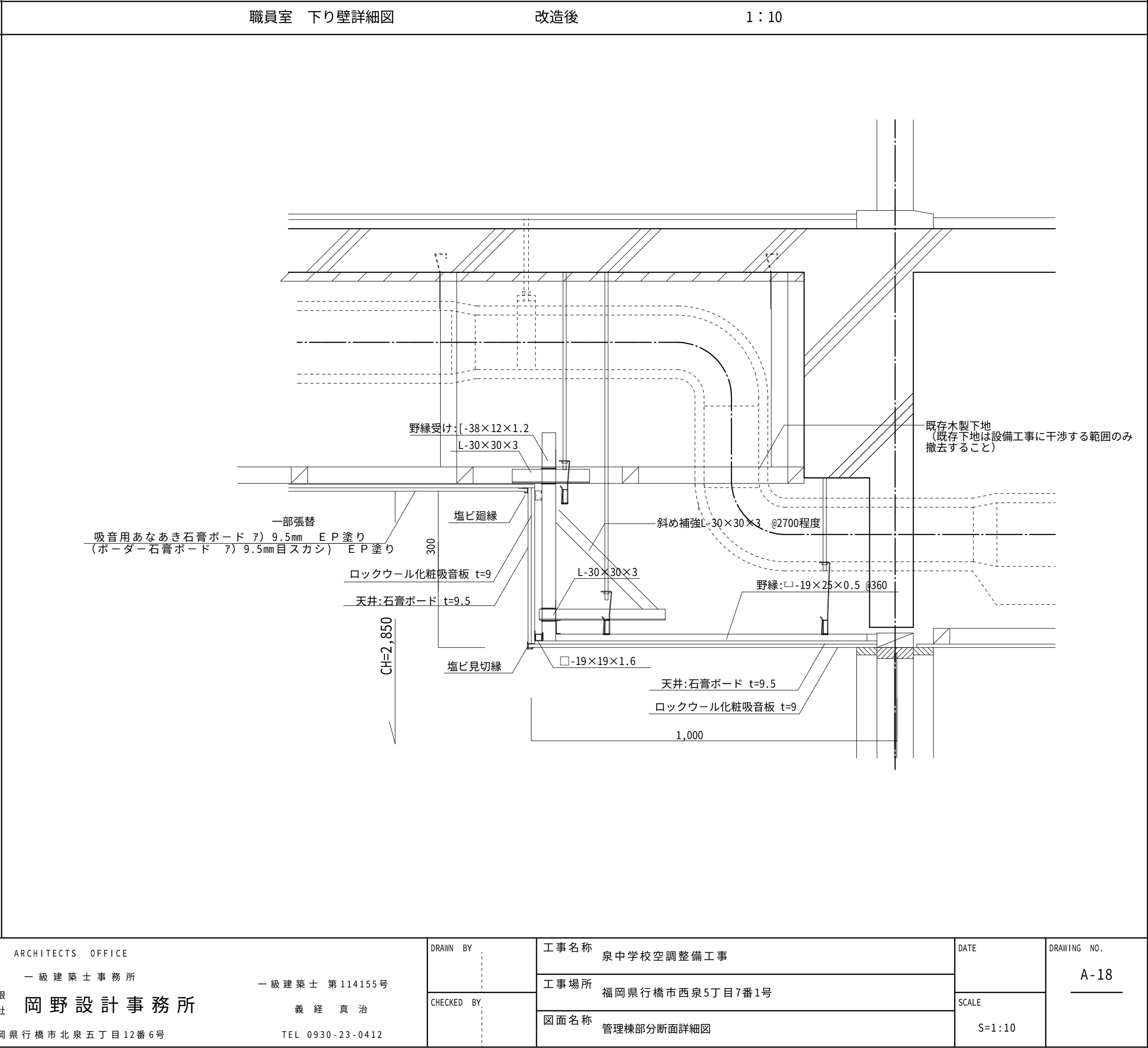
	OKANO ARCHITECTS OFFICE	DRAWN BY	工事名称	DATE	DRAWING NO. A-15
	一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所	一級建築士 第114155号 義経 真治	工事場所	SCALE S=1:100	
	福岡県行橋市北泉五丁目12番6号 TEL 0930-23-0412	CHECKED BY	福岡県行橋市西泉5丁目7番1号 図面名称 管理棟校舎改修後3階天井伏図		



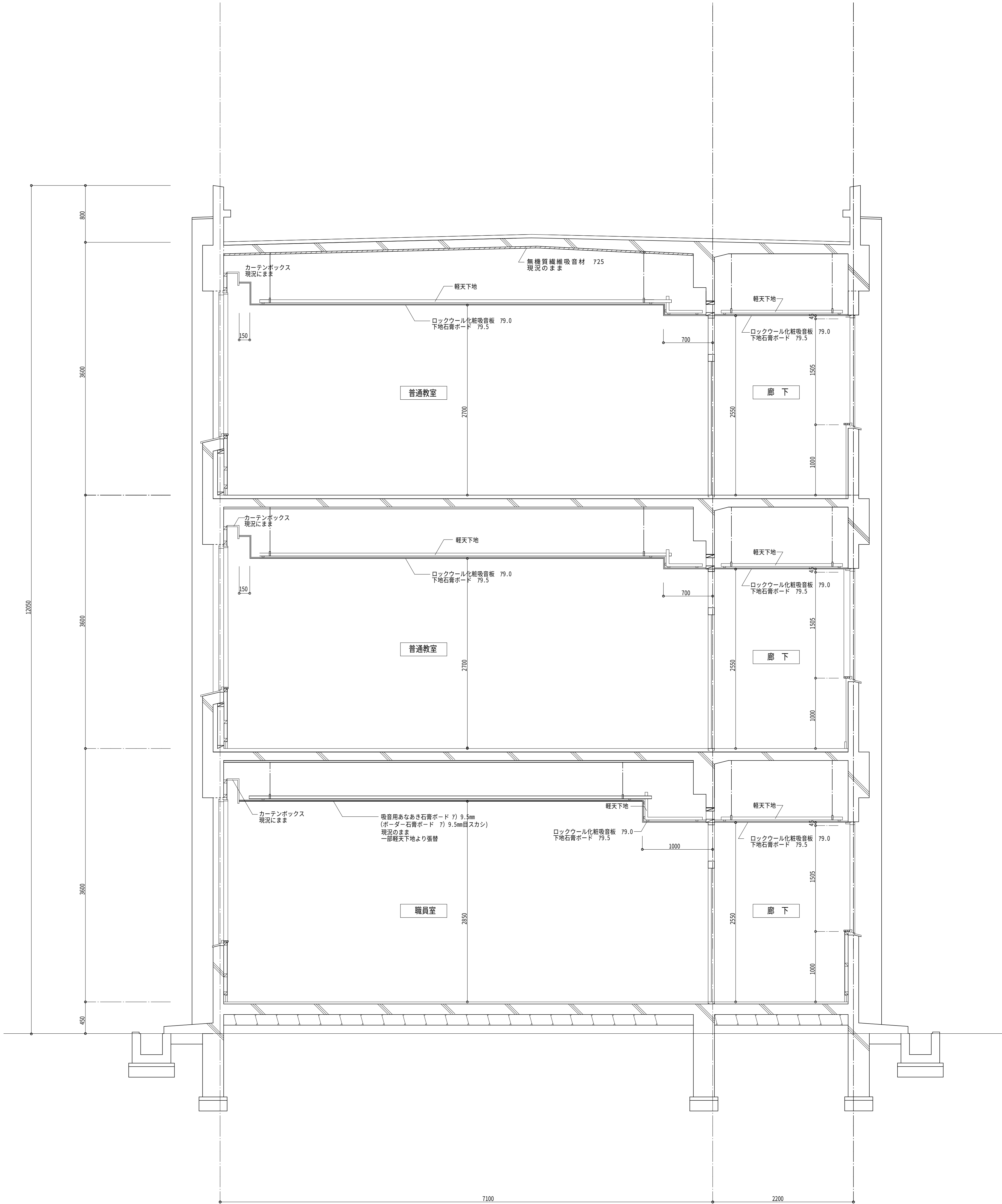
改修前断面図 S=1/100



改修後断面図 S=1/100

カーテンBox廻り詳細図 改造前 1 : 10 	下り壁詳細図 改造前 1 : 10 	職員室 下り壁詳細図 改造前 1 : 10 
カーテンBox廻り詳細図 改造後 1 : 10 	下り壁詳細図 改造後 1 : 10 	職員室 下り壁詳細図 改造後 1 : 10 
OKAWO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	DRAWN BY CHECKED BY	工事名称 泉中学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号 図面名称 管理棟部分断面詳細図 DATE SCALE S=1:10 DRAWING NO. A-18

校長室下り壁詳細図		改造前	1：10	特別教室下り壁詳細図		改造前	1：10	リターン用アルミガラリ		改造前	1：10																
校長室下り壁詳細図		改造後	1：10	特別教室下り壁詳細図		改造後	1：10	リターン用アルミガラリ		改造後	1：10																
<table><tr><td colspan="4">OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北原五丁目12番6号</td><td colspan="4">一級建築士 第114155号 義経 真治 TEL 0930-23-0412</td><td colspan="2">DRAWN BY CHECKED BY</td><td colspan="2">工事名称 泉中学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号 図面名称 管理棟校舎棟部分断面詳細図-2</td><td colspan="2">DATE SCALE S=1:10</td><td colspan="2">DRAWING NO. A-19</td></tr></table>												OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北原五丁目12番6号				一級建築士 第114155号 義経 真治 TEL 0930-23-0412				DRAWN BY CHECKED BY		工事名称 泉中学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号 図面名称 管理棟校舎棟部分断面詳細図-2		DATE SCALE S=1:10		DRAWING NO. A-19	
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北原五丁目12番6号				一級建築士 第114155号 義経 真治 TEL 0930-23-0412				DRAWN BY CHECKED BY		工事名称 泉中学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号 図面名称 管理棟校舎棟部分断面詳細図-2		DATE SCALE S=1:10		DRAWING NO. A-19													



改修後矩計図 S=1/30

OKANO ARCHITECTS OFFICE
有限 一般建築士事務所
会社 岡野設計事務所
福岡県行橋市北東五丁目12番6号

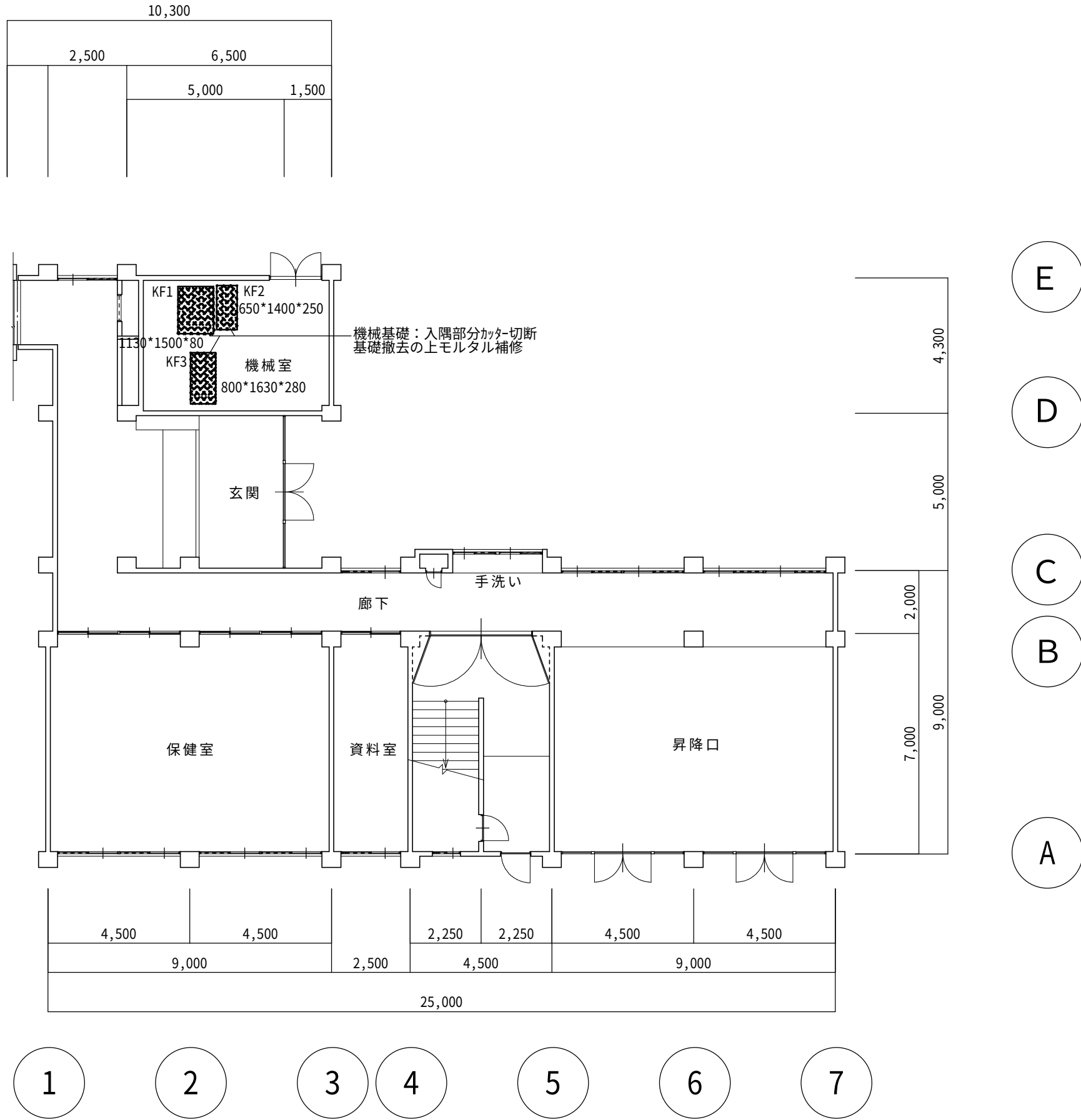
一般建築士 第114155号
兼 建築 員 治
TEL 0930-23-0412

DESIGN BY
CHECKED BY

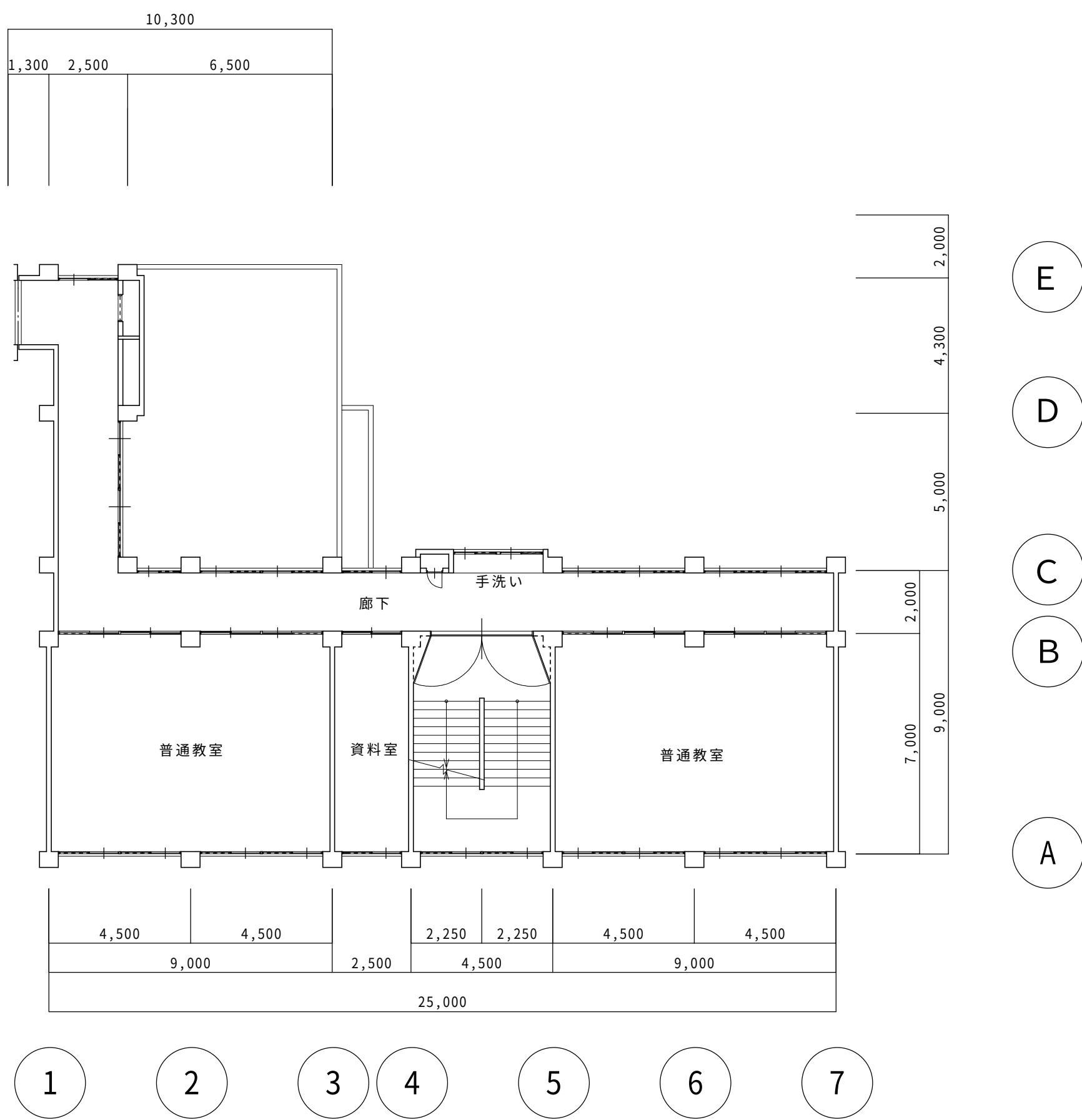
工事名称 泉中学校空調設備工事
工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号
図面名称 管理棟改修改修設計図

DATE
SCALE
S=1/30

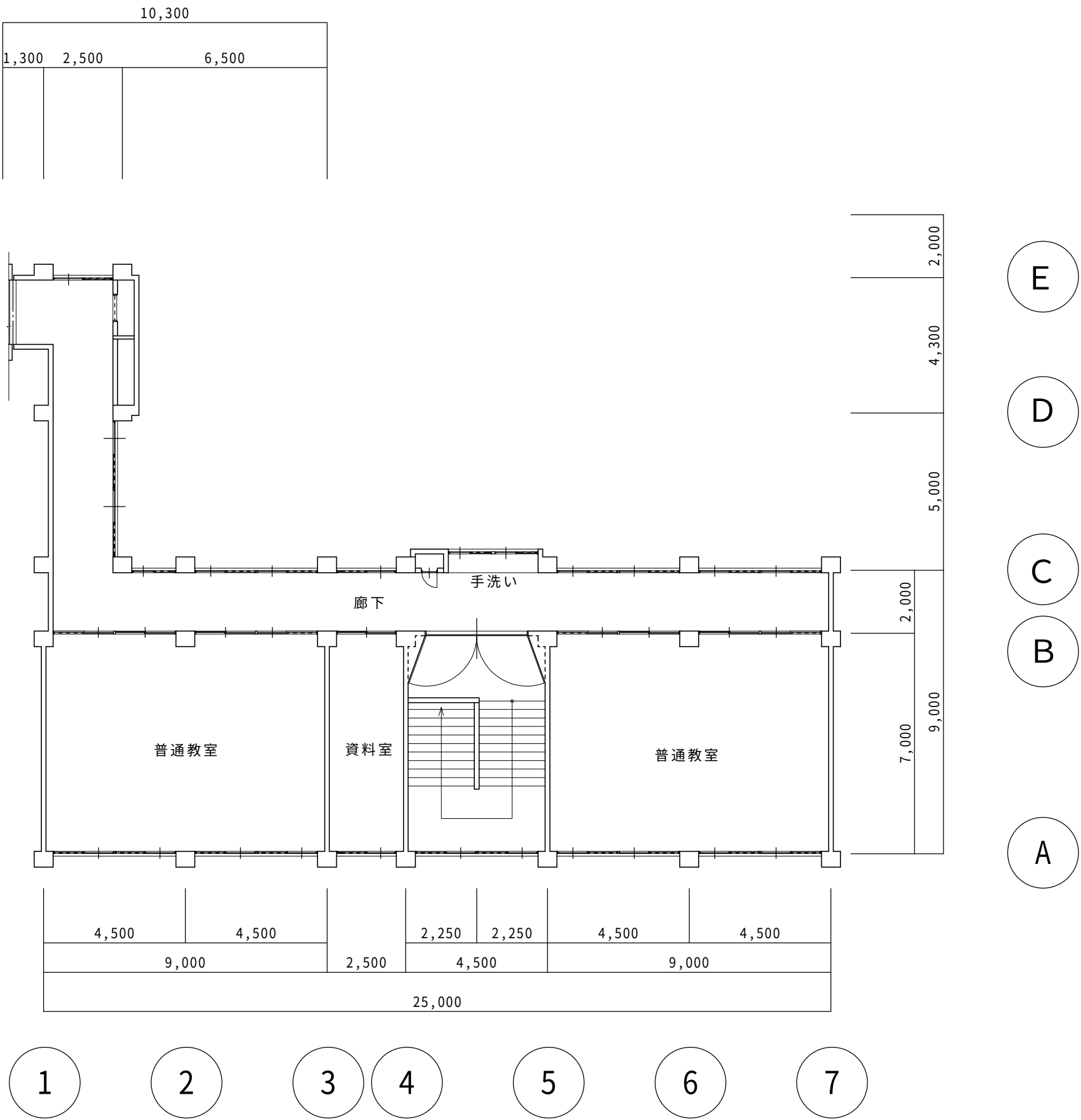
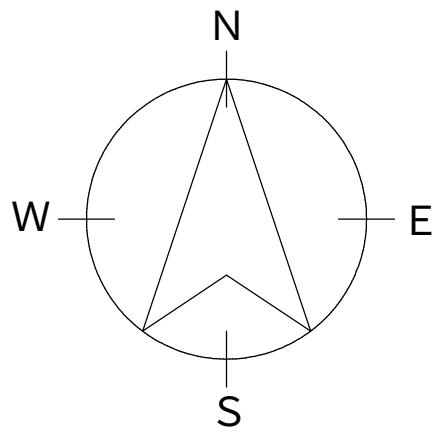
DRAWING NO.
A-20



1階平面図 S=1/150



2階平面図 S=1/150



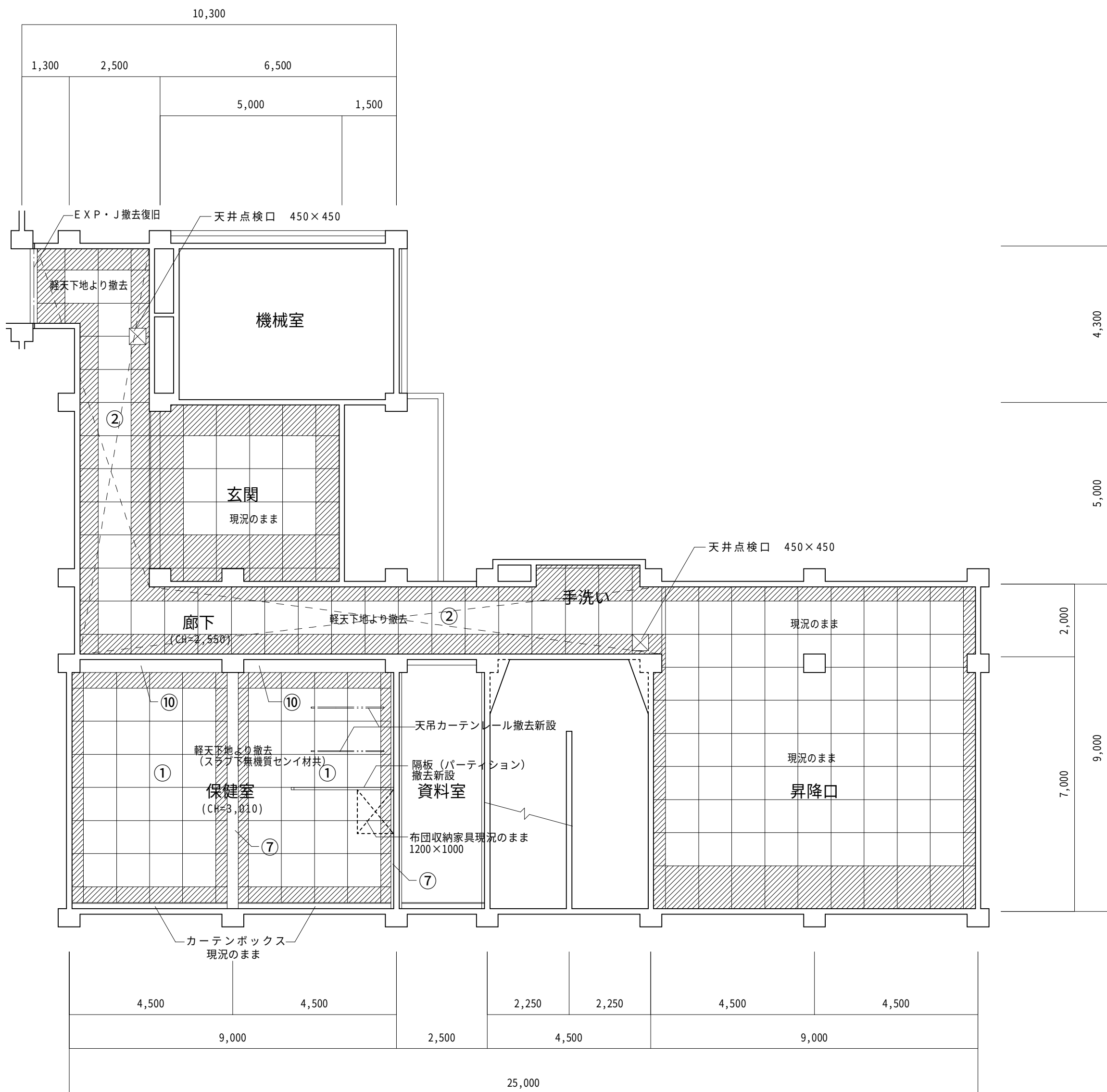
3階平面図 S=1/150

東棟校舎	
室名	空調対象面積
[1階]	
保健室	9.0 × 7.0 = 63.00
63.00	
[2階]	
普通教室(2室)	9.0 × 7.0 × 2 = 126.00
126.00	
[3階]	
普通教室(2室)	9.0 × 7.0 × 2 = 126.00
126.00	
[1階]	
資料室	2.5 × 7.0 = 17.50
17.50	
機械室	6.05 × 4.3 = 26.02
26.02	
D S	0.65 × 4.3 = 2.80
2.80	
4.5 × 7.0 + 9.0 × 7.0 + 5.0 × 5.0	
+ 1.525 × 2.2 + 2.075 × 4.3 + 2.275 × 7.0	
+ 22.5 × 2.0 + 4.05 × 0.6 = 195.13	
195.13	
階段・廊下・玄関・昇降口	
[2階]	
資料室	2.5 × 7.0 = 17.50
17.50	
D S	0.65 × 4.3 = 2.80
2.80	
4.5 × 7.0 + 1.525 × 2.2 + 2.075 × 9.3	
+ 25.0 × 2.0 + 4.05 × 0.6	
= 106.58	
106.58	
階段・廊下	
[3階]	
資料室	2.5 × 7.0 = 17.50
17.50	
D S	0.65 × 4.3 = 2.80
2.80	
4.5 × 7.0 + 1.525 × 2.2 + 2.075 × 9.3	
+ 25.0 × 2.0 + 4.05 × 0.6	
= 106.58	
106.58	
階段・廊下	
施設面積計	
810.21	
空調面積計	
315.00	

機械室基礎撤去リスト	
符号	W×D×H
KF1	1,130 × 1,500 × 80
KF2	650 × 1,400 × 250
KF3	800 × 1,630 × 280
施工内容	
コンクリート機械基礎撤去(周囲カッター入れ)	
撤去部分モルタル金ごて押え新設	

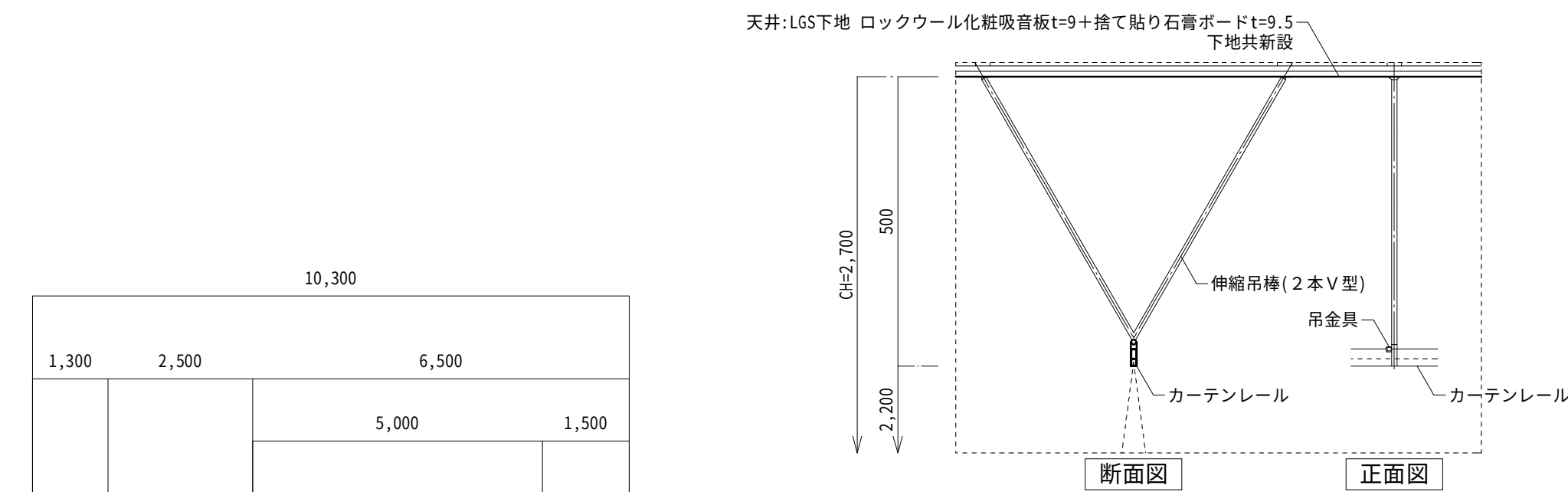
特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。

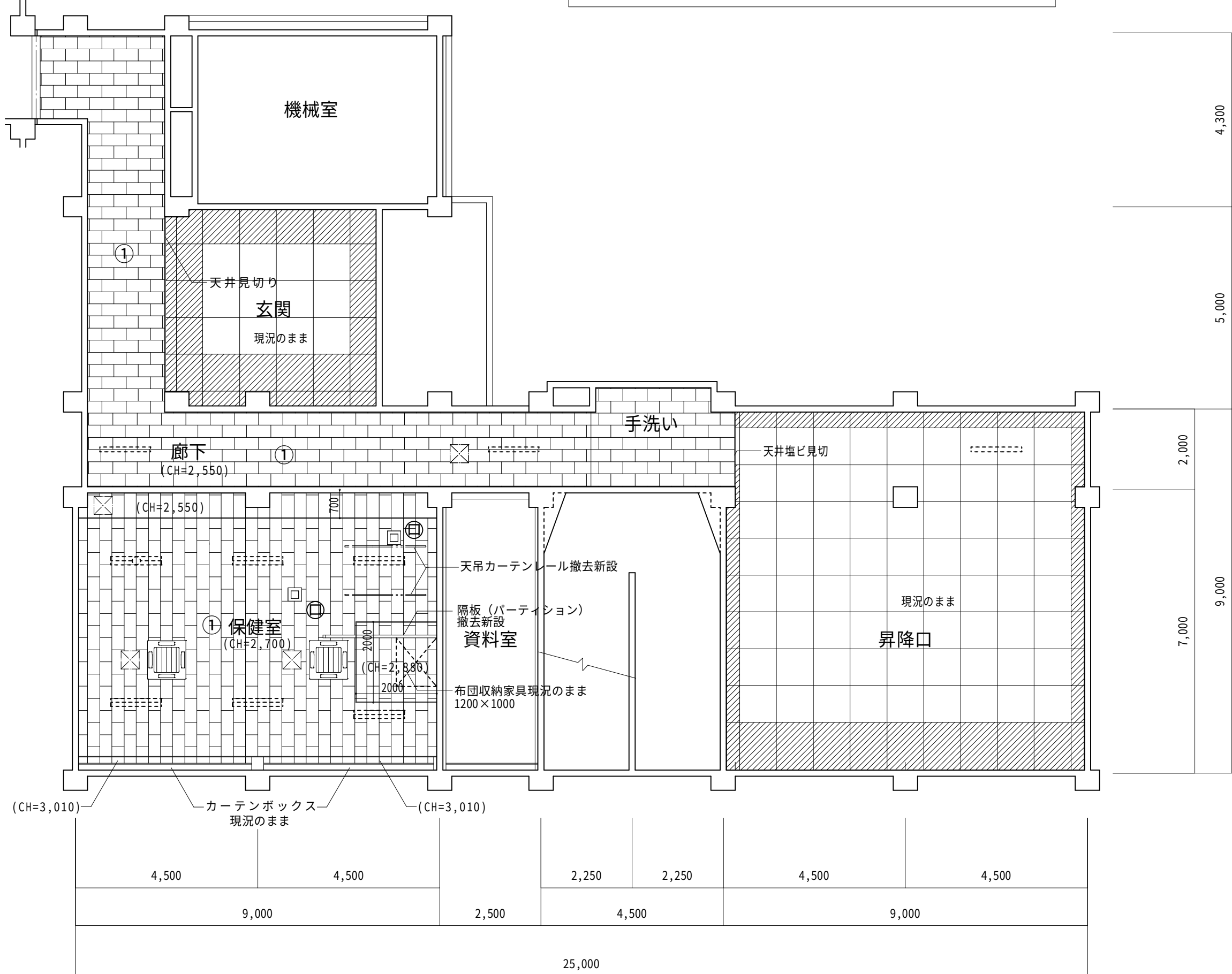


改修前1階天井伏図 S=1/100

①	穿孔石膏ボードt=9 ポーター石膏ボードt=9目通し貼 E P 塗 (スラブ下無機質セシイ材)	⑧	コンクリート打放し
②	吸音石膏ボードt=9 ポーター石膏ボードt=9目通し貼 E P 塗	⑨	石綿珪カル板t=6 アクリルリシン吹付
③	石膏ボードt=9目通し貼 E P 塗	⑩	穿孔ラワン合板t=5.5目通し O P 塗
④	石膏ボードt=9目通し貼 (不燃) E P 塗		
⑤	無機質セシイ吸音板t=10吹付		
⑥	コンクリート打放し アクリルリシン吹付		
⑦	プラスター塗		



1階保健室 吊りカーテンレール詳細図 S=1/10



改修後1階天井伏図 S=1/100

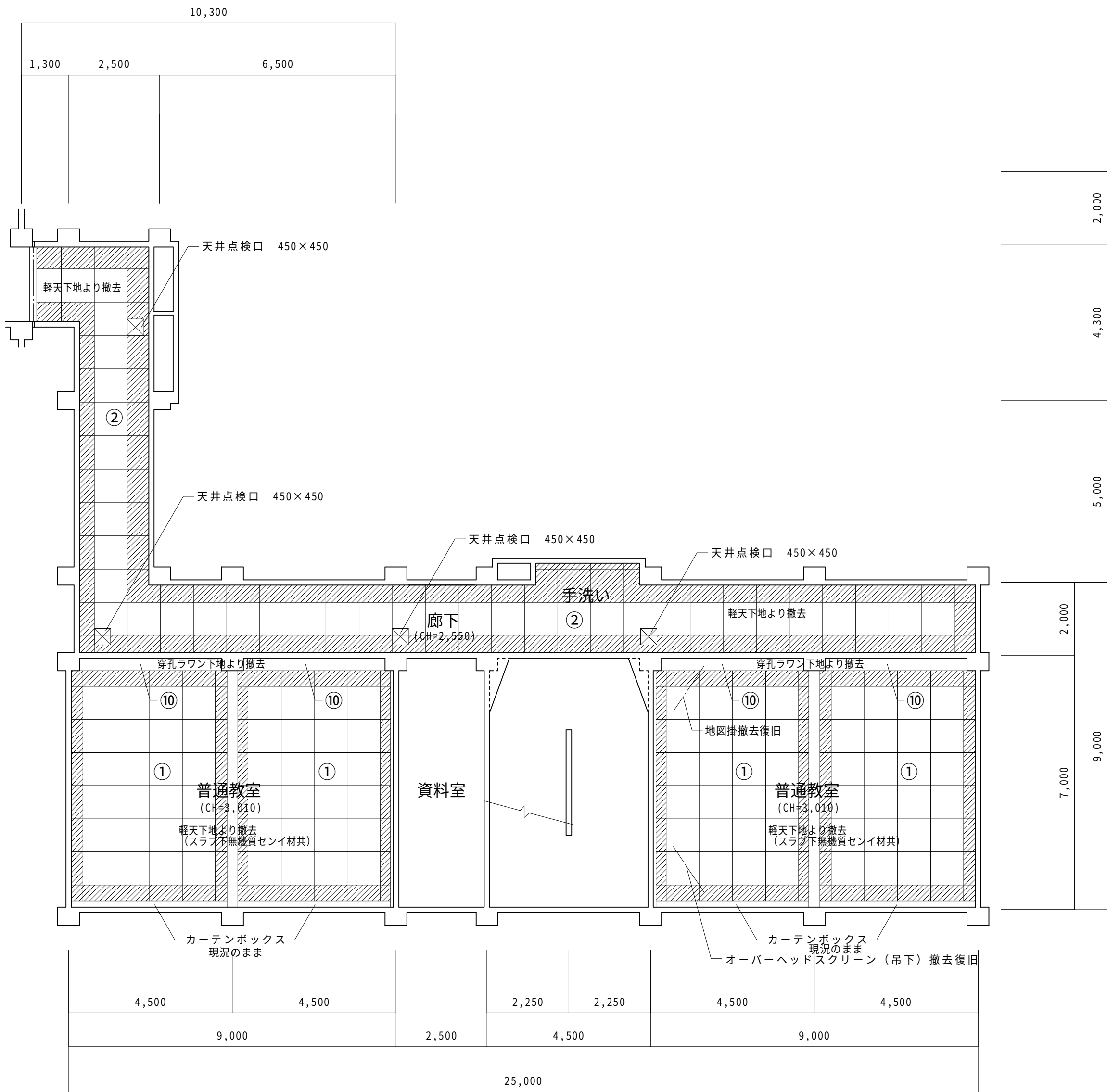
特記事項

※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

①	ロックウール化粧吸音板 7) 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
②	化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
③	吸音用あなき石膏ボード 7) 9mm ※ 一部現況のままとする (ポーター石膏ボード 7) 9mm目スカシ) =撤去強替部分	EP EP
④	吸音テックス貼 7) 9mm	
	天井点検口 450角	
	カーテンボックス	
	オーバーヘッドスクリーン	

天井開口寸法

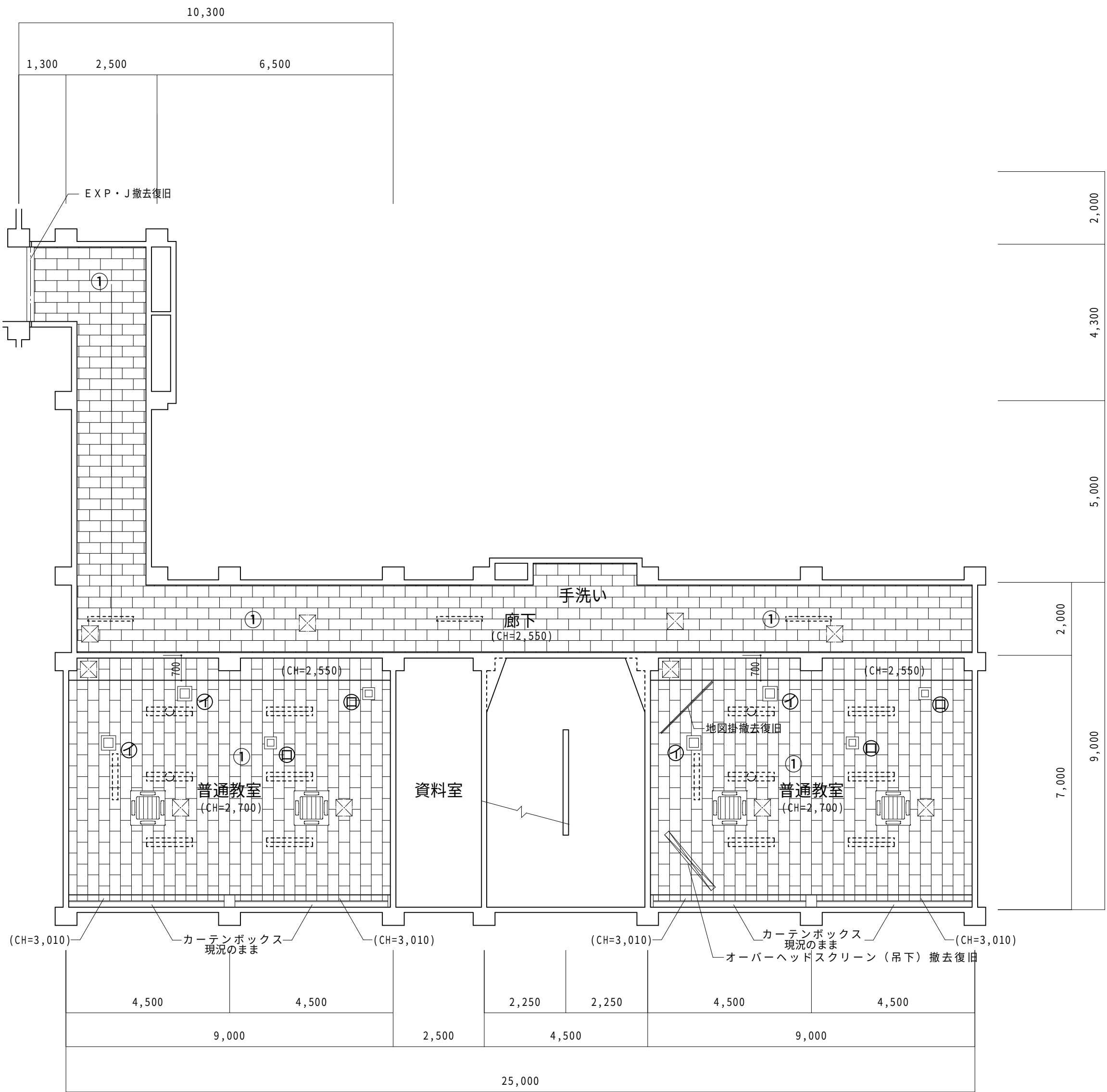
名 称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	9 1 0 × 9 1 0
給排気グリル	3 9 0 × 3 9 0
給排気グリル	3 1 0 × 3 1 0
点検口	4 5 0 × 4 5 0



- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

改修前2階天井伏図 S=1/100

①	穿孔石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗（スラブ下無機質セシイ材）	⑧	コンクリート打放し
②	吸音石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗	⑨	石綿珪カル板t=6 アクリルリシン吹付
③	石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗	⑩	穿孔ラワン合板t=5.5目透し O P 塗
④	石膏ボードt=9目透し貼（不燃） E P 塗		
⑤	無機質セシイ吸音板t=10吹付		
⑥	コンクリート打放し アクリルリシン吹付		
⑦	プラスター塗		



- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

改修後2階天井伏図 S=1/100

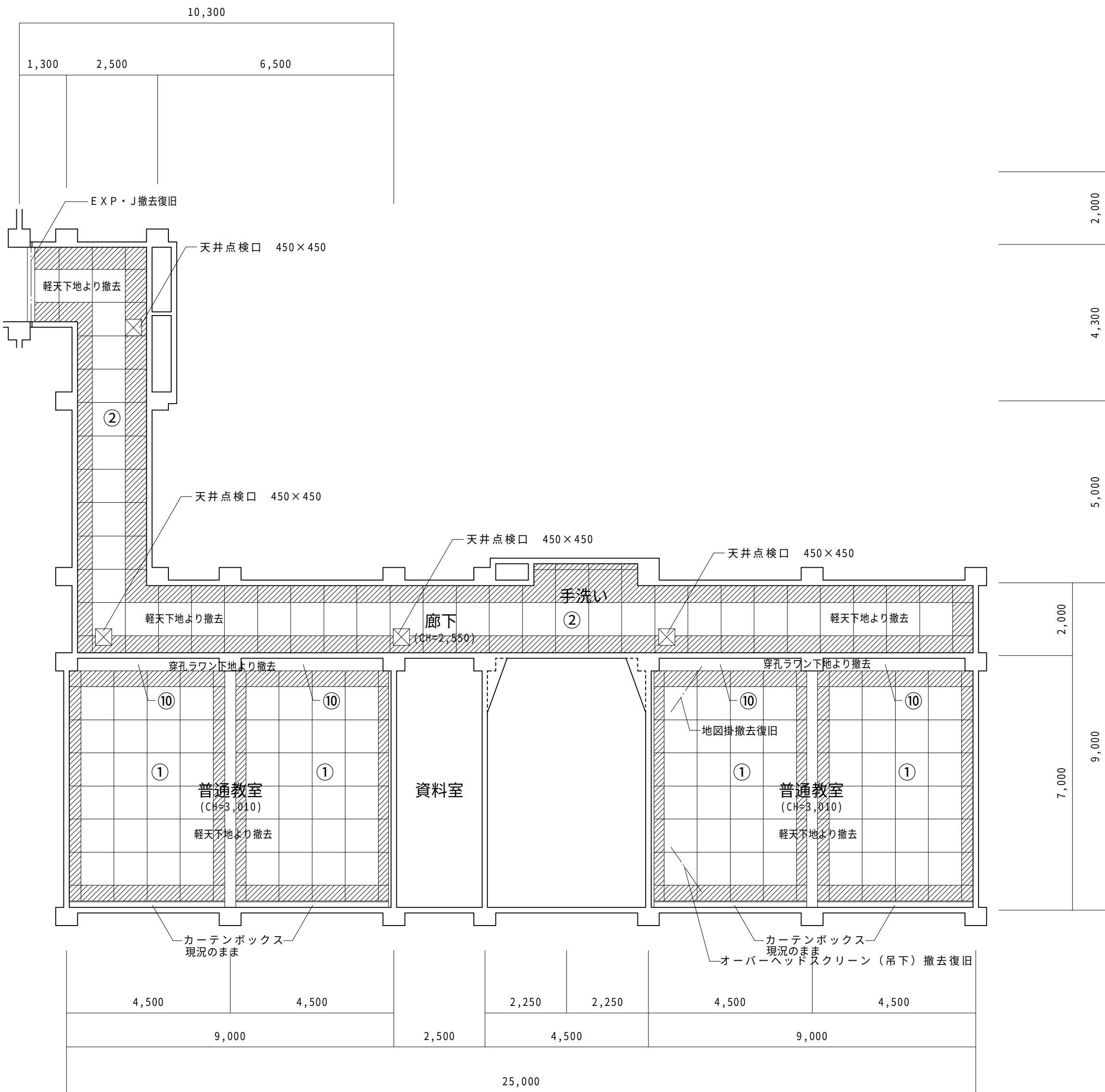
特記事項

※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

天 井 開 口 寸 法

名 称	開口寸法（mm）
天井カセット形エアコン	910×910
給排気グリル ①	390×390
給排気グリル ②	310×310
点検口	450×450

①	ロックウール化粧吸音板 7) 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
②	化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
③	吸音用あななき石膏ボード 7) 9mm ※ 一部現況のままとする （ボーダー石膏ボード 7) 9mm目スカシ） ☒☒☒ =撤去張替部分	EP EP
④	吸音テックス貼 7) 9mm	
☒	天井点検口 450角	
☐	カーテンボックス	
☒☒	オーバーヘッドスクリーン	



E

D

C

B

A

1

2

3

4

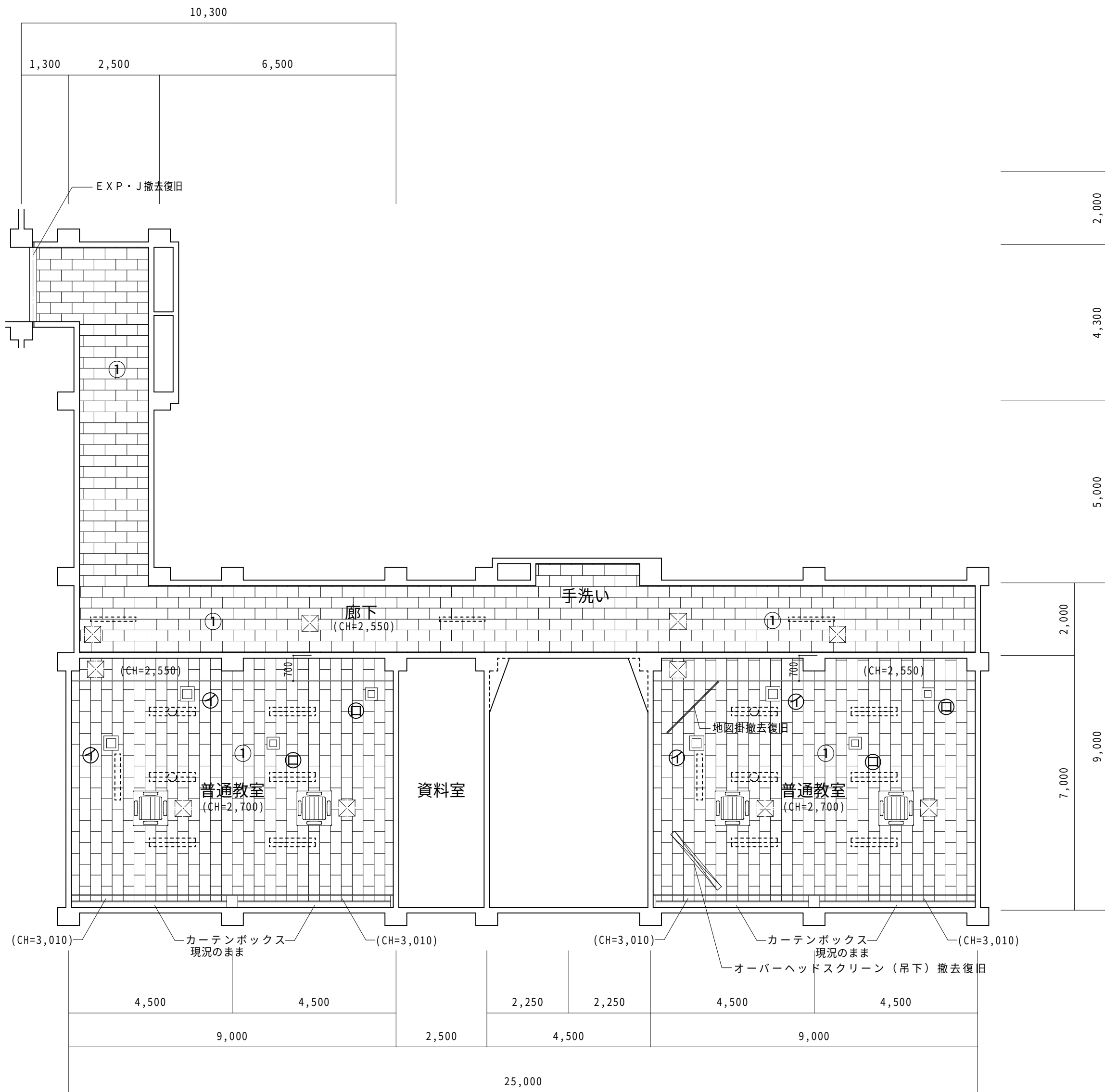
5

6

7

改修前3階天井伏図 S=1/100

①	穿孔石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目通し貼 E P 塗 (スラブ下無機質セナイ材)	⑧	コンクリート打放し
②	吸音石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目通し貼 E P 塗	⑨	石綿珪カル板t=6 アクリルリシン吹付
③	石膏ボードt=9目通し貼 E P 塗	⑩	穿孔ラワン合板t=5.5目通し O P 塗
④	石膏ボードt=9目通し貼 (不燃) E P 塗		
⑤	無機質セナイ吸音板t=10吹付		
⑥	コンクリート打放し アクリルリシン吹付		
⑦	プラスター塗		



E

D

C

B

A

1

2

3

4

5

6

7

改修後3階天井伏図 S=1/100

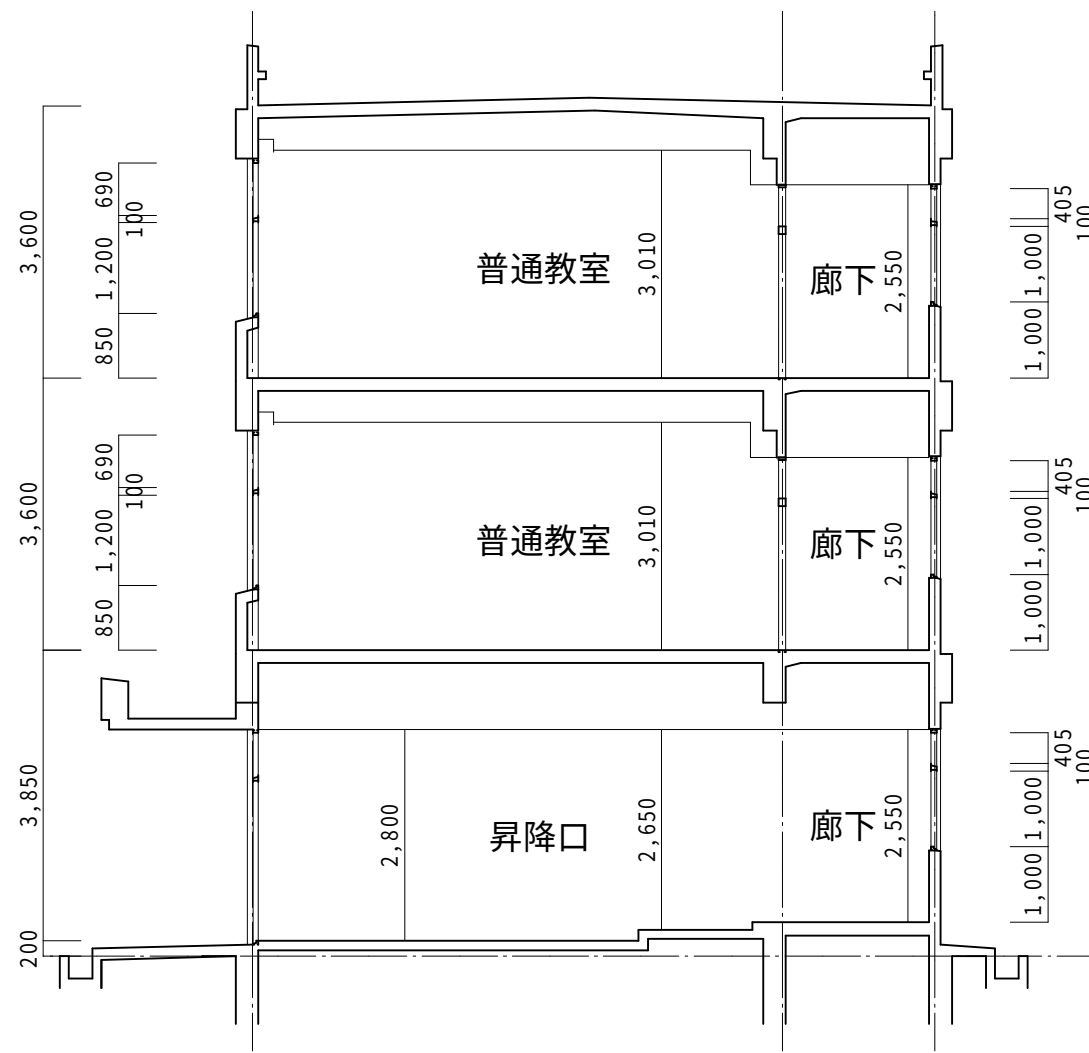
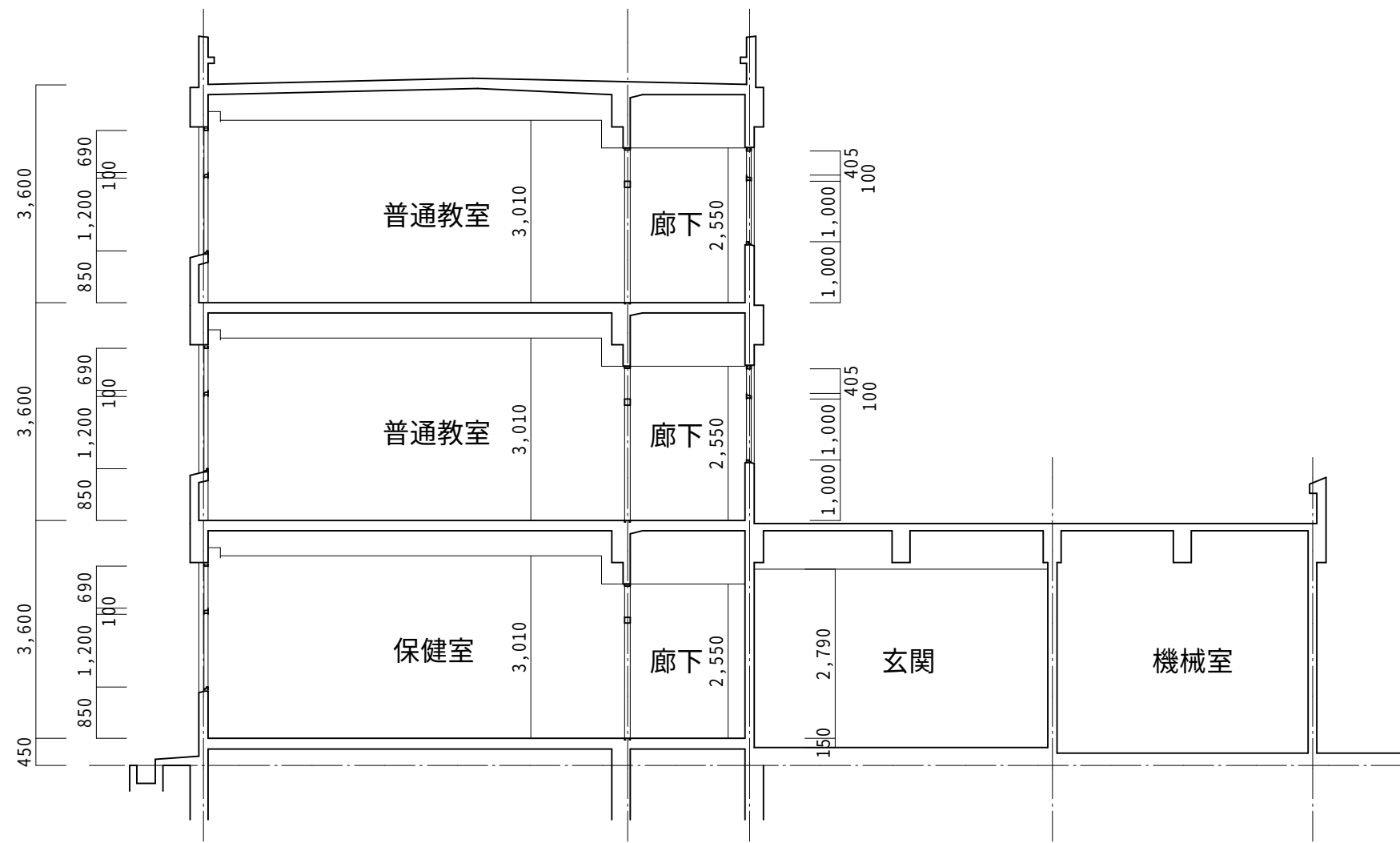
特記事項

※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

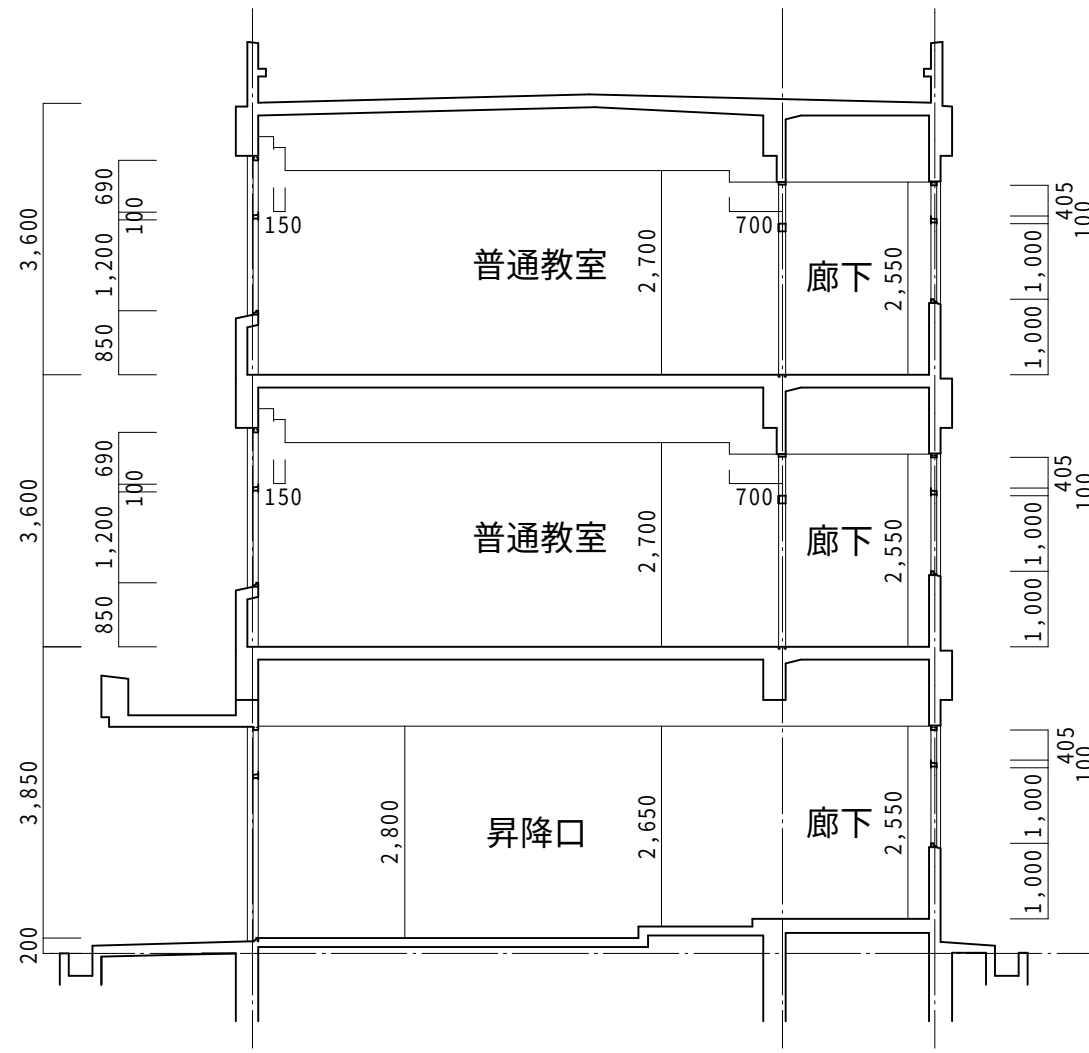
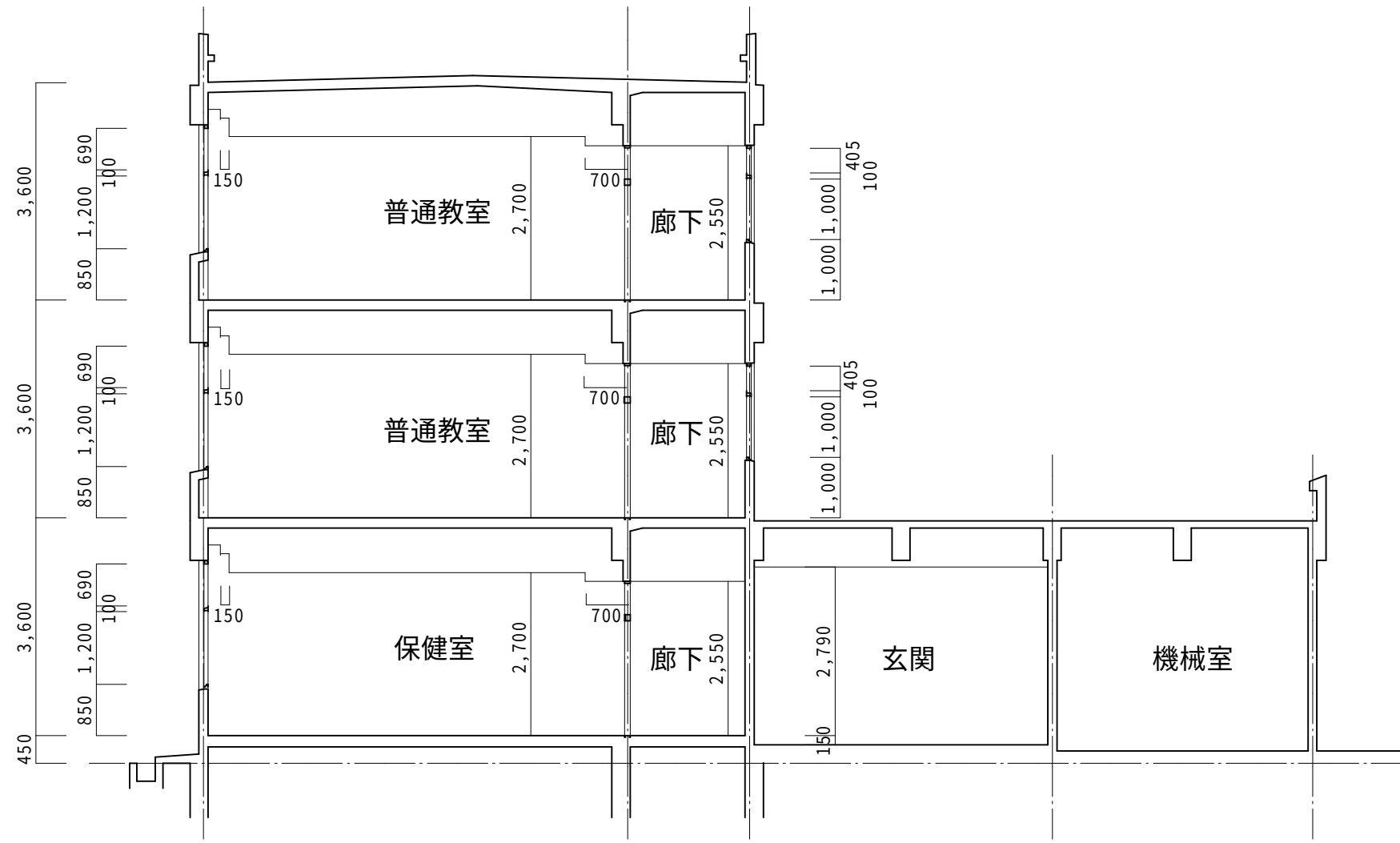
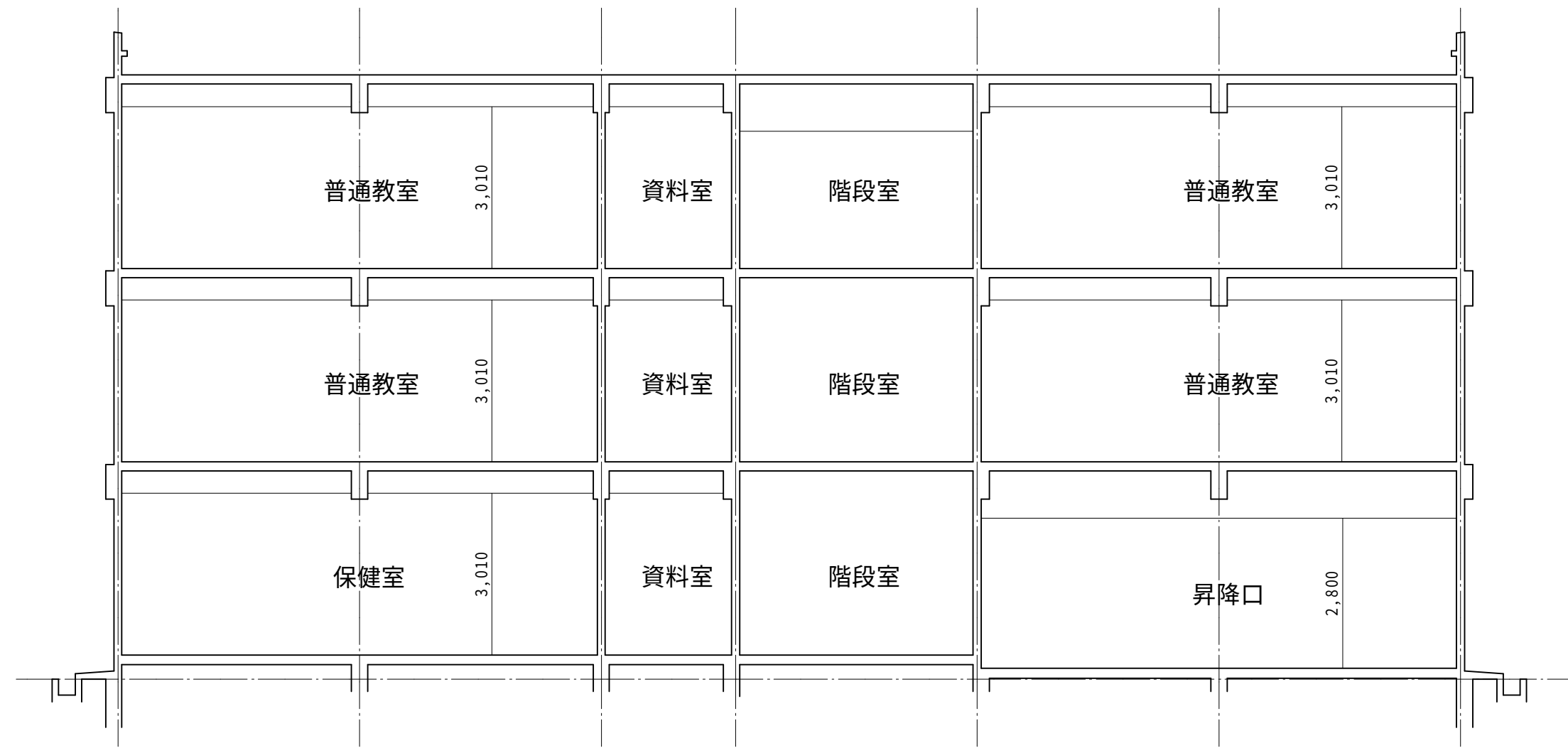
①	ロックウール化粧吸音板 7) 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
②	化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
③	吸音用あなき石膏ボード 7) 9mm ※ 一部現況のままとする (ボーダー石膏ボード 7) 9mm目スカシ) ☒☒☒ =撤去張替部分	EP EP
④	吸音デックス貼 7) 9mm	
☒	天井点検口 450角	
☐	カーテンボックス	
☒☒☒	オーバーヘッドスクリーン	

天 井 開 口 寸 法

名 称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910×910
給排気グリル	
給排気グリル ㊦	390×390
給排気グリル ㊦	310×310
点検口	450×450



改修前断面図 S=1/100



改修後断面図 S=1/100

OKANO ARCHITECTS OFFICE
一級建築士事務所
有限会社 岡野設計事務所
福岡県行橋市北泉五丁目12番6号

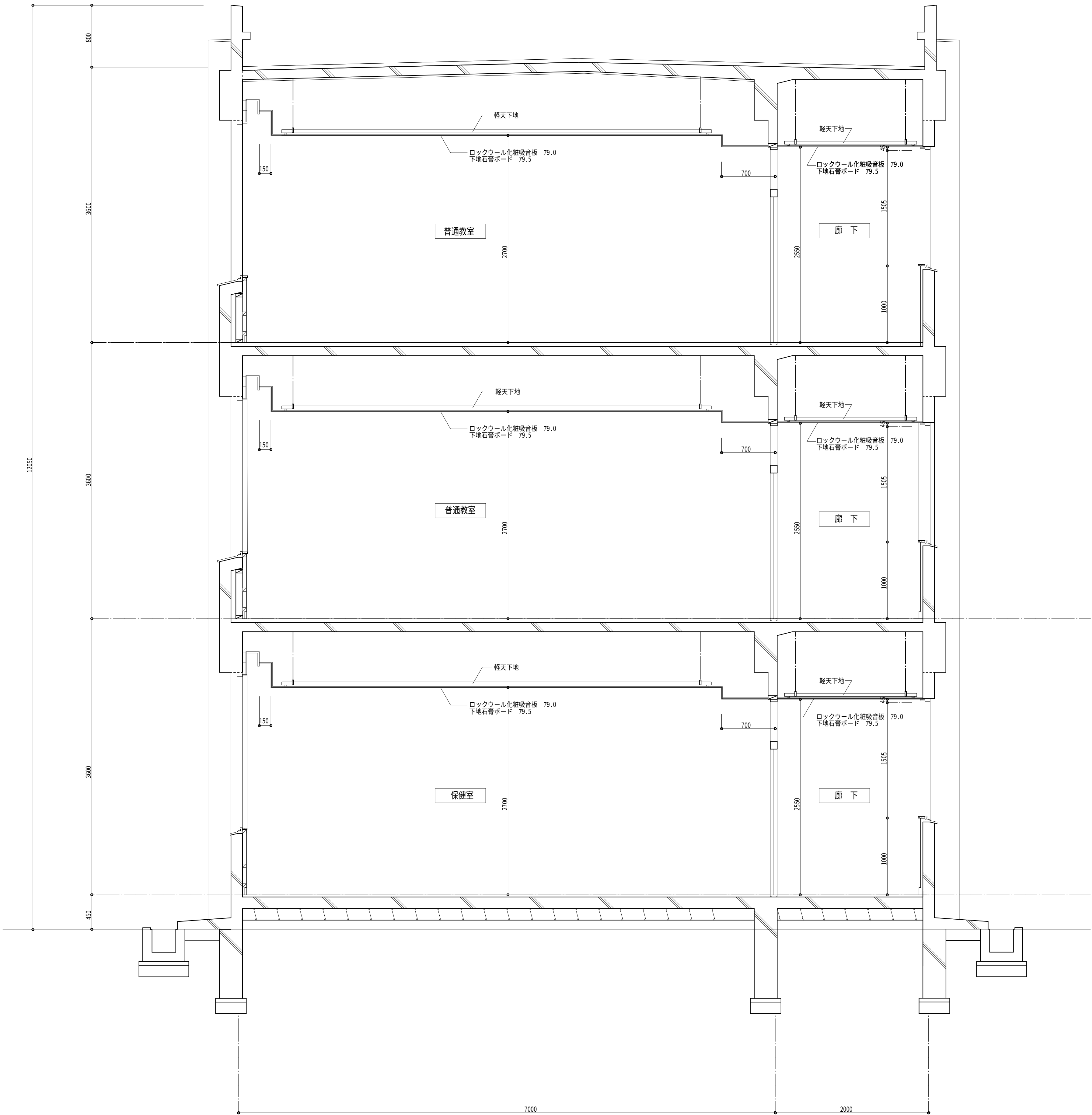
一級建築士 第114155号
義経 真治
TEL 0930-23-0412

DRAWN BY
CHECKED BY

工事名称 泉中学校空調整備工事
工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号
図面名称 東棟校舎改修前後断面図

DATE
SCALE
S=1:100

DRAWING NO.
A-25



改修後矩計図 S=1/30

OKANO ARCHITECTS OFFICE
有限 一級建築士事務所
会社 岡野設計事務所
福岡県行橋市北原五丁目12番6号
TEL 0930-23-0412

一級建築士 第114155号
兼 建築 監 造

DESIGN BY
CHECKED BY

工事名称 泉中学校空調設備工事
工事場所 福岡県行橋市西原5丁目7番1号
図面名称 東棟改修矩計図

DATE
SCALE
S=1/30

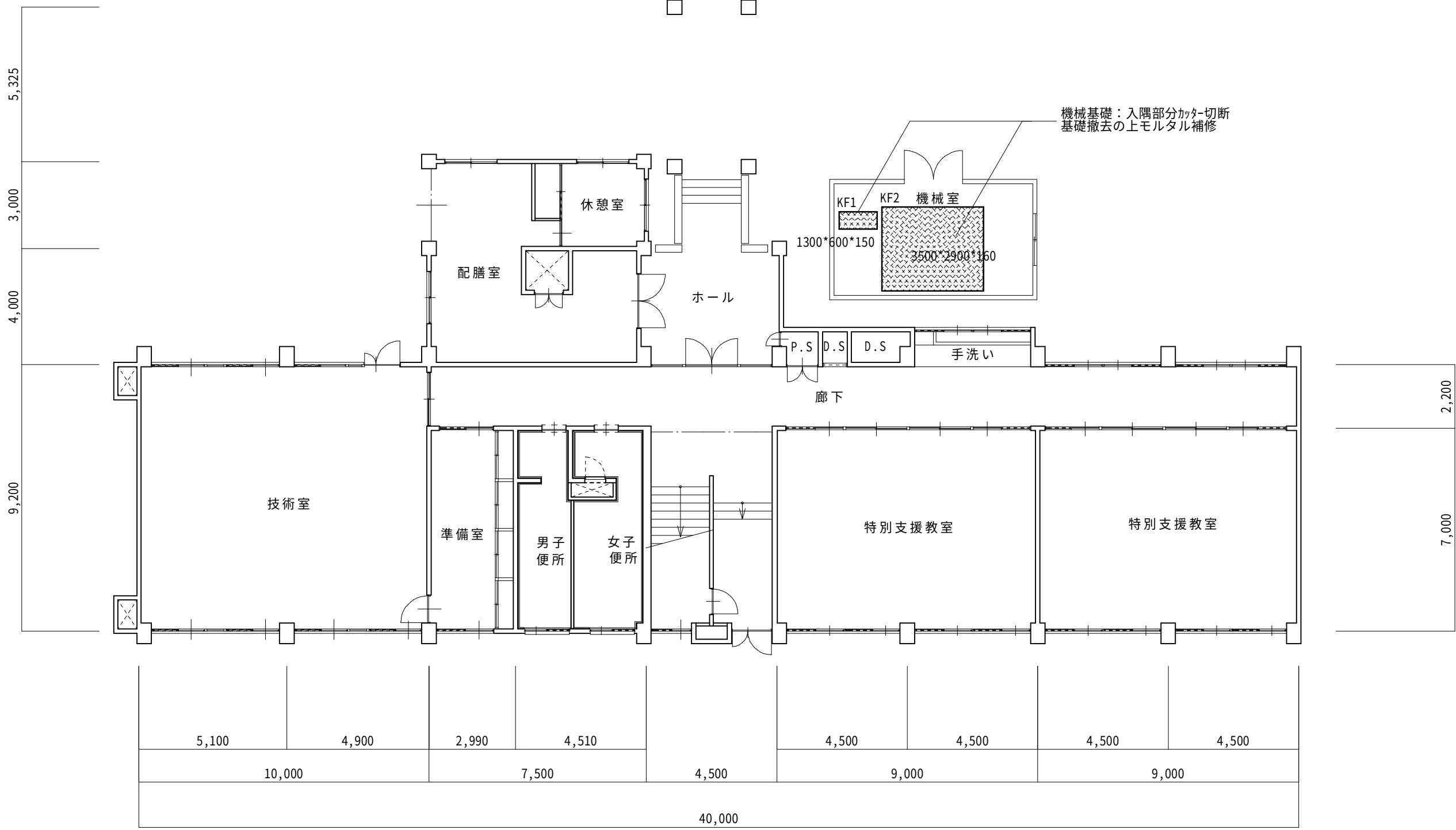
DRAWING NO.
A-27

E

D

C

A



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

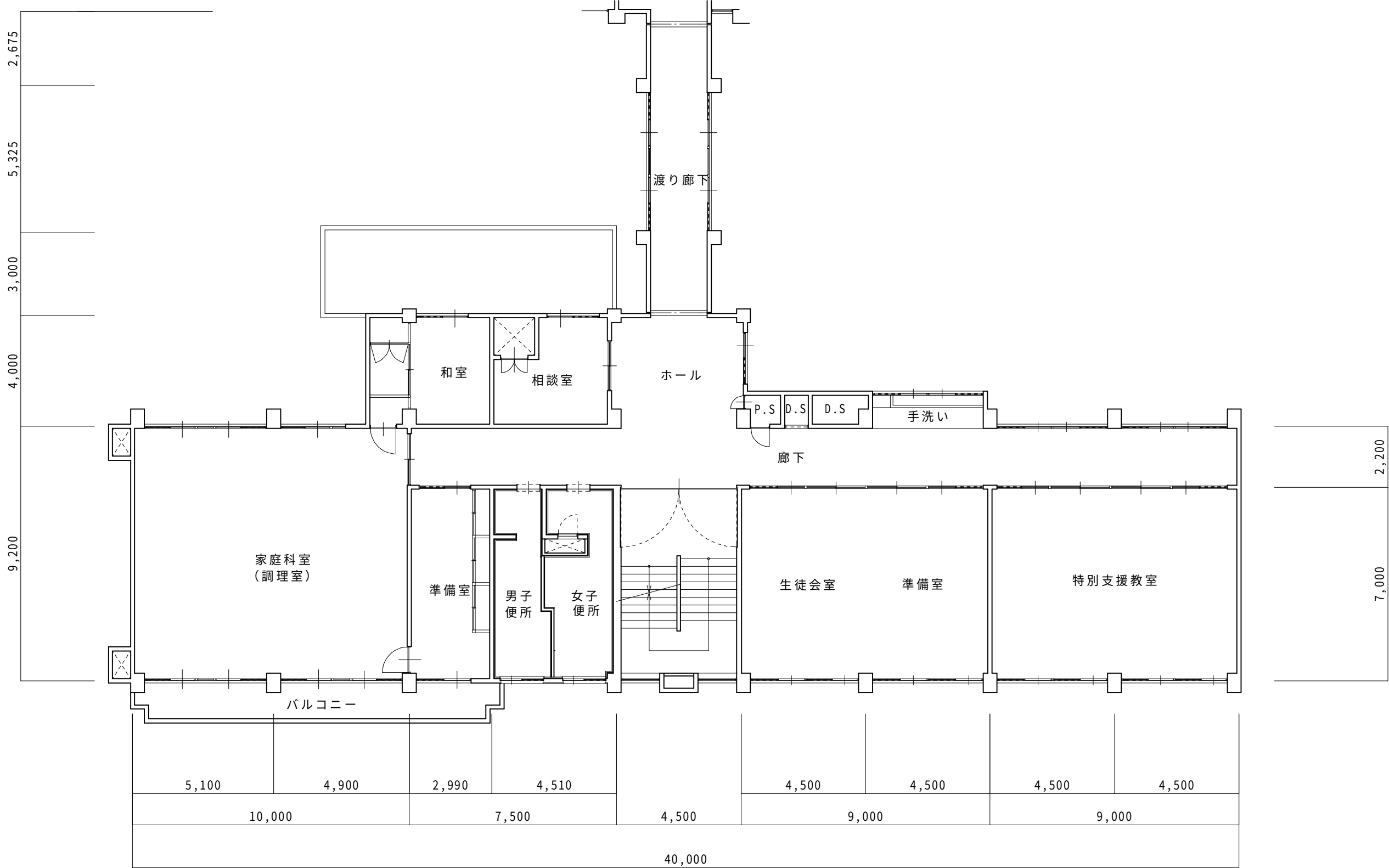
1階平面図 S=1/150

E

D

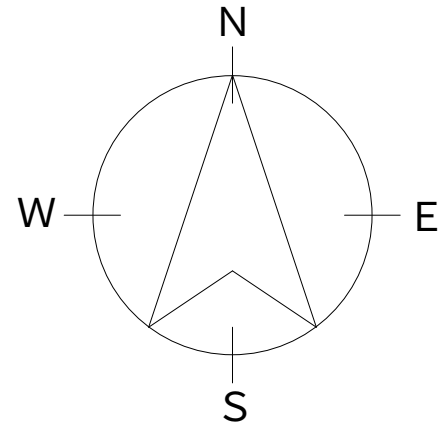
C

A



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

2階平面図 S=1/150



B

B

棟校舎			
室 名		空調対象面積	
施 工 室	[1 階]		
	技術室	$10.0 \times 9.2 = 92.00$	92.00
	特別支援教室(2室)	$9.0 \times 7.0 \times 2 = 126.00$	126.00
	[2 階]		
	家庭科室	$10.0 \times 9.2 = 92.00$	92.00
	生徒会室	$4.5 \times 7.0 = 31.50$	31.50
	特別支援教室	$9.0 \times 7.0 = 63.00$	63.00
	和室	$4.49 \times 4.0 = 17.96$	17.96
	[3 階]		
	理科室	$10.0 \times 9.2 = 92.00$	92.00
	図書室	$18.0 \times 9.2 + 4.15 \times 1.2 = 170.58$	170.58
	非 施 工 室	[1 階]	
技術準備室		$2.99 \times 7.0 = 20.93$	20.93
便所		$4.51 \times 7.0 = 31.57$	31.57
配膳室		$7.5 \times 3.0 + 7.225 \times 4.0 = 51.40$	51.40
機械室		$7.0 \times 4.5 = 31.50$	31.50
D S		$3.175 \times 1.2 = 3.81$	3.81
階段・廊下		$4.5 \times 7.0 + 1.234 \times 0.375 + 30.0 \times 2.2 + 4.15 \times 1.2 + 1.365 \times 1.2 = 104.58$	104.58
[2 階]			
家庭科準備室		$2.99 \times 7.0 = 20.93$	20.93
便所		$4.51 \times 7.0 = 31.57$	31.57
美術準備室		$4.5 \times 7.0 = 31.50$	31.50
配膳室		$4.235 \times 4.0 = 16.94$	16.94
D S	$3.175 \times 1.2 = 3.81$	3.81	
階段・廊下	$4.91 \times 4.0 + 4.5 \times 7.0 + 1.234 \times 0.375 + 30.0 \times 2.2 + 4.15 \times 1.2 + 1.365 \times 1.2 + 2.2 \times 11.0 = 148.42$	148.42	
非 施 工 室	[3 階]		
	理科準備室	$2.99 \times 7.0 = 20.93$	20.93
	便所	$4.51 \times 7.0 = 31.57$	31.57
	準備室	$4.49 \times 4.0 = 17.96$	17.96
	配膳室	$4.235 \times 4.0 = 16.94$	16.94
	D S	$3.175 \times 1.2 = 3.81$	3.81
	階段・廊下	$4.91 \times 4.0 + 4.5 \times 7.0 + 1.234 \times 0.375 + 12.0 \times 2.2 + 1.365 \times 1.2 + 2.2 \times 11.0 = 103.84$	103.84
	施設面積計		1,377.05
	空調面積計		685.04

機械室基礎撤去リスト		
符号	W×D×H	
KF1	1,300 ×	600 × 150
KF2	3,500 ×	2,900 × 160
施工内容		
コンクリート機械基礎撤去(周囲カッター入れ) 撤去部分モルタル金ごて押え新設		

特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。

OKANO ARCHITECTS OFFICE

一級建築士事務所

有限会社 岡野設計事務所

福岡県行橋市北泉五丁目12番6号

一級建築士 第114155号

義経 真治

TEL 0930-23-0412

DRAWN BY

工事名称 泉中学校空調整備工事

DATE

DRAWING NO.

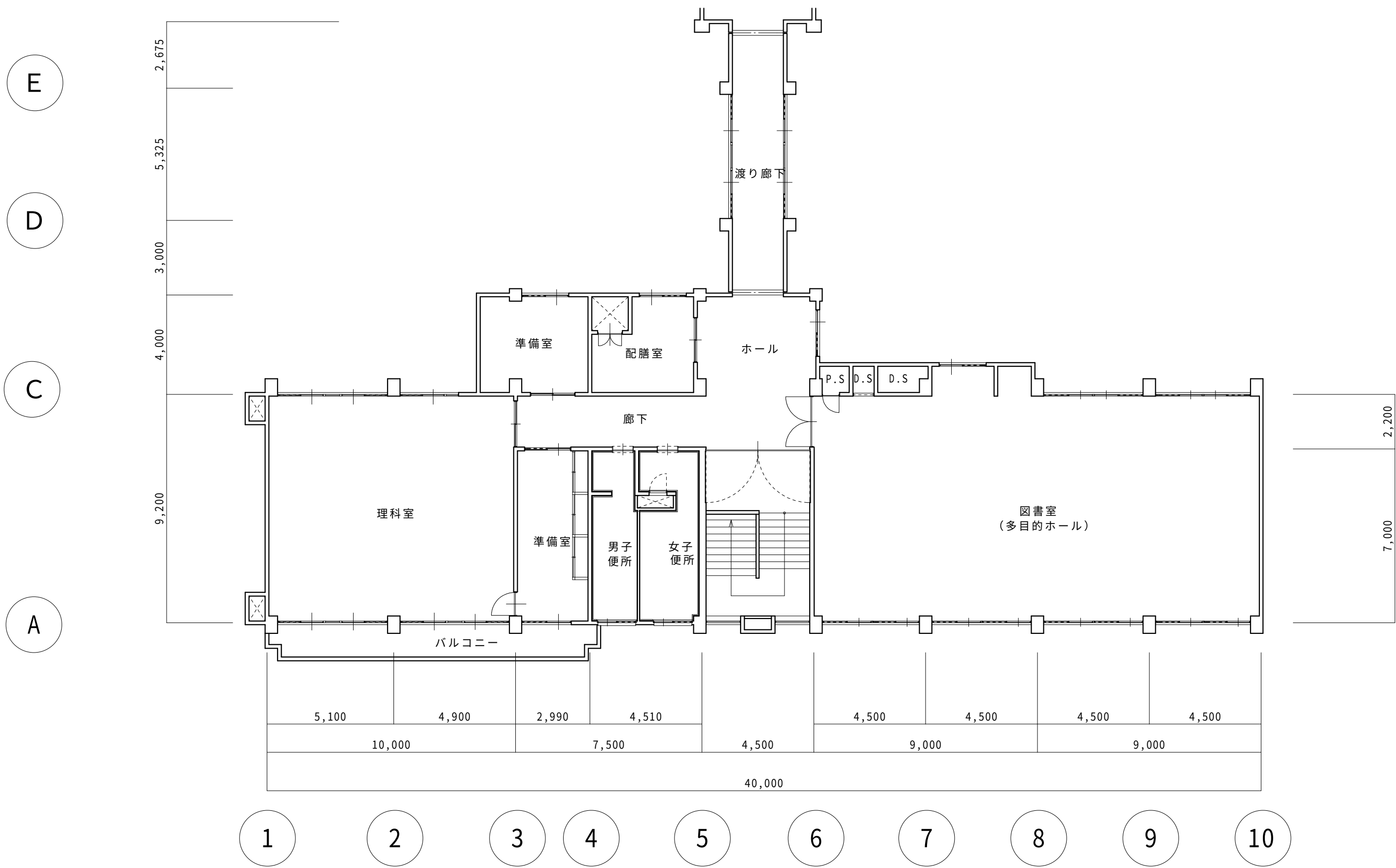
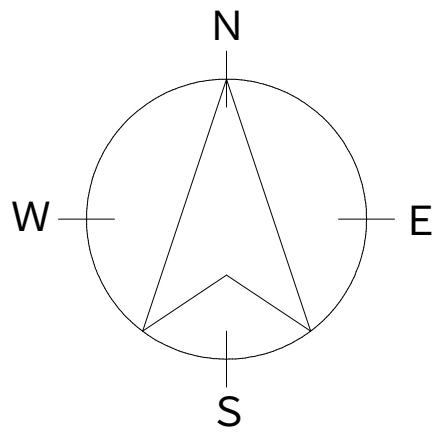
工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号

SCALE

A-28

図面名称 南棟校舎1,2階平面図

S=1:150

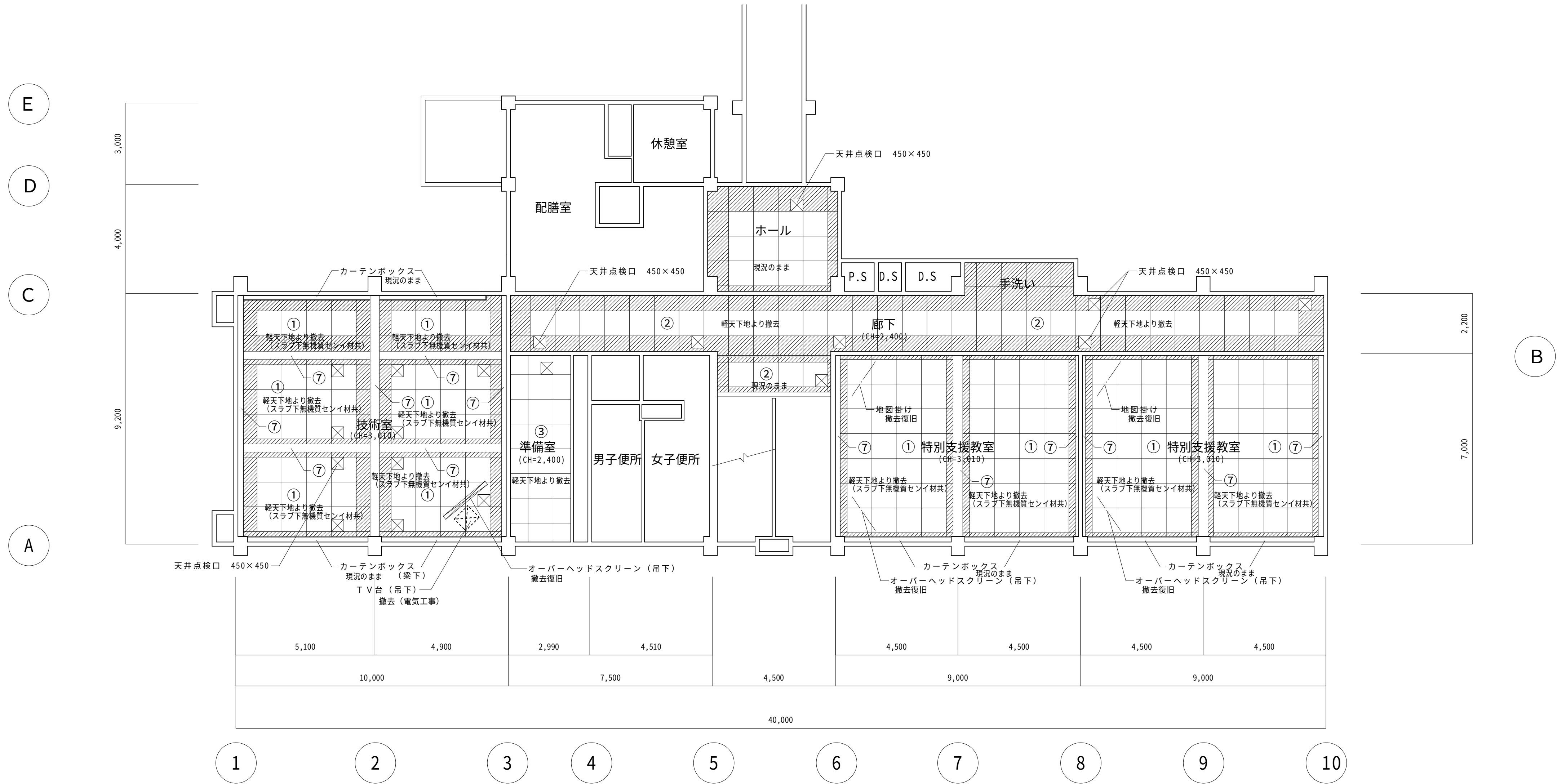


3階改修後平面図 S=1/150

特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。

	OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号	一級建築士 第114155号 義経 真治 TEL 0930-23-0412	DRAWN BY	工事名称 泉中学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO. A-29
			CHECKED BY	工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号	SCALE	
				図面名称 南棟校舎1,2階平面図	S=1:150	



改修前1階天井伏図 S=1/100

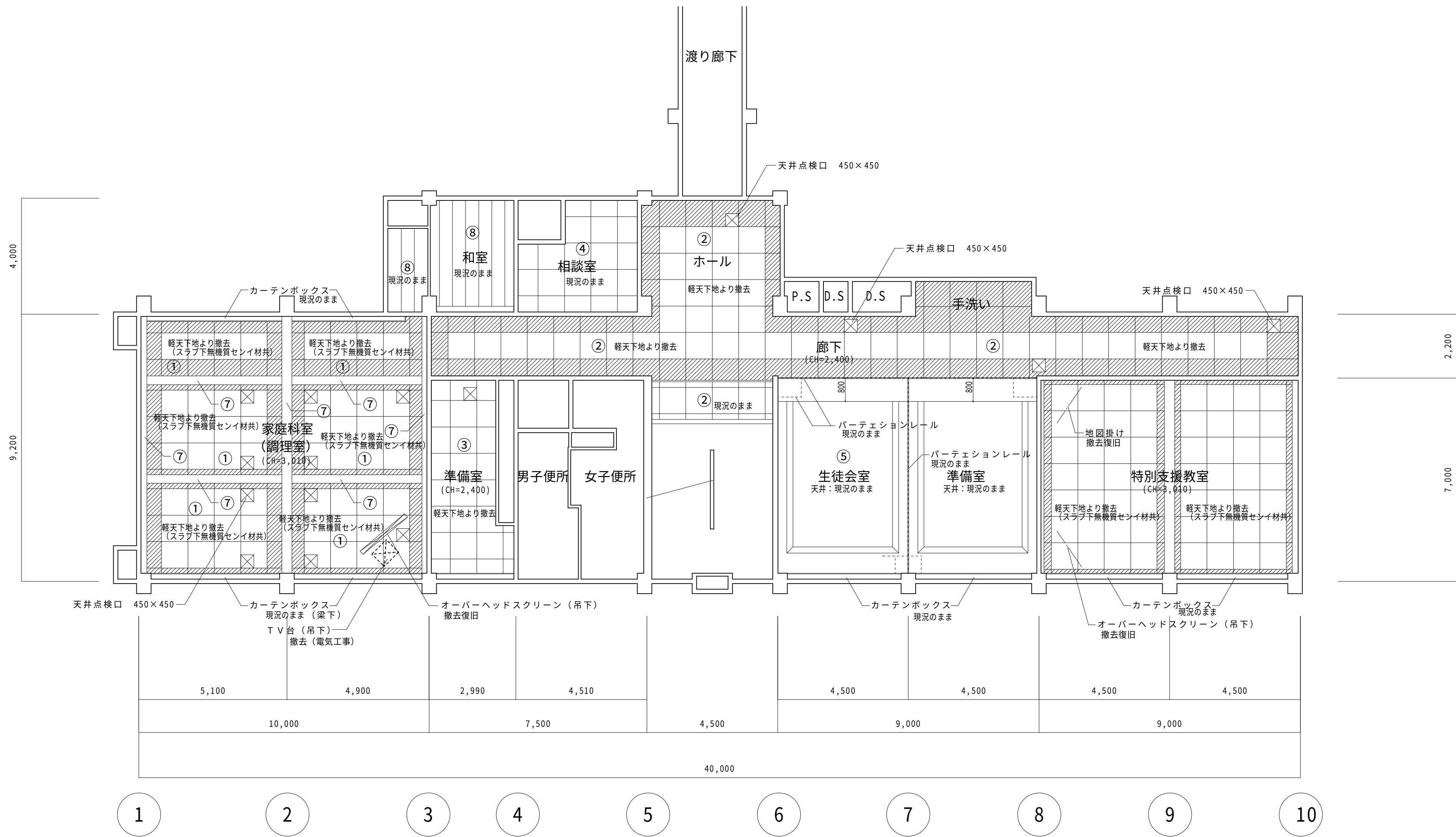
①	穿孔石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗 (スラブ下無機質セシイ材共)	⑧	杉貼桎合板 敷目
②	吸音石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗	⑨	ベニヤ合板 t = 3
③	石膏ボード t=9目透し貼 E P 塗	⑩	コンクリート打放し 吹付タイル
④	石綿セメント板t=5目透し貼 V P 塗		
⑤	平石膏ボードt=9下地 無機質セシイ成型板t=9		
⑥	コンクリート打放し アクリルリシン吹付		
⑦	プaster 塗		

E

D

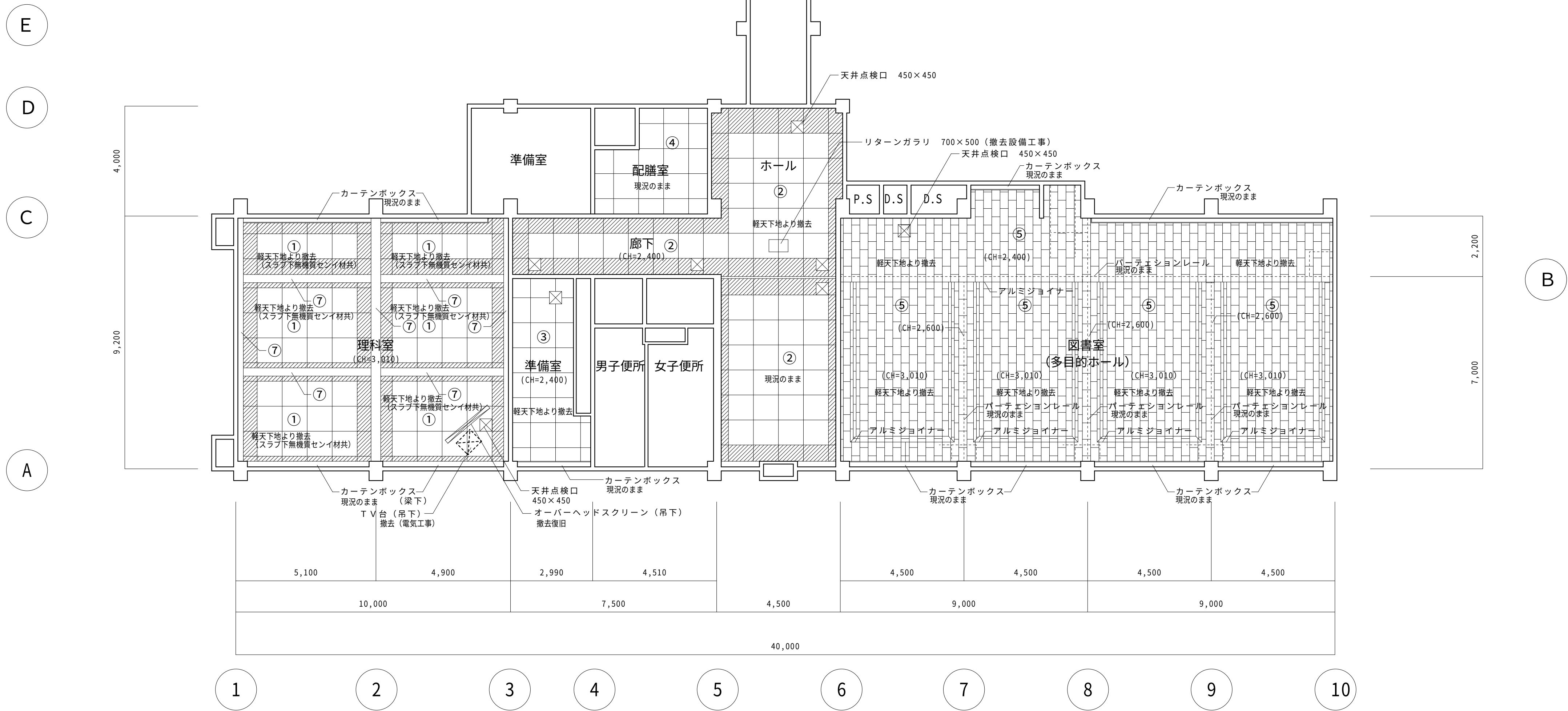
C

A



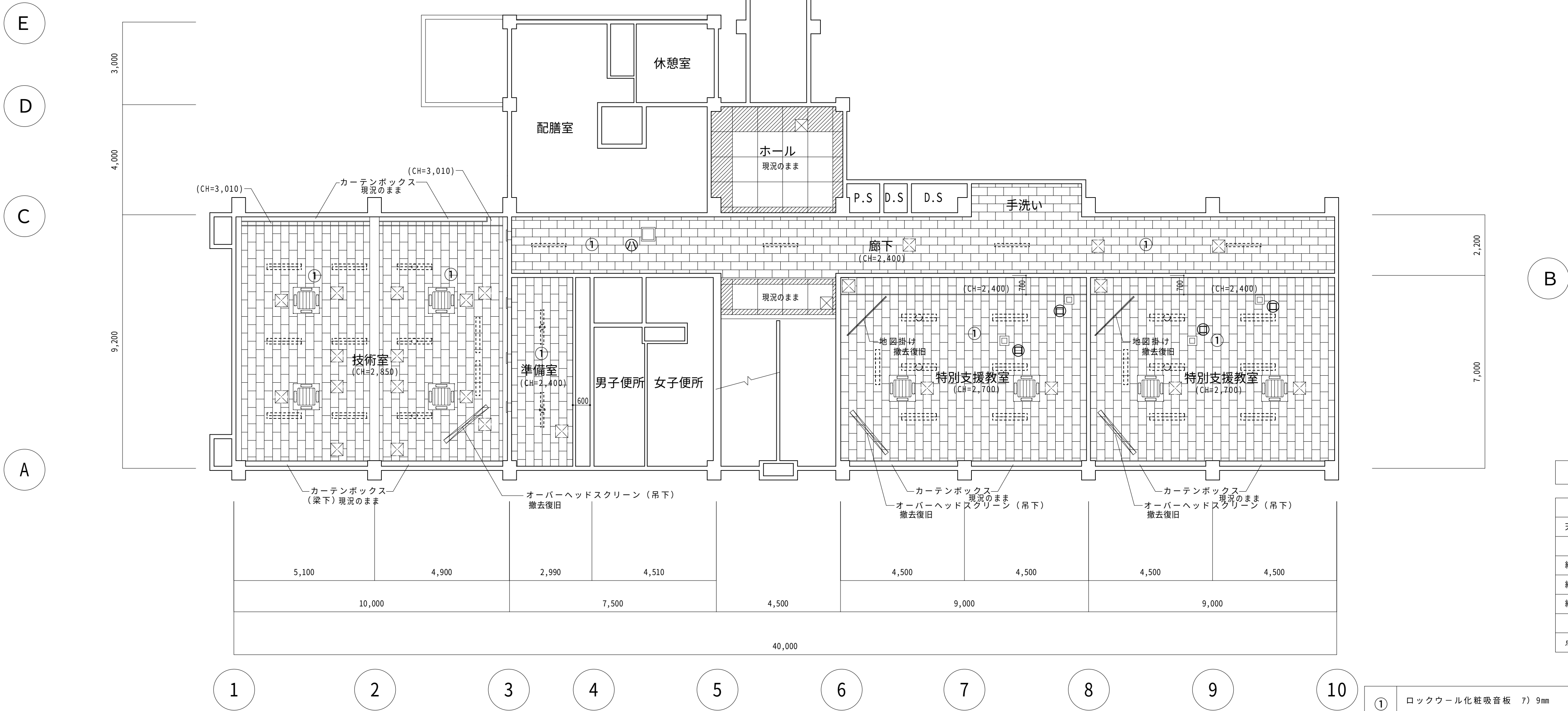
改修前2階天井伏図 S=1/100

①	穿孔石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗 (スラブ下無機質セシイ材)	⑧	杉貼桎合板 敷目
②	吸音石膏ボードt=9 ボーダー石膏ボードt=9目透し貼 E P 塗	⑨	ベニヤ合板 t = 3
③	石膏ボード t=9目透し貼 E P 塗	⑩	コンクリート打放し 吹付タイル
④	石綿セメント板t=5目透し貼 V P 塗		
⑤	平石膏ボード t=9下地 無機質セシイ成型板t=9		
⑥	コンクリート打放し アクリルリシン吹付		
⑦	プaster 塗		



改修前 3階天井伏図 S=1/100

①	穿孔石膏ボードt=9 E P 塗 (スラブ下無機質セシイ材共)	⑧	杉貼縦合板 敷目
②	吸音石膏ボードt=9 E P 塗	⑨	ベニヤ合板 t = 3
③	石膏ボード t=9目透し貼 E P 塗	⑩	コンクリート打放し 吹付タイル
④	石綿セメント板 t=5目透し貼 V P 塗		
⑤	平石膏ボード t=9下地 無機質セシイ成型板 t=9		
⑥	コンクリート打放し アクリルリシン吹付		
⑦	プaster 塗		



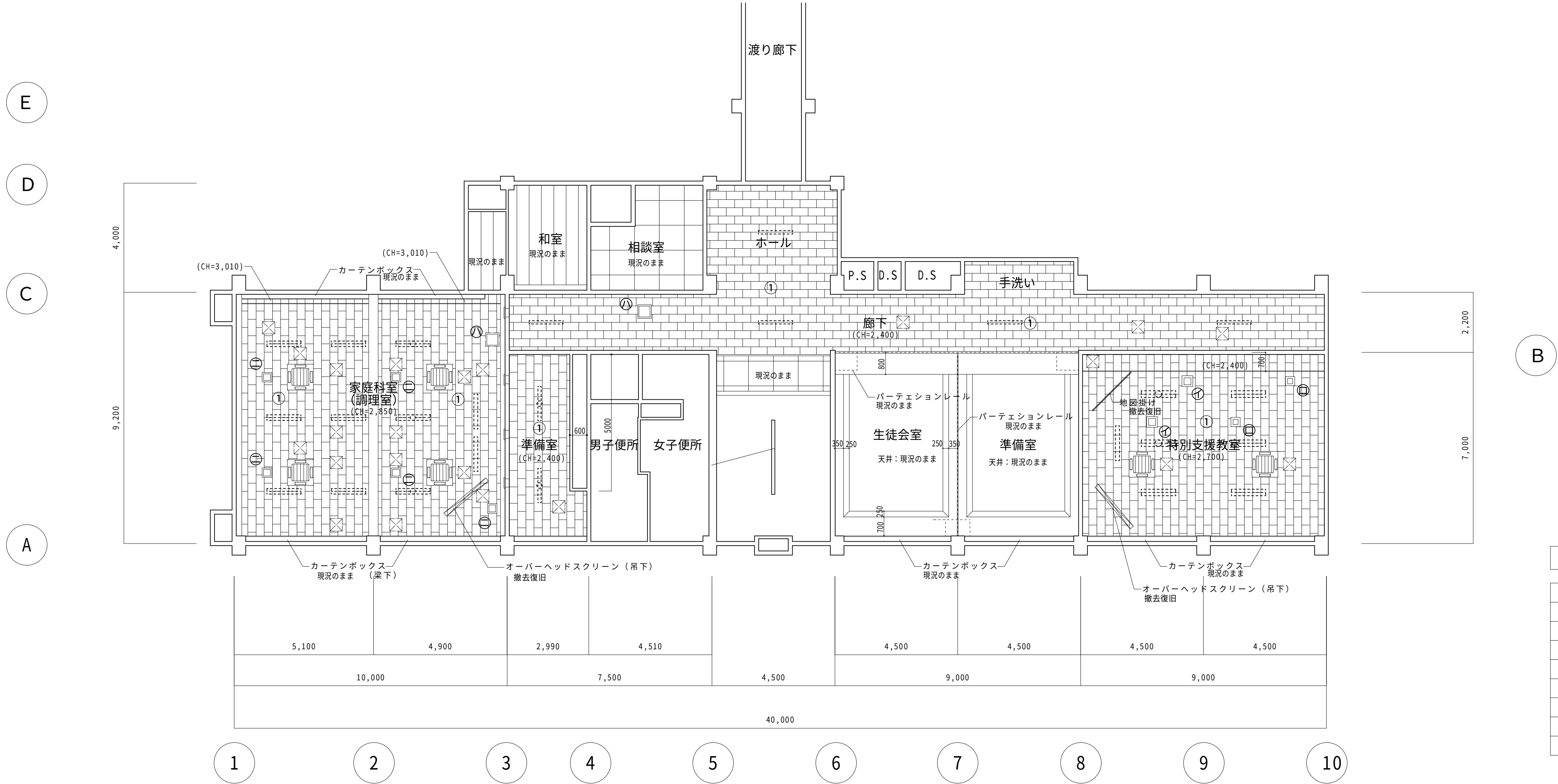
特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
- ※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
- ※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

改修後1階天井伏図 S=1/100

天井開口寸法	
名 称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910×910
給排気グリル ㊶	390×390
給排気グリル ㊷	310×310
給排気グリル ㊸	500×500
点検口	450×450

①	ロックウール化粧吸音板 ㊶ 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード ㊶ 9.5mm	
②	化粧石膏ボード ㊶ 9.5mm	
③	吸音用あなき石膏ボード ㊶ 9mm ※ 1部現況のままとする (ボーター石膏ボード ㊶ 9mm目スカシ) =撤去張替部分	EP EP
④	吸音テックス貼 ㊶ 9mm	
⑤	石綿セメント板t=5目通し貼 EPG塗	
	天井点検口 450角	
	給排気グリル	
	給気用グリル	
	カーテンボックス	
	オーバーヘッドスクリーン	
	地図掛	



特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
- ※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
- ※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

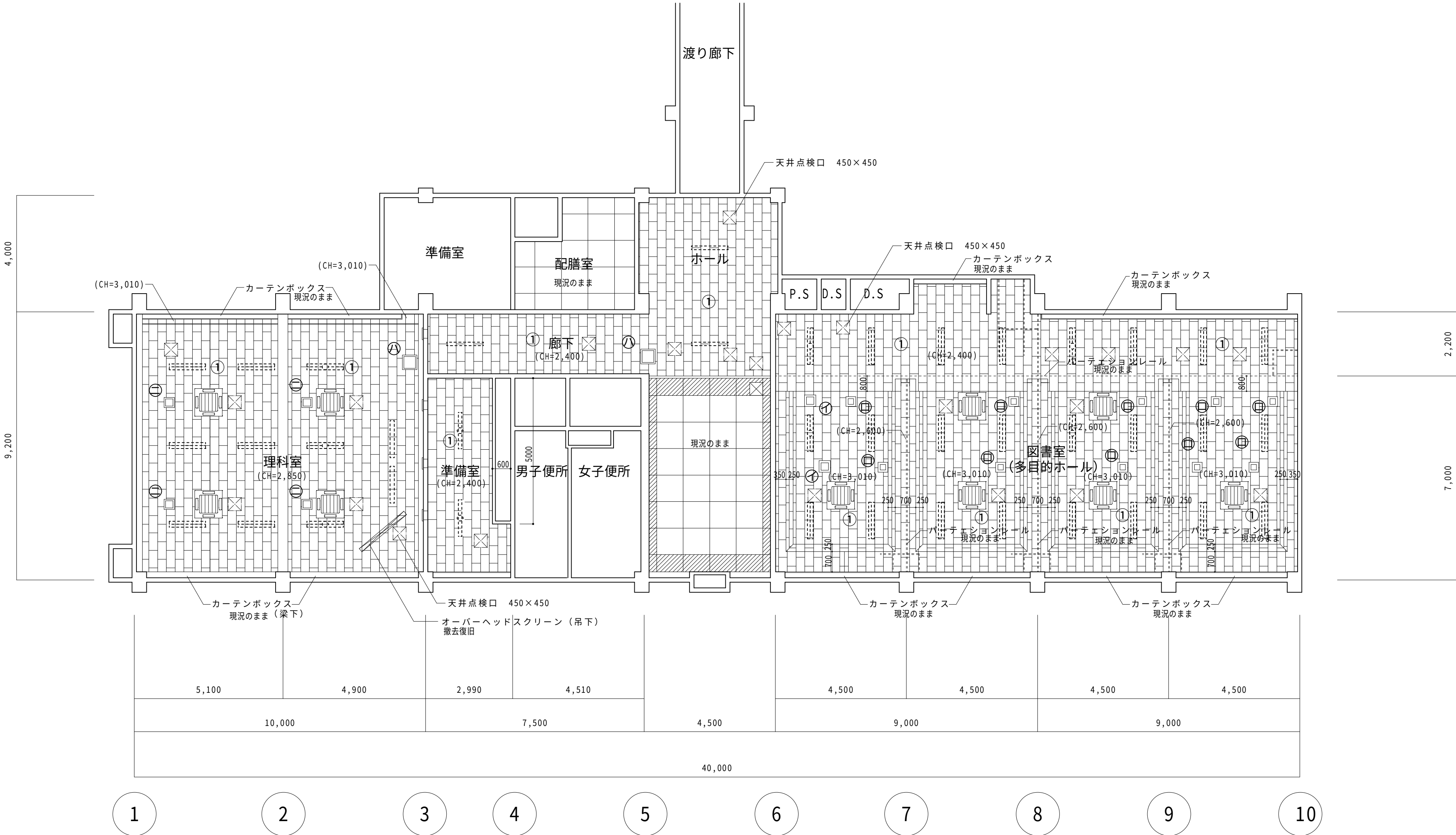
改修後2階天井伏図 S=1/100

①	ロックウール化粧吸音板 7) 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
②	化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
③	吸音用あなき石膏ボード 7) 9mm ※ 1部現況のままとする (ボーダー石膏ボード 7) 9mm目スカシ) =撤去強替部分	EP EP
④	吸音テックス貼 7) 9mm	
	天井点検口 450角	
	給排気グリル	
	給気用グリル	
	カーテンボックス	
	オーバーヘッドスクリーン	
	地図掛	

特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定する事。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
- ※改修後天井高さは、標準高さH=2,700とする、それ以外の部屋は、CH寸法の記入高さとする。
- ※廊下部分、天井高さは現況のままとする。

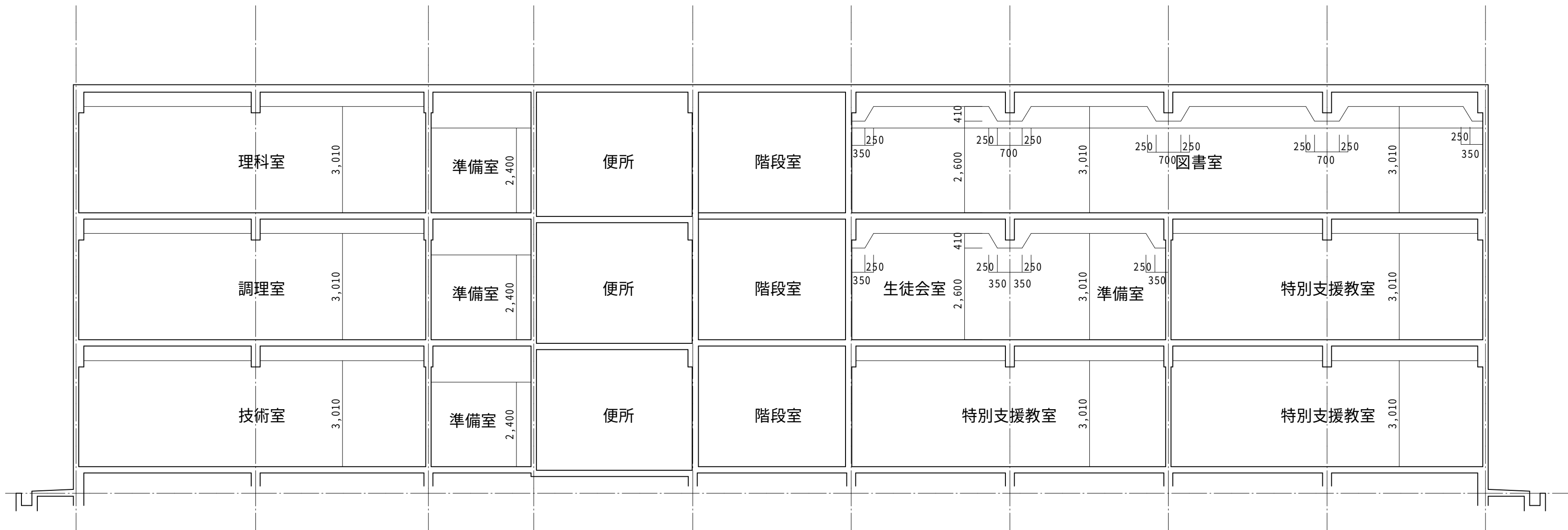
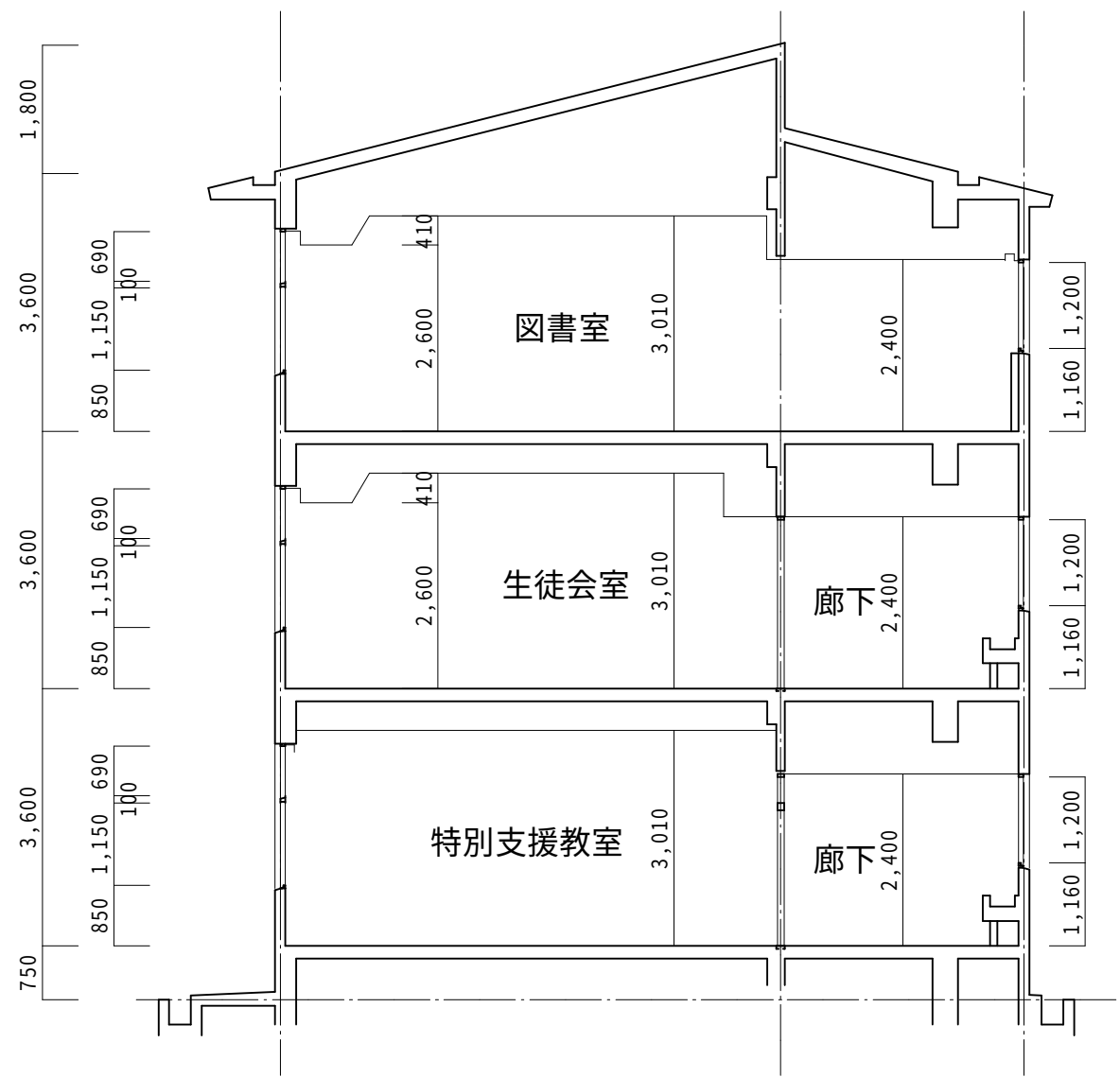
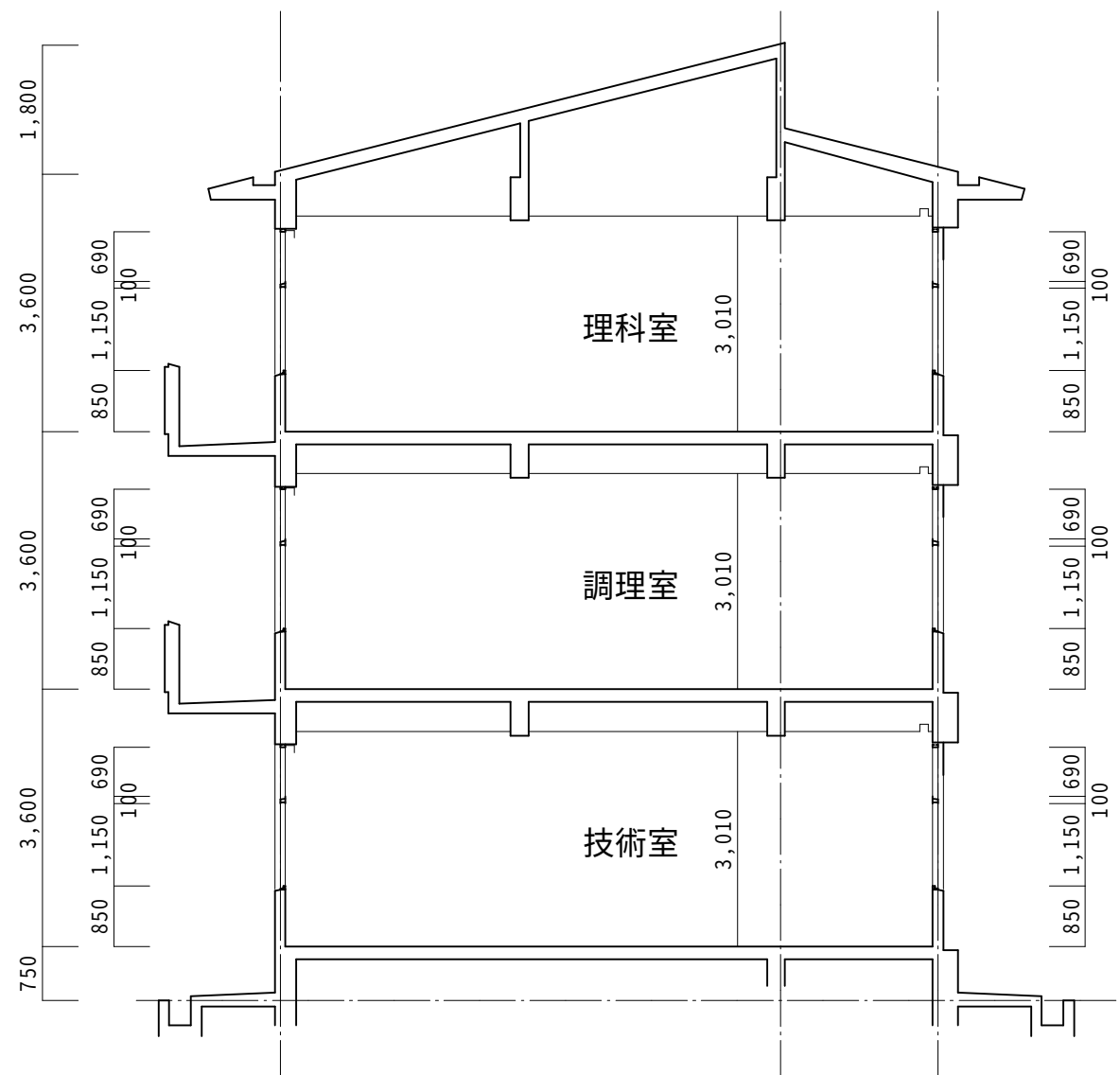
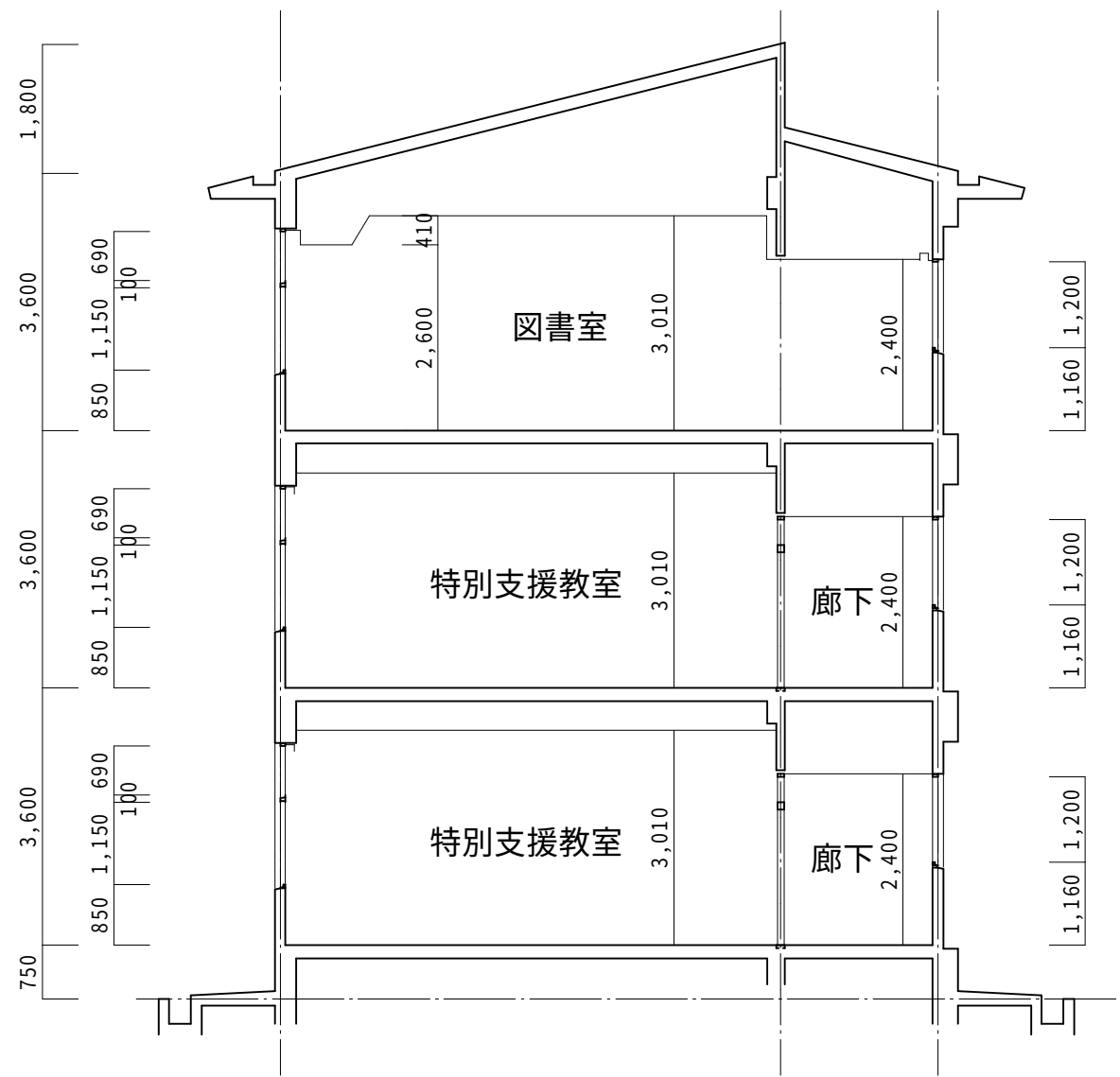
改修後3階天井伏図 S=1/100



天井開口寸法

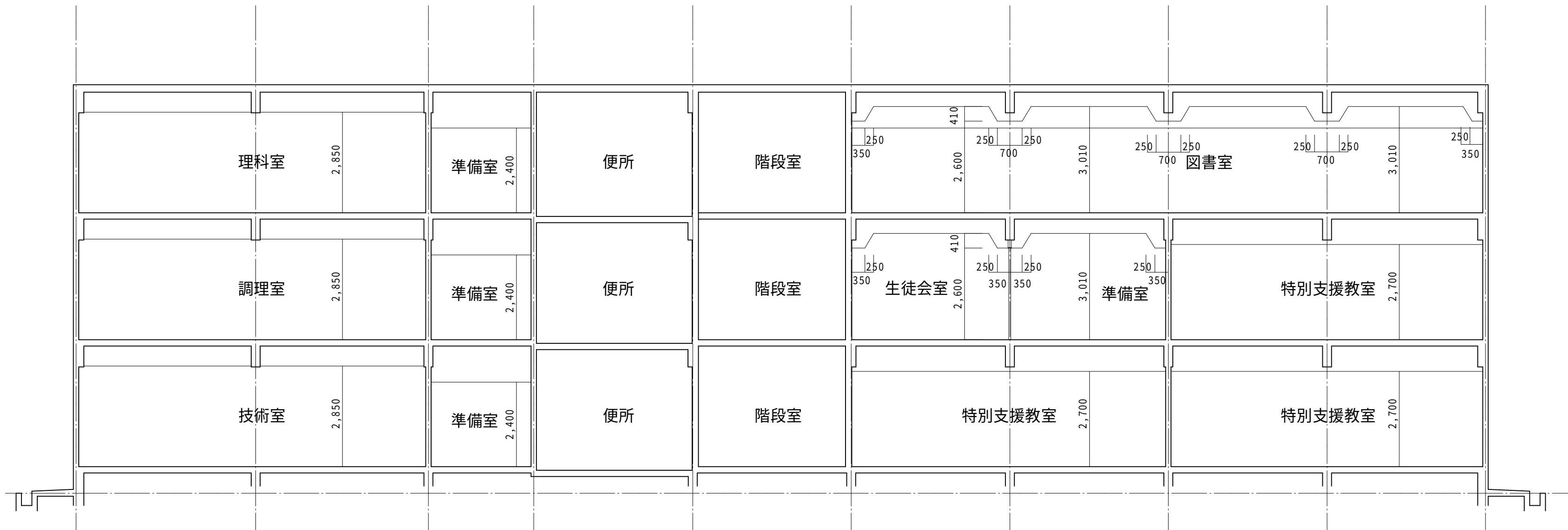
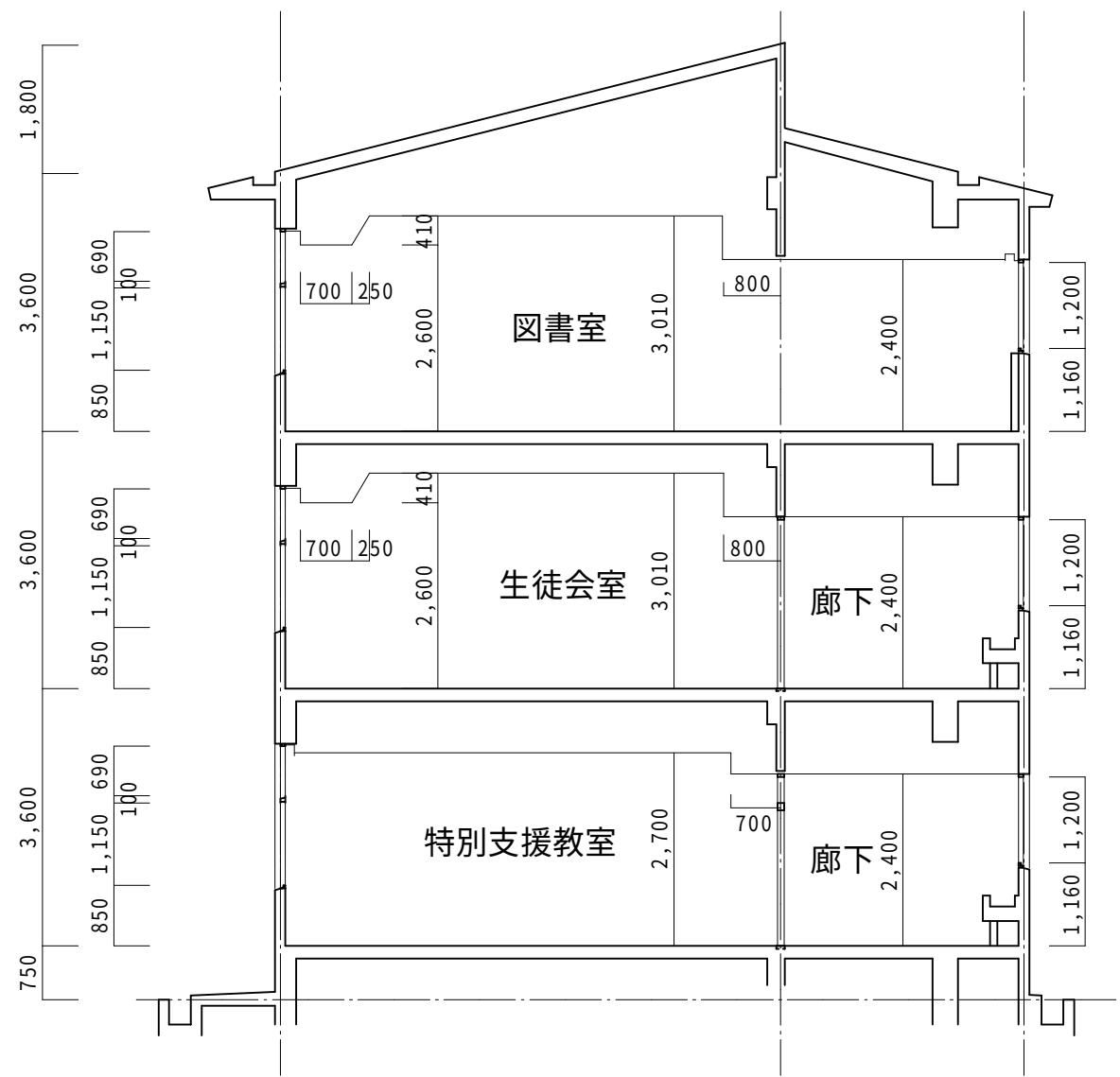
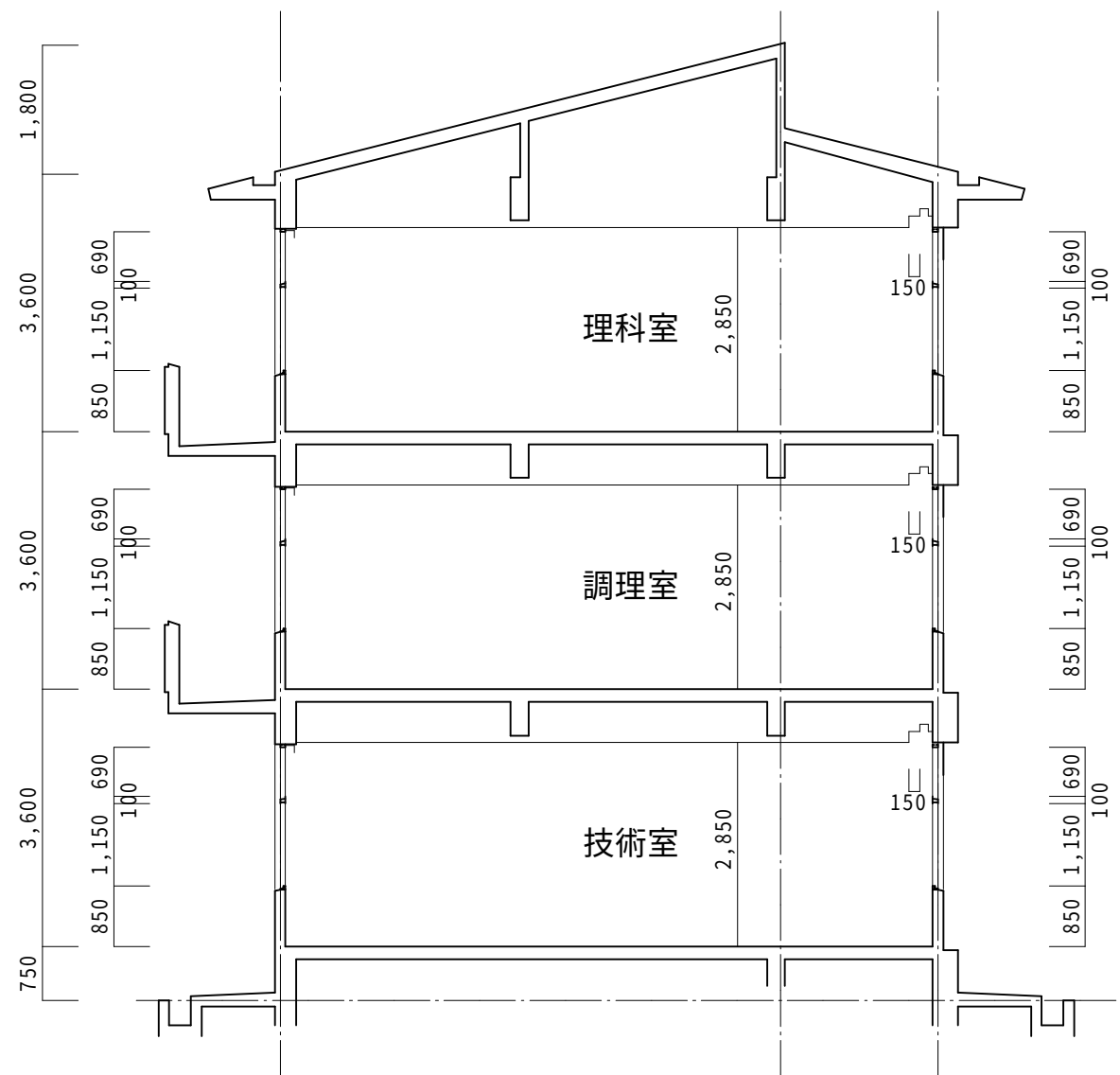
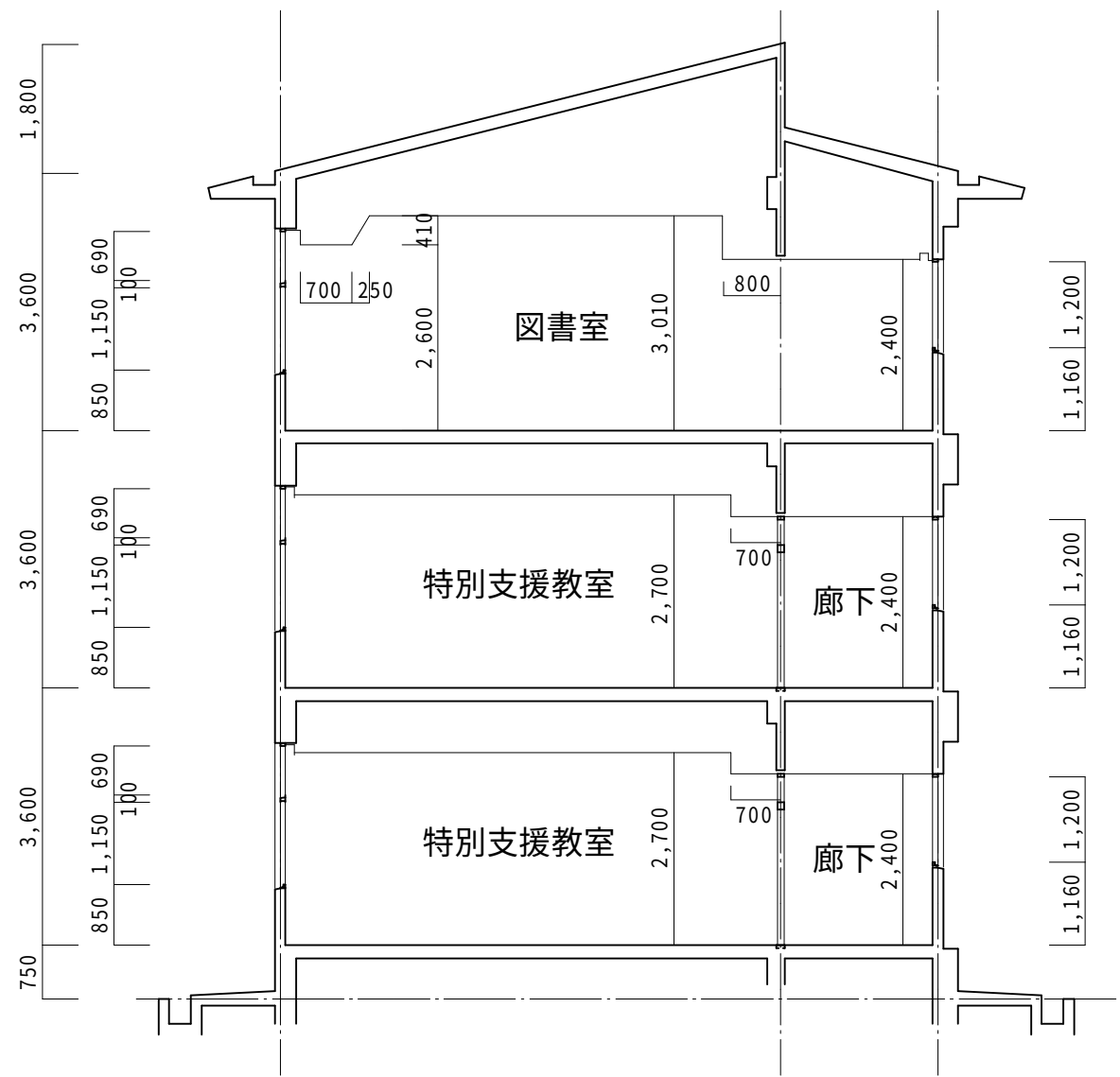
名 称	開口寸法 (mm)
天井カセット形エアコン	910×910
給排気グリル	390×390
給排気グリル	310×310
給排気グリル	500×500
給排気グリル	350×350
点検口	450×450

①	ロックウール化粧吸音板 7) 9mm 捨て貼り吸音石膏ボード 7) 9.5mm	
②	化粧石膏ボード 7) 9.5mm	
③	吸音用あなき石膏ボード 7) 9mm ※ 1部現況のままとする (ボーダー石膏ボード 7) 9mm目スキャン) =撤去張替部分	EP EP
④	吸音テックス貼 7) 9mm	
	天井点検口 450角	
	給排気グリル	
	給気用グリル	
	カーテンボックス	
	オーバーヘッドスクリーン	
	地図掛	



改修前断面図 S=1/100

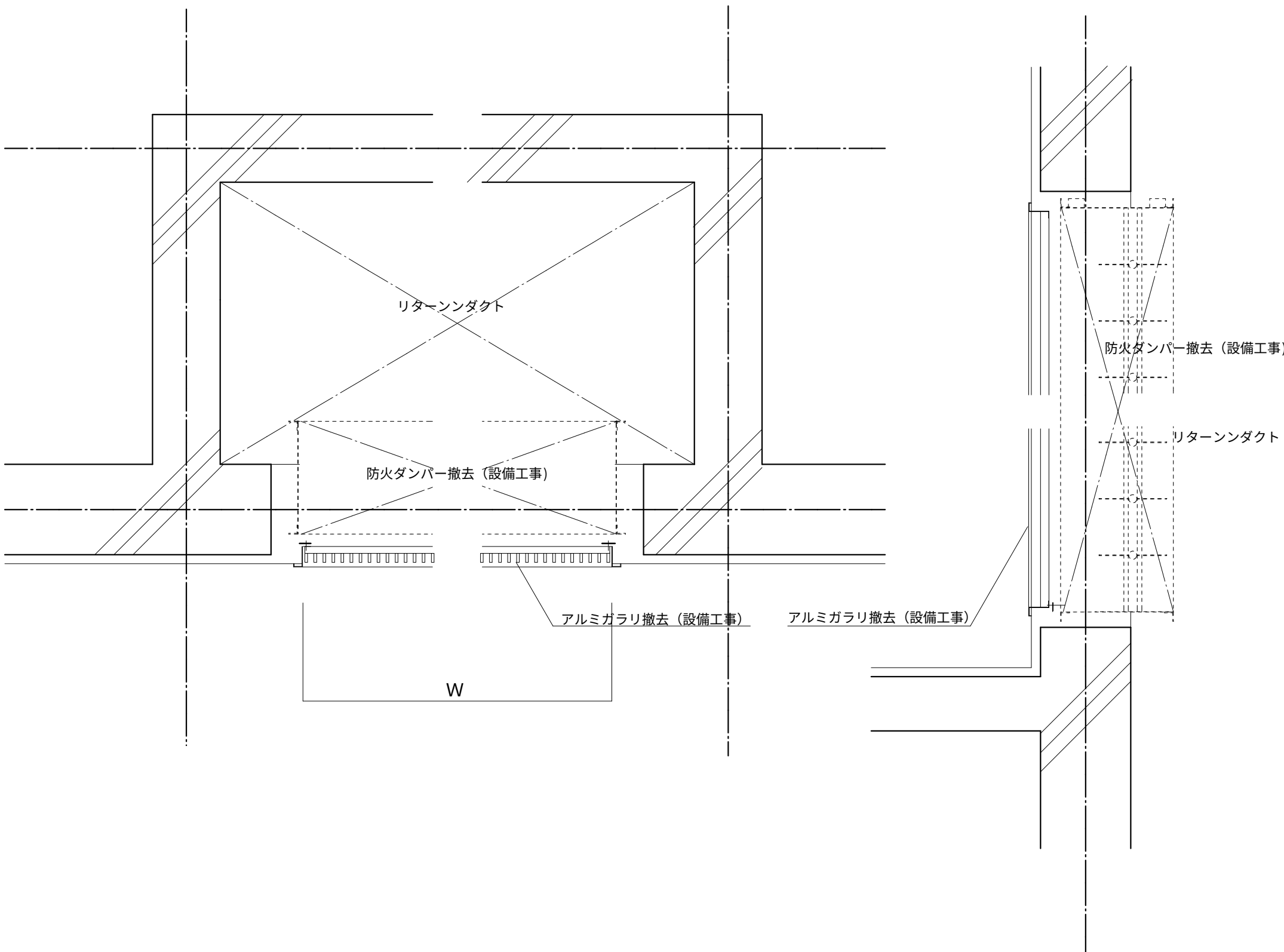
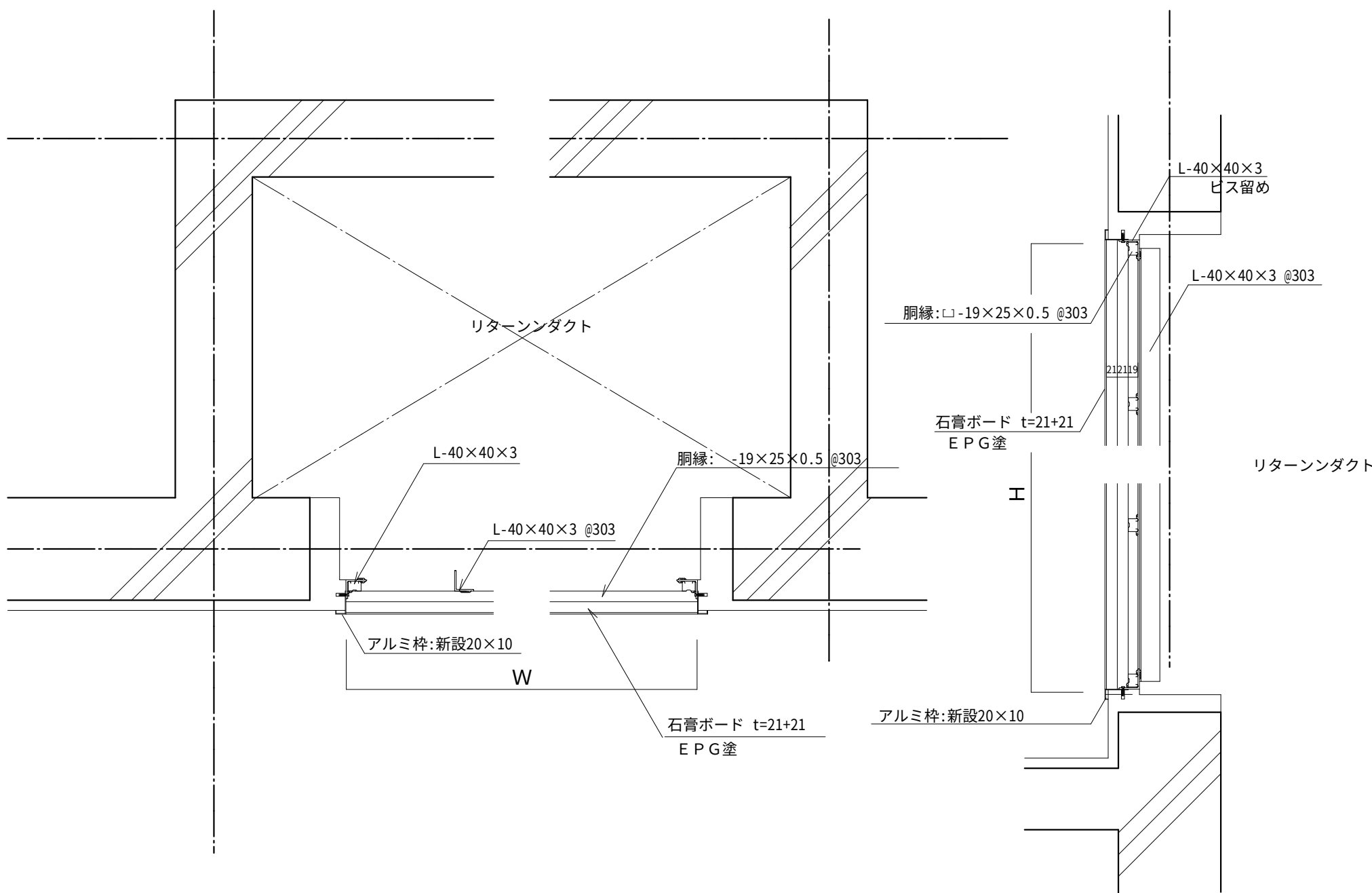
OKANO ARCHITECTS OFFICE				DRAWN BY	工事名称	DATE	DRAWING NO. A-36
一級建築士事務所					泉中学校空調整備工事		
有限会社 岡野設計事務所				CHECKED BY	工事場所	SCALE	
福岡県行橋市北泉五丁目12番6号					福岡県行橋市西泉5丁目7番1号	S=1:100	
一級建築士 第114155号					図面名称		
義経 真治					南棟校舎改修前断面図		
TEL 0930-23-0412							

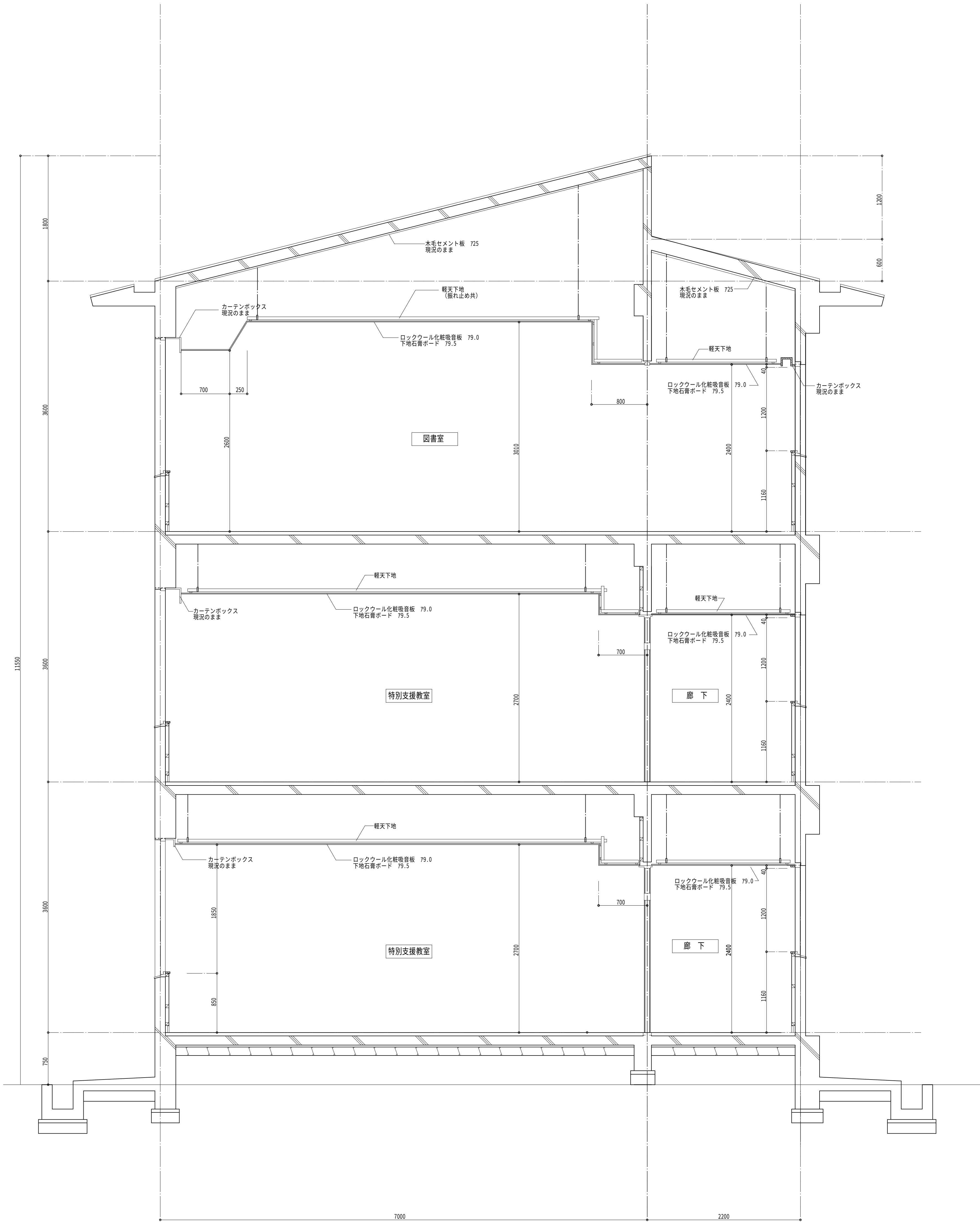


改修後断面図 S=1/100

OKANO ARCHITECTS OFFICE				DRAWN BY	工事名称	DATE	DRAWING NO. A-37
一級建築士事務所					泉中学校空調整備工事		
有限会社 岡野設計事務所				CHECKED BY	工事場所	SCALE	
福岡県行橋市北泉五丁目12番6号					福岡県行橋市西泉5丁目7番1号	S=1:100	
					図面名称		
					南棟校舎改修後断面図		

1階特別活動室カーテンBox廻り詳細図 改造前 1：10			図書室 カーテンBox廻り詳細図 改造前 1：10			教室等下り壁詳細図 改造前 1：10		
カーテンBox廻り詳細図 改造後 1：10			図書室 カーテンBox廻り詳細図 改造後 1：10			教室棟下り壁詳細図 改造後 1：10		

リターン用アルミガラリ		改造前		1 : 10											
															
リターン用アルミガラリ		改造後		1 : 10											
															
						OKANO ARCHITECTS OFFICE		DRAWN BY		工事名称 泉中学校空調整備工事		DATE		DRAWING NO.	
						一級建築士事務所				福岡県行橋市西泉5丁目7番1号				A-39	
						有限会社 岡野設計事務所		CHECKED BY		図面名称 南棟校舎部分断面詳細図-2		SCALE			
						福岡県行橋市北泉五丁目12番6号						S=1:10			
						TEL 0930-23-0412									



改修後矩計図 S=1/30

OKANO ARCHITECTS OFFICE
有限 一級建築士事務所
会社 岡野設計事務所
福岡県行橋市北東五丁目12番6号
TEL 0930-23-0412

一級建築士 第114155号
梶 貴治
TEL 0930-23-0412

DRAWN BY
CHECKED BY

工事名称 県中学校空調設備工事
工事場所 福岡県行橋市西東5丁目7番1号
図面名称 南校舎改修後矩計図

DATE
SCALE
S=1/30

DRAWING NO.
A-40

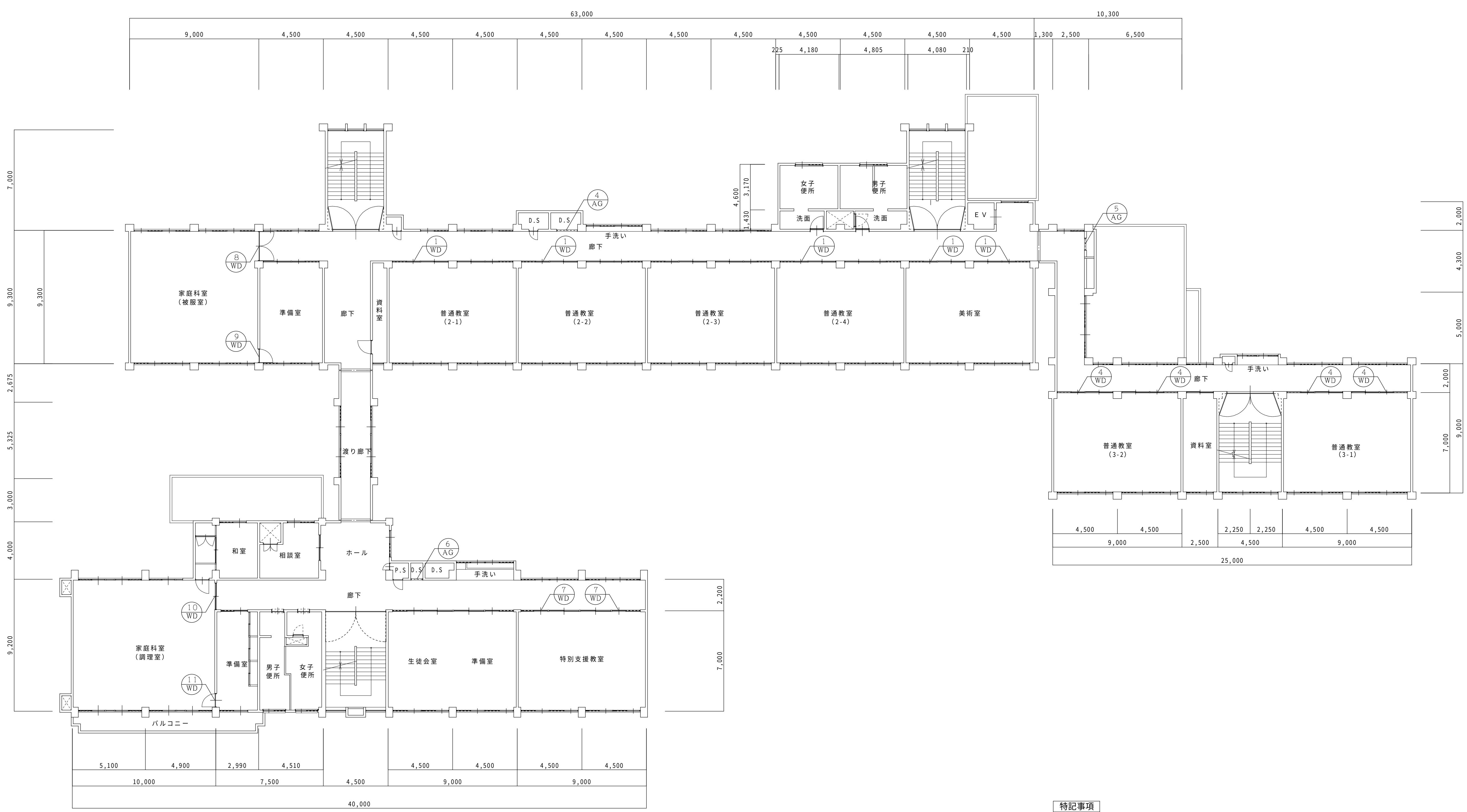


1階平面図 S=1/150

特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。
- ※職員室は、工事中も極力使用できる様配慮する事。

				OKANO ARCHITECTS OFFICE		DRAWN BY :	工事名称	泉中学校空調整備工事	DATE	DRAWING NO.
				一級建築士事務所			工事場所	福岡県行橋市西泉5丁目7番1号		A-41
				有限会社 岡野設計事務所		CHECKED BY :	図面名称	1階建具配置図	SCALE	
				福岡県行橋市北泉五丁目12番6号					S=1:150	
				一級建築士 第114155号						
				義経 真治						
				TEL 0930-23-0412						



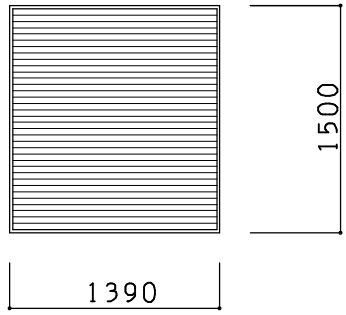
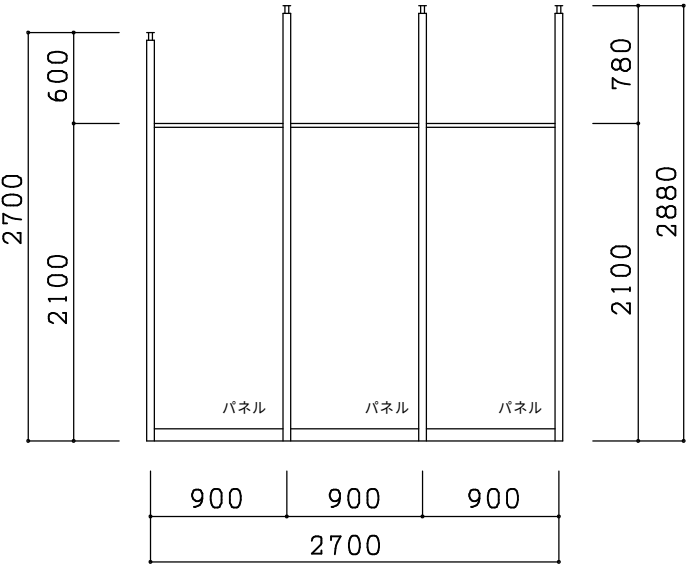
2階平面図 S=1/150

特記事項

- ※廊下部分工事は学校の授業の無い日に工事する事。
- ※工事期間中、生徒、職員の安全に務め、廊下等非難経路を確保する事。
- ※仮設物、仮囲い等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
- ※廊下部分、天井及び壁等撤去後は、危険防止処置をし、安全を十分確保する事。

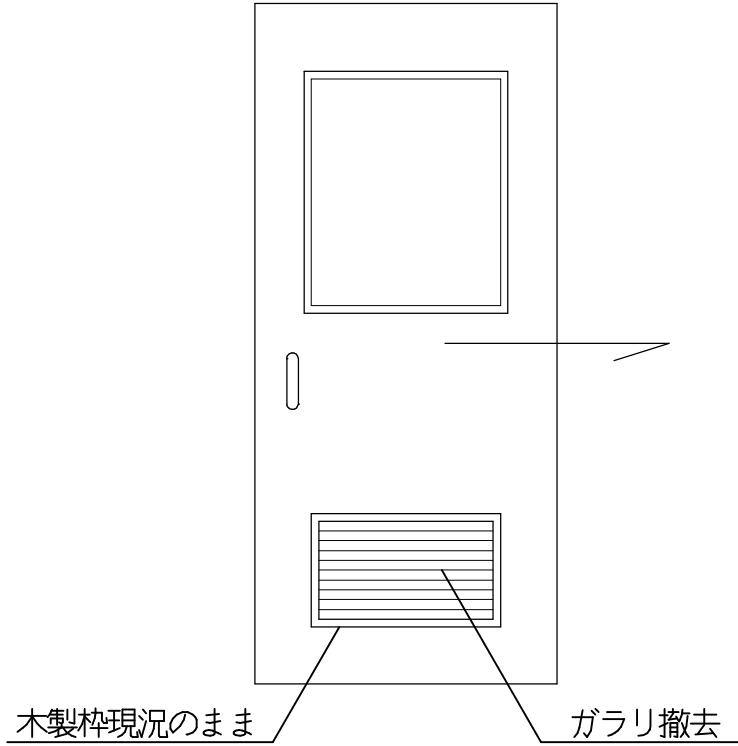
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号				一級建築士 第114155号 義経 真治 TEL 0930-23-0412		DRAWN BY : CHECKED BY :	工事名称 泉中学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号 図面名称 2階建具配置図	DATE SCALE S=1:150	DRAWING NO. A-42
---	--	--	--	---	--	----------------------------	---	-----------------------	------------------

記 号	1WD	2WD	3WD	4WD	5WD	6WD
姿 図						
種別・場所	木製片引きフラッシュドア管理棟	木製フラッシュ戸管理棟	木製フラッシュ戸管理棟	木製片違いフラッシュドア東棟	木製片違いフラッシュドア南棟	木製フラッシュ戸南棟
箇所・個数	7ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	9ヶ所	2ヶ所	2ヶ所
材料・見込						
硝 子						
金 物						
備 考	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照
記 号	7WD	8WD	9WD	10WD	11WD	12WD
姿 図						
種別・場所	木製片引きフラッシュドア南棟	木製両開きフラッシュ戸管理棟	木製フラッシュ戸管理棟	木製引違いフラッシュドア南棟	木製フラッシュ戸南棟	木製フラッシュ戸管理棟
箇所・個数	6ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
材料・見込						
硝 子						
金 物						
備 考	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 化粧合板二重貼t=4mm ※別紙図面参照
記 号	1AG	2AG	3AG	4AG	5AG	6AG
姿 図						
種別・場所	リターンガラリ管理棟	リターンガラリ東棟	リターンガラリ南棟	リターンガラリ管理棟	リターンガラリ東棟	リターンガラリ南棟
箇所・個数	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所
材料・見込						
硝 子						
金 物	金物一式	金物一式	金物一式	金物一式	金物一式	金物一式
備 考	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照	既設ガラリ撤去 石膏ボード二重貼t=21mm EPG塗 ※別紙図面参照
(共通事項) アルミパネルの穴あけの径及び位置は、機械設備の施工図を確認の事。				OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号		DRAWN BY 工 事 名 称 泉中学校空調整備工事 CHECKED BY 工 事 場 所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号 図 面 名 称 建具表 (1)
				一級建築士 第114155号 義 経 真 治 TEL 0930-23-0412		DATE SCALE S=1:50
						DRAWING NO. A-44

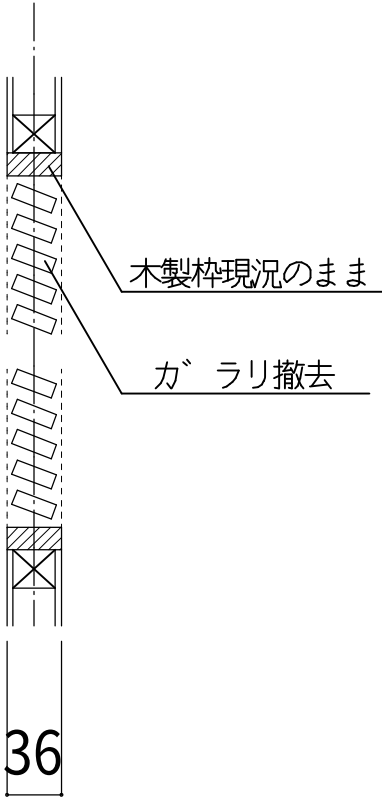
記 号	7 AG	1 SP				
姿 図						
種別・場所	リターンガラリ	管理棟	アルミ製パーティション	東棟		
箇所・個数	1ヶ所	1ヶ所				
材料・見込		アルミ支柱：50角・アルミ枠・アルミ巾木 ・ペーパーコア（表面材：亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装品）				
硝 子						
金 物	金物一式	上部アジャスター・付属金物一式				
備 考	既設ガラリ撤去 石膏ボード 二重貼t=21mm EPG塗	天井補強共 既存撤去新設（既存H=3010）				
	※別紙図面参照	新設するパーティションの仕様等はメーカー仕様による				

木製建具詳細図	改修前	木製建具詳細図	改修後
---------	-----	---------	-----

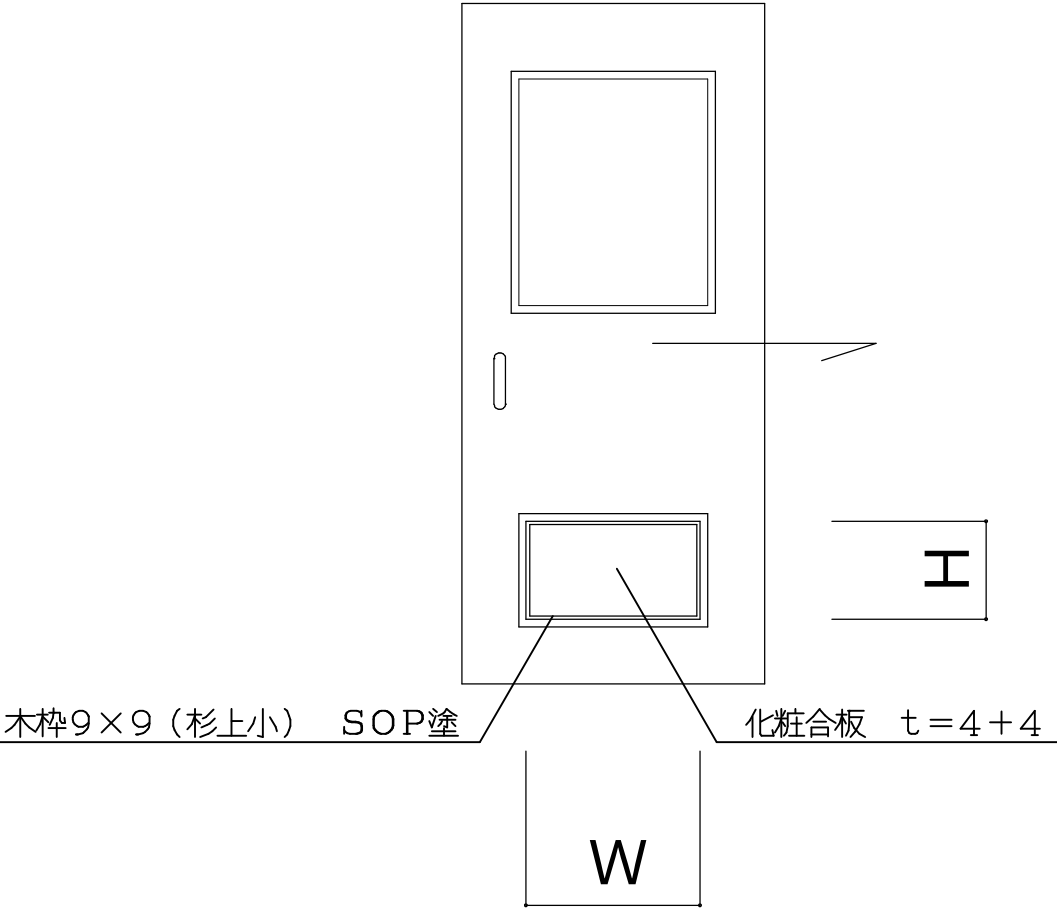
姿図 1／20



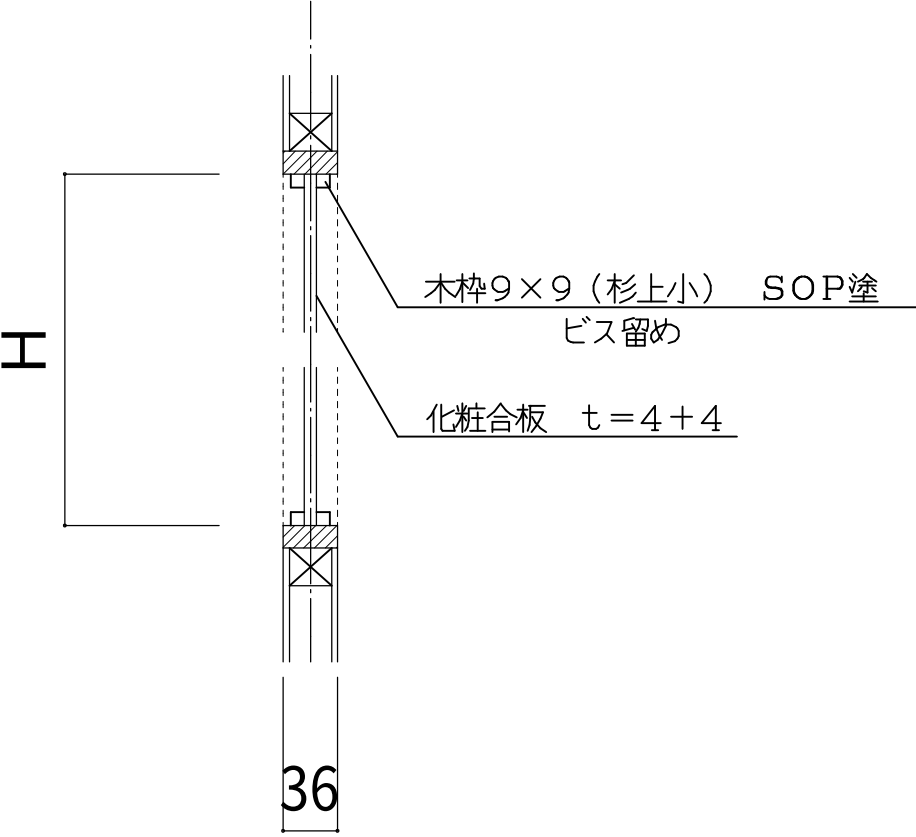
断面図 1／5

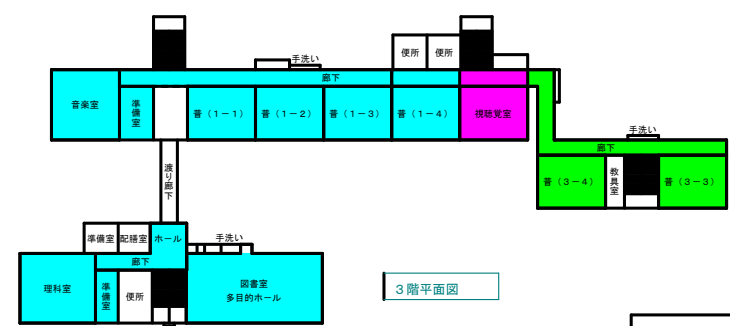
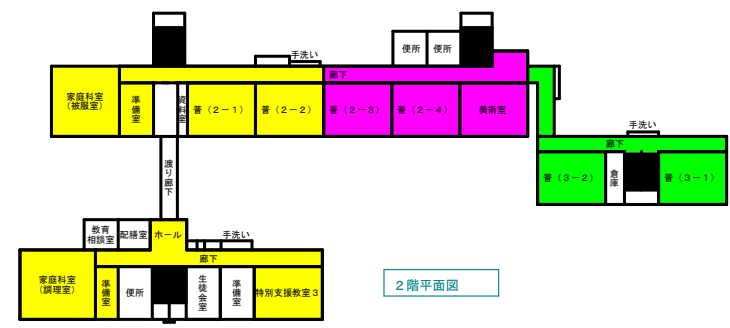
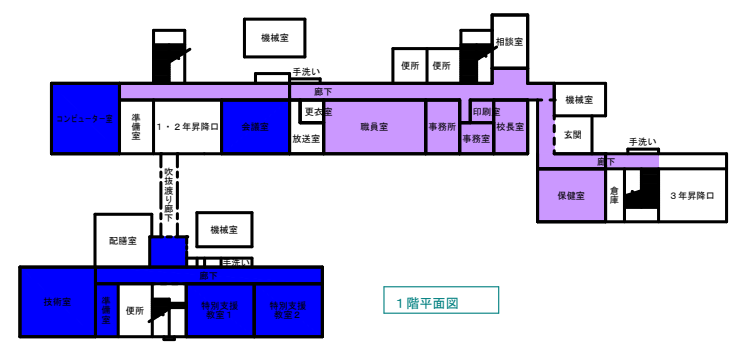
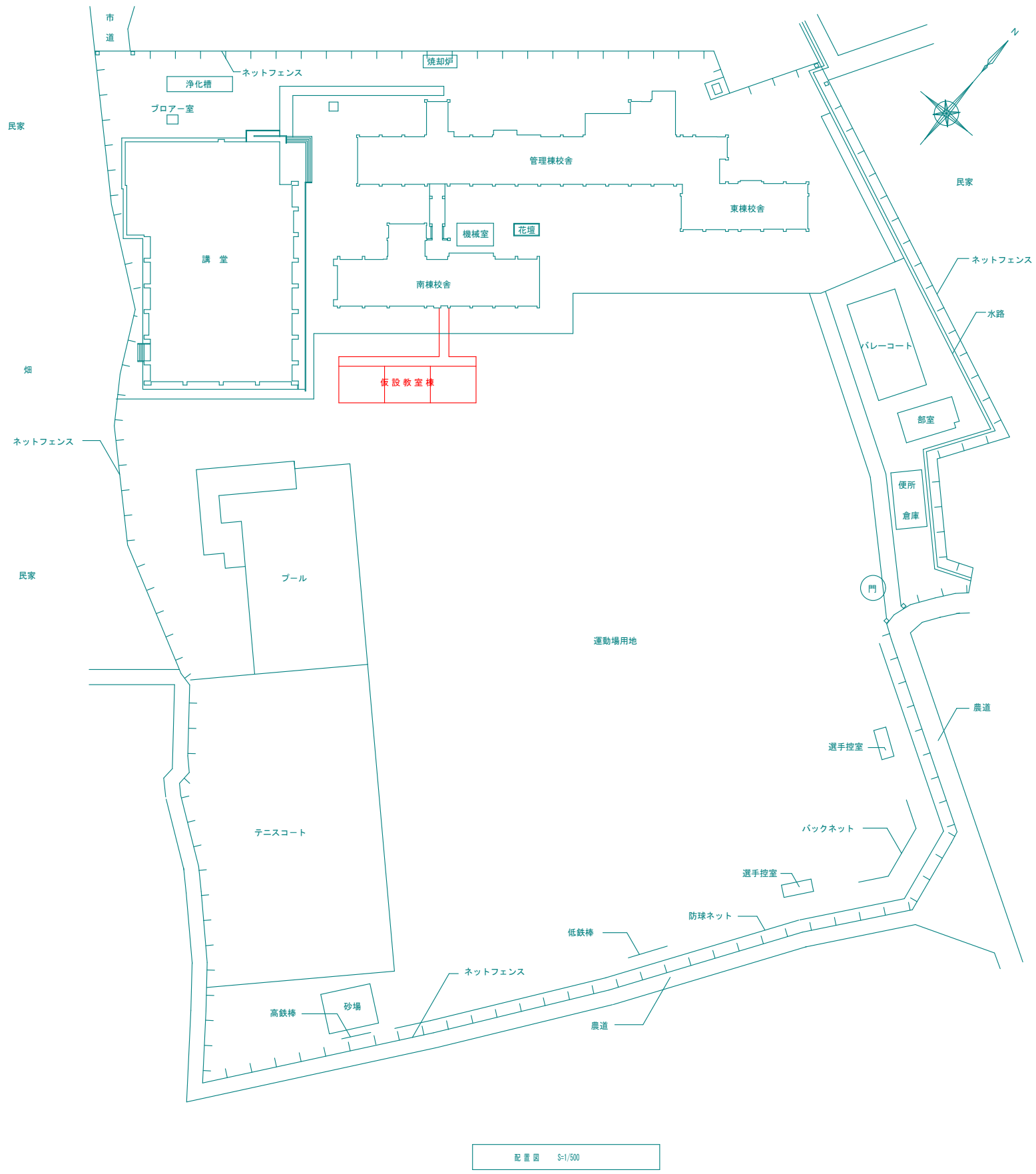


姿図 1／20



断面図 1／5





準備期間		仮設校舎建設
H30.8	～ H30.10	
H30.9	～ H30.12	
H30.11	～ H31.2	
H31.1	～ H31.2	
H31.3	～ H31.4	
(H31.3.10～H31.4未)		
H31.5	～ H31.6	
H31.7	～ H31.8	
(夏休み期間)		
H31.9	～ H31.10	
H31.11	～ H31.12	
仮設校舎解体		
書類整理期間		

○ 外 部 仕 上 表

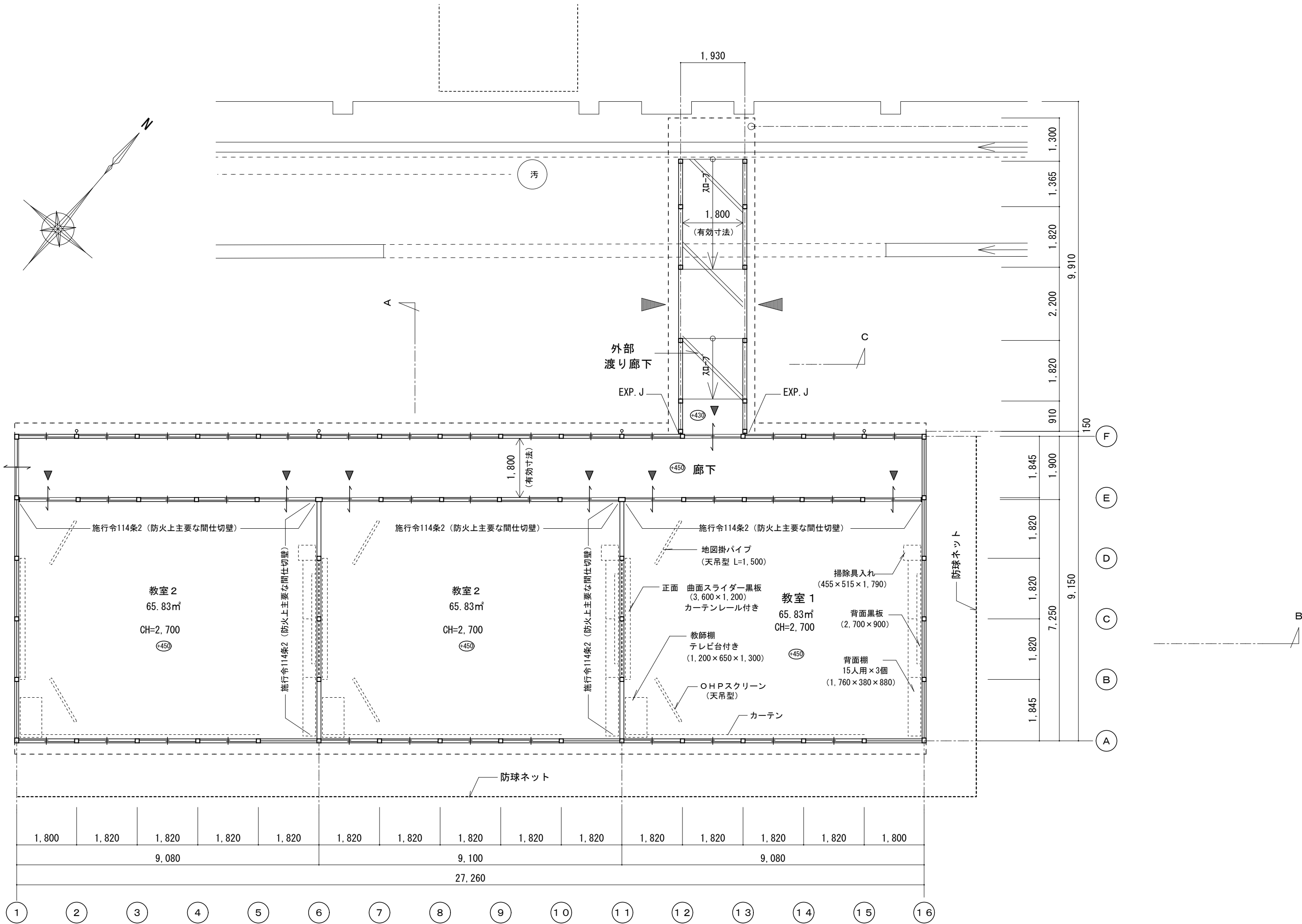
項 目	仕 上	仕 様
屋 根	折版 D-88 ㊦0.6 カラー鋼版 (NM-8 6 9 7)	裏面ポリエチレンフォーム ㊦4 貼り 軒裏 : 折版表し
水 切 り	水切り カラー鉄板	
外 壁	カラー鉄板 ㊦0.35 (SPパネル)	断熱材 ポリウレタンフォーム ㊦40
外 部 巾 木	コンクリート (床下換気孔設置)	
開 口 部	引違いアルミサッシ (組立てハウス用アルミサッシ)	強化ガラス t=4 網戸付き
塗 装	鉄部見掛け SOP	
樋	軒樋 塩ビ角 巾120 壁樋 塩ビパイプ 75φ	
庇	折版 D-88 ㊦0.6	
そ の 他	防球ネット	

○ 渡 り 廊 下 部 分 仕 上 表

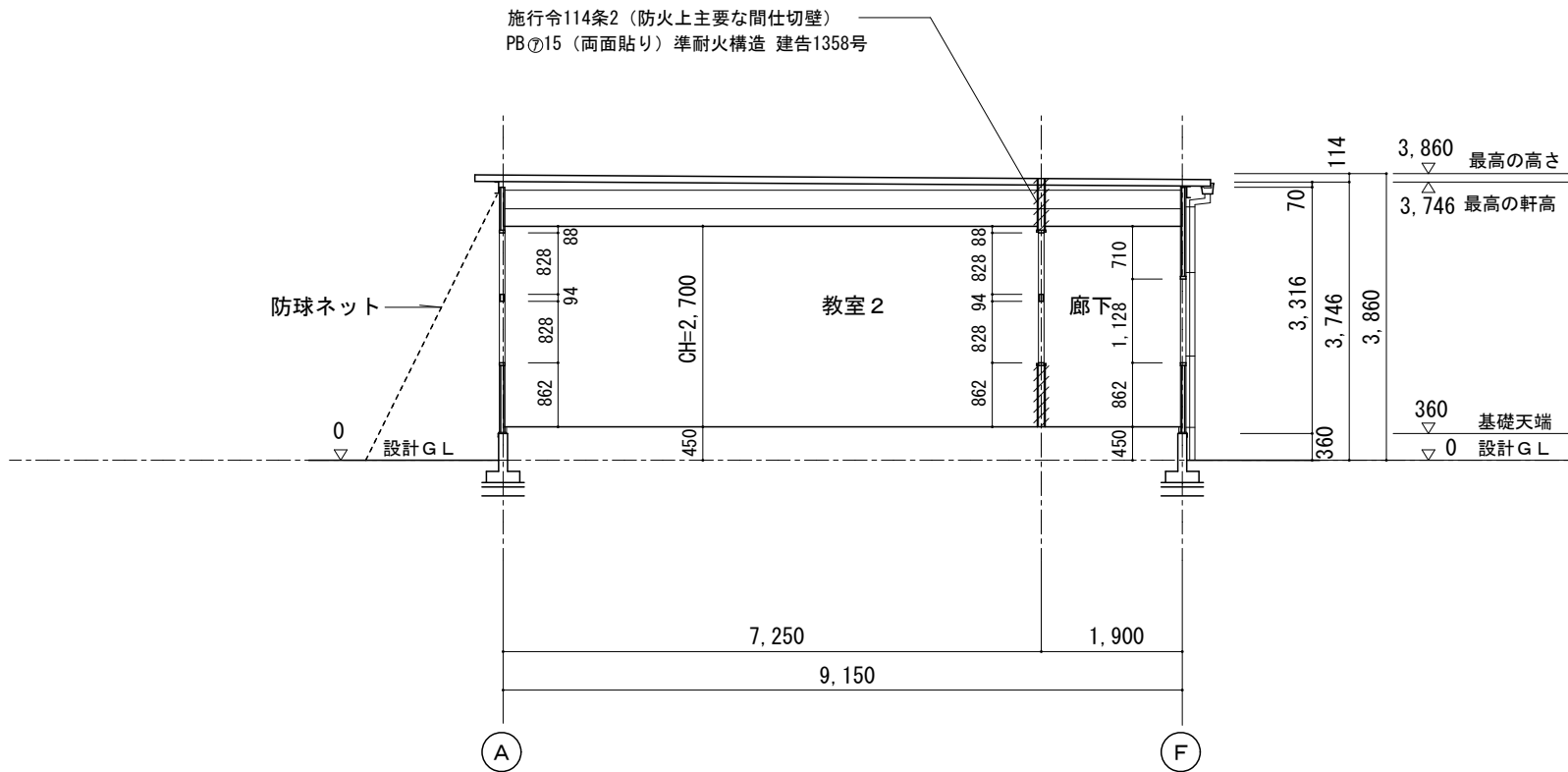
項 目	仕 上	仕 様
屋 根	折版 D-88 ㊦0.5 軒樋 塩ビ角 巾120 壁樋 塩ビパイプ 75φ	
壁	カラー鉄板 ㊦0.35 (SPパネル)	断熱材 ポリウレタンフォーム ㊦40
外 部 巾 木	コンクリート	
塗 装	鉄部見掛け SOP	
床	土間コンクリート ㊦100 直押え ワイヤーマッシュ 6φ 150角 砕石 ㊦100	

○ 室 内 仕 上 表

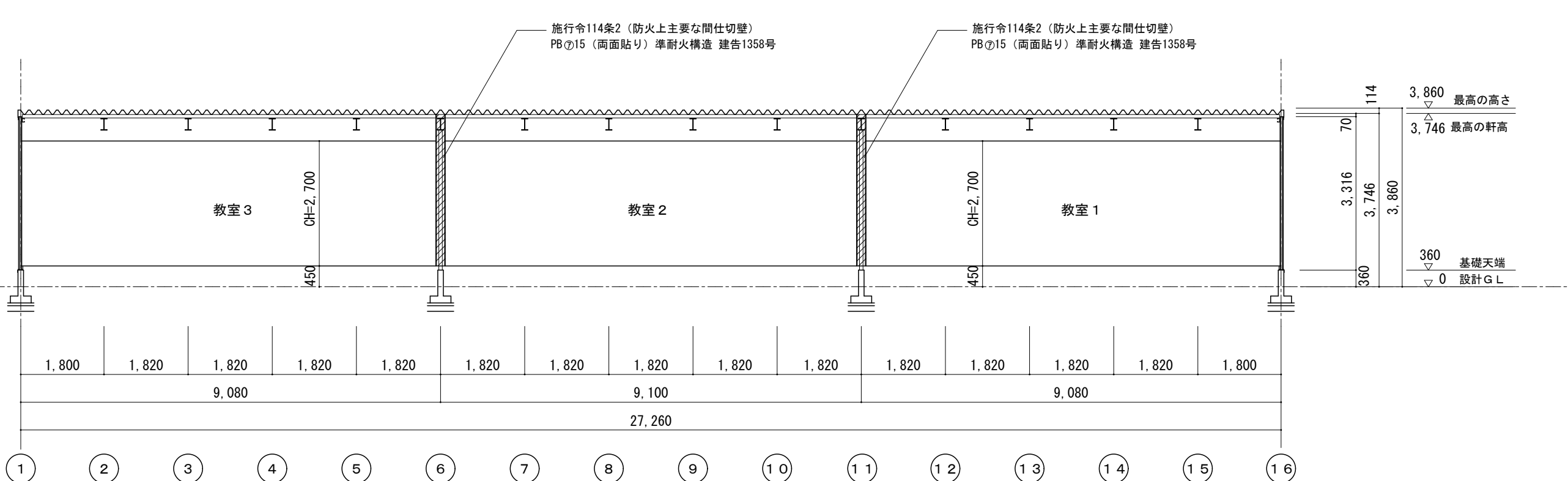
階	室 名	床 高	天井高	床	巾 木	壁 (外部に面する部分)	間仕切壁 防火上主要な間仕切壁	天 井
1	教 室	GL+450	2,700	複層ビニル床シート ㊦2 貼り 木製床パネルの上ラワン合板 ㊦5.5 下地	木製巾木	カラー鉄板 ㊦0.35 (SPパネル)	PB ㊦15 (両面貼り) NM-8619 準耐火構造 建告1358号	化粧石膏ボード ㊦9.5 (軽鉄下地) 断熱材: グラスウール ㊦100.16 kg/m3
	廊 下	GL+450	2,700	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上



平面図 S=1/100

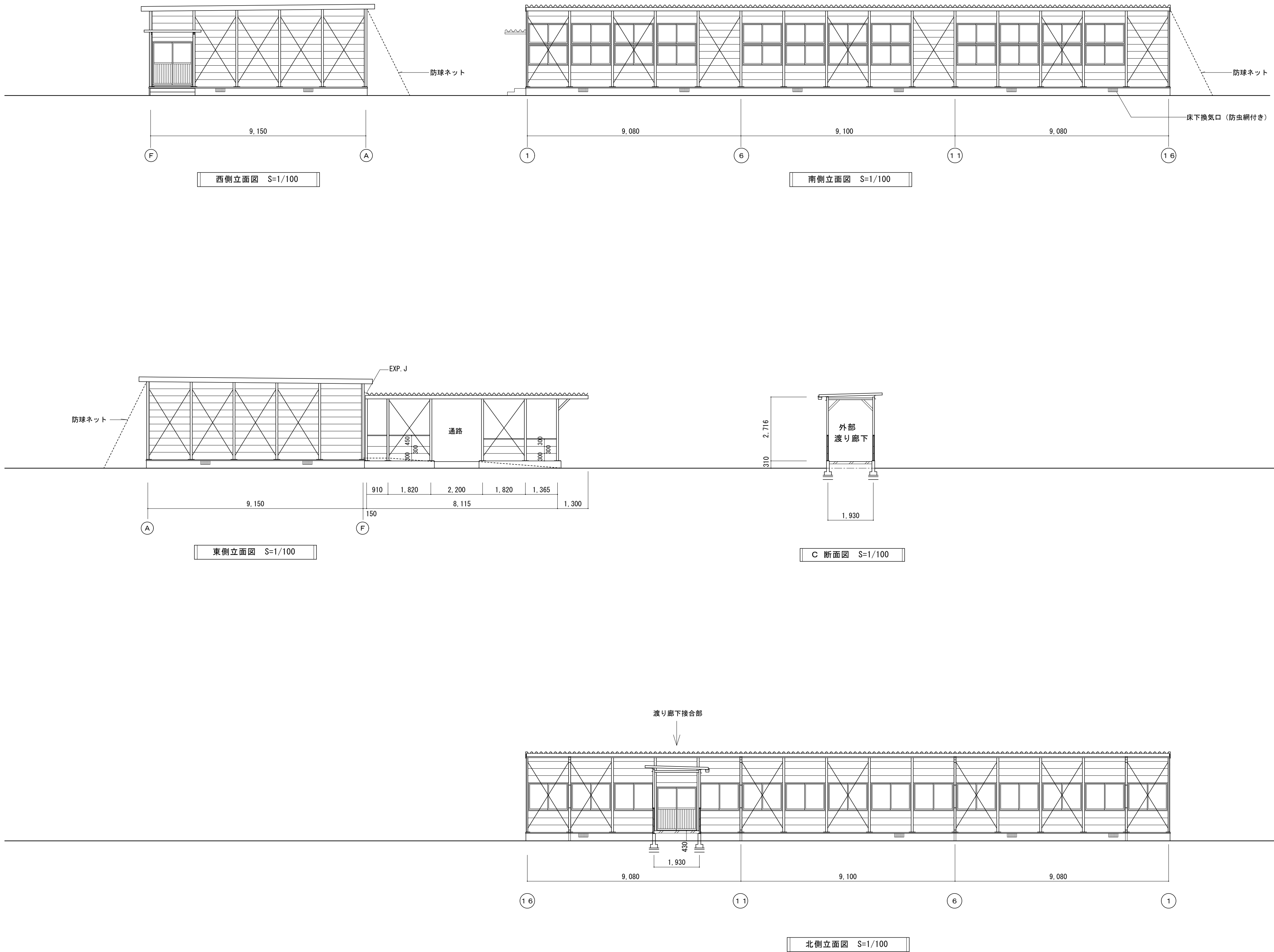


A 断面図 S=1/100

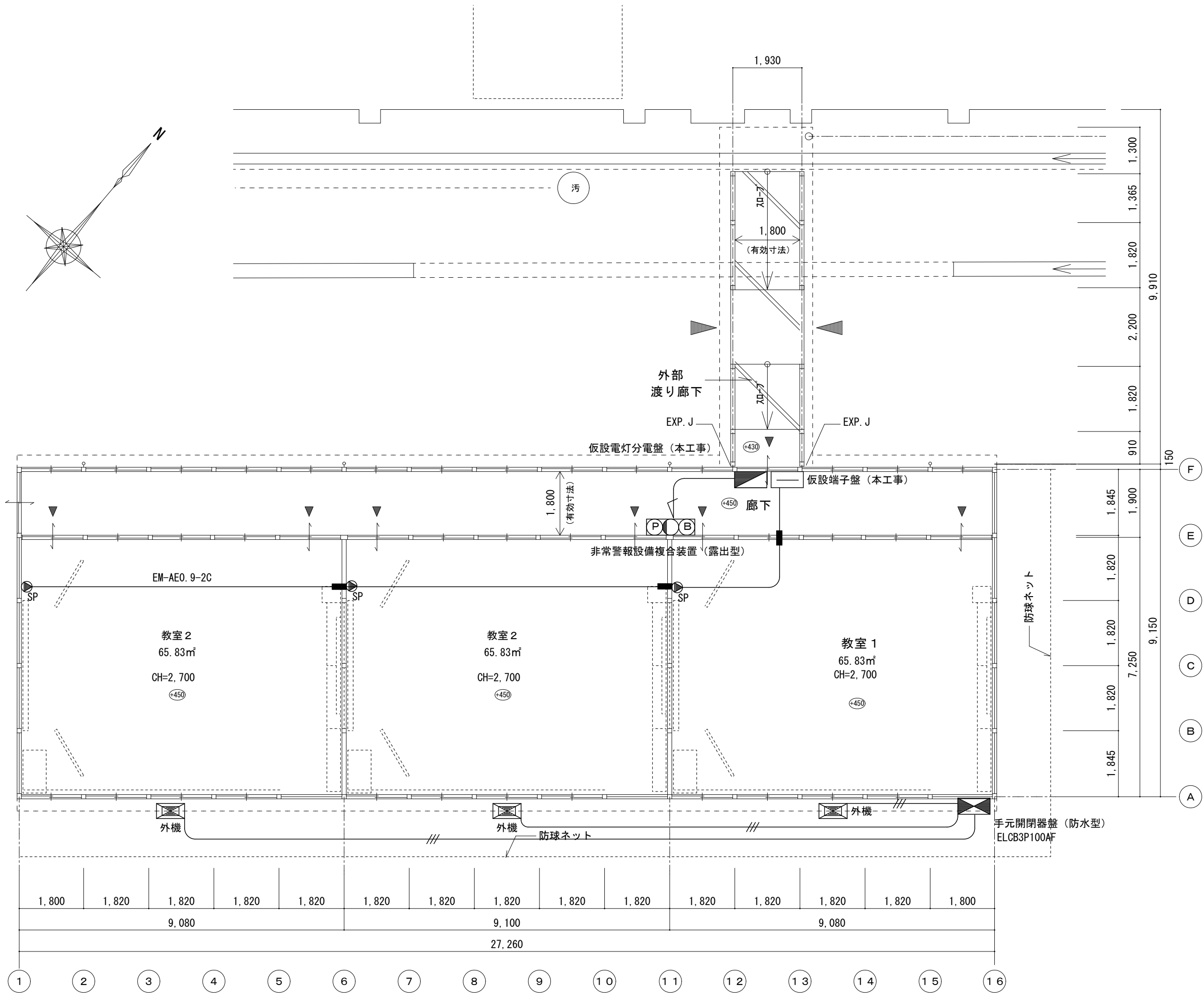


B 断面図 S=1/100

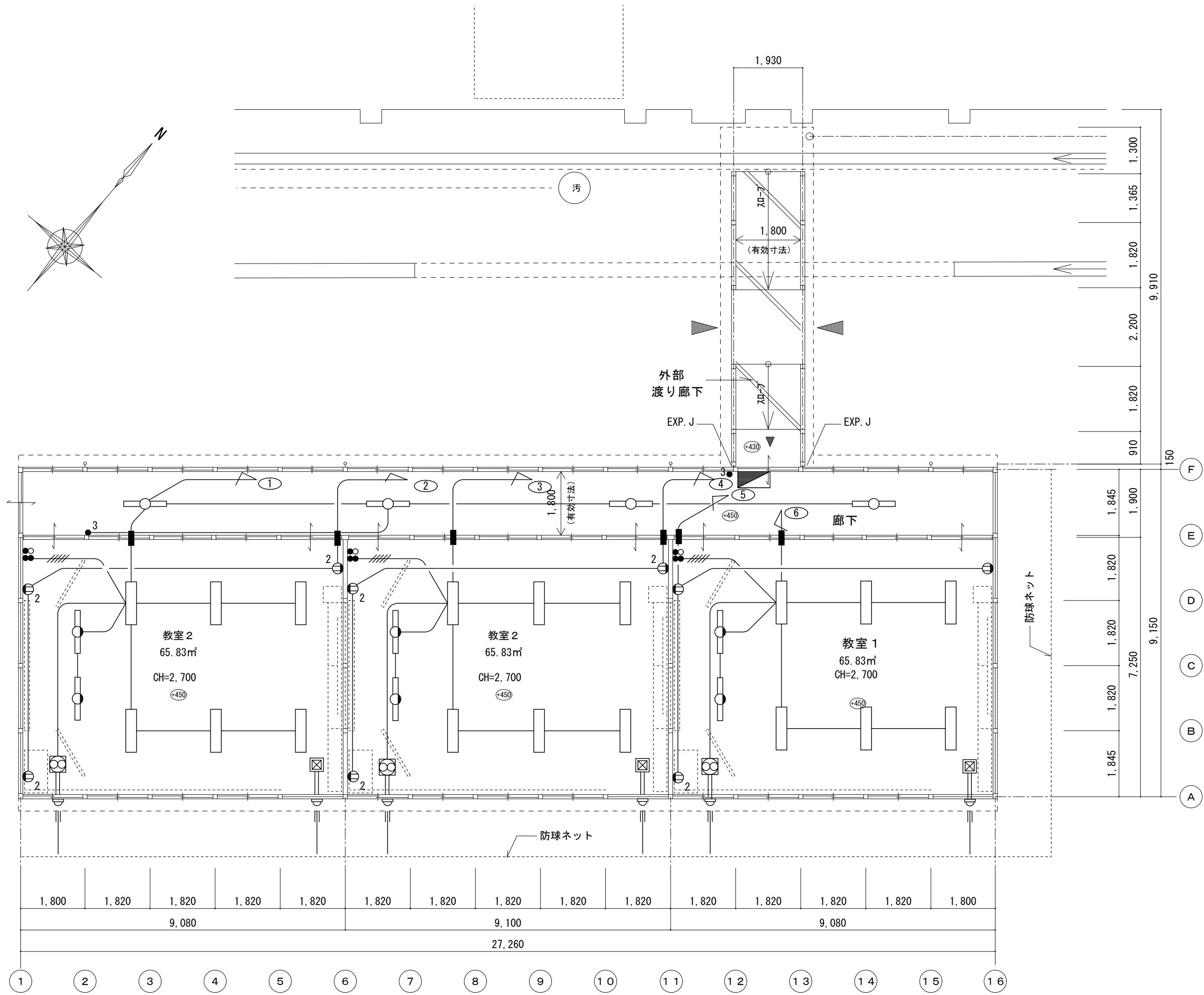
OKANO ARCHITECTS OFFICE 一級建築士事務所 有限会社 岡野設計事務所 福岡県行橋市北泉五丁目12番6号				DRAWN BY CHECKED BY		工事名称 泉中学校空調整備工事 工事場所 福岡県行橋市西泉5丁目7番1号 図面名称 仮設校舎 平面図・断面図(参考図)	DATE SCALE S=1:100	DRAWING NO. A-47
一級建築士 第114155号 義経 真治 TEL 0930-23-0412								



	OKANO ARCHITECTS OFFICE		DRAWN BY	工事名称	DATE	DRAWING NO. A-48
	一級建築士事務所			泉中学校空調整備工事		
	有限会社 岡野設計事務所		CHECKED BY	工事場所	SCALE	
	福岡県行橋市北泉五丁目12番6号			福岡県行橋市西泉5丁目7番1号	S=1:100	
	TEL 0930-23-0412			図面名称	仮設校舎 立面図・断面図(参考図)	



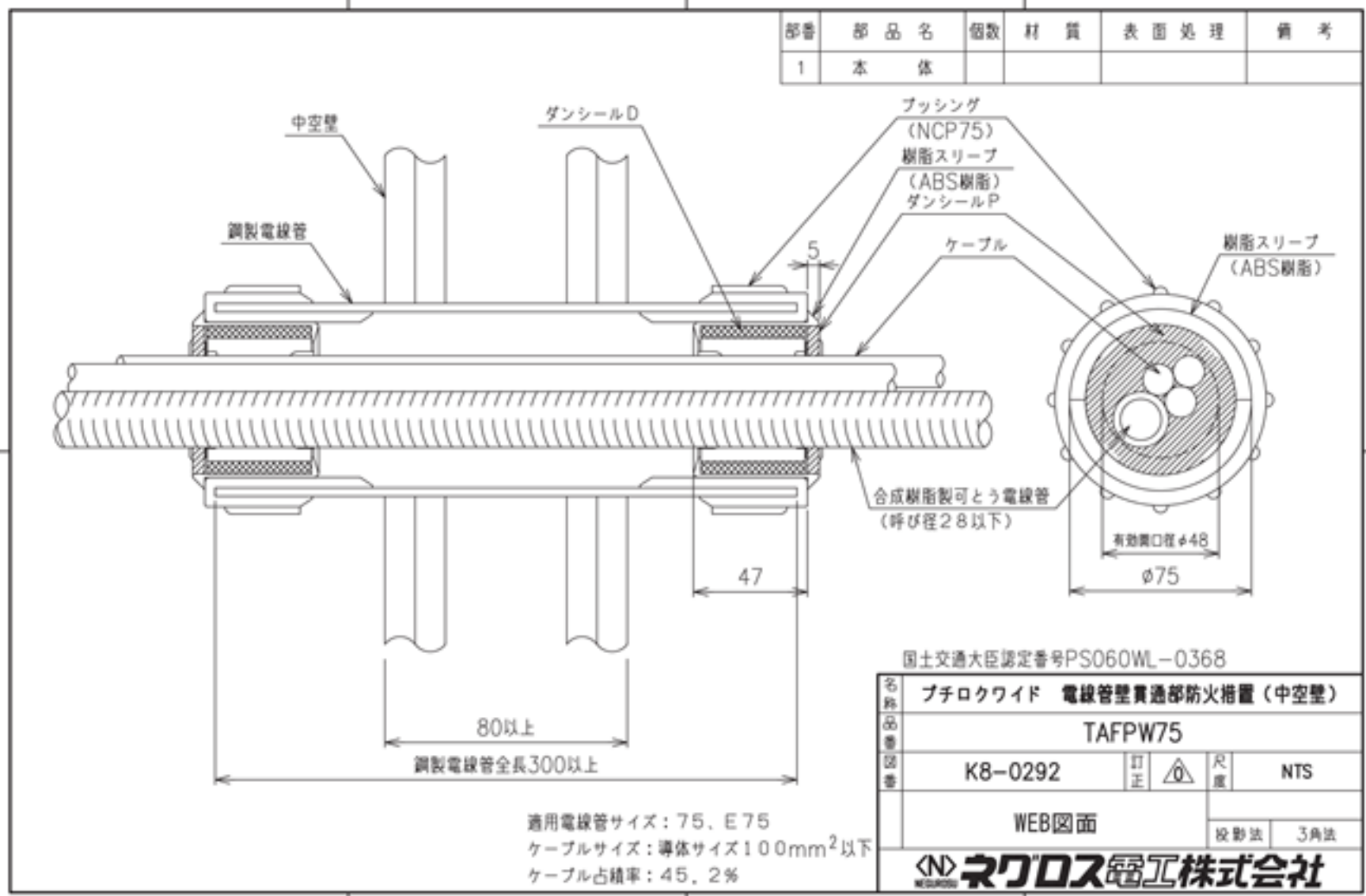
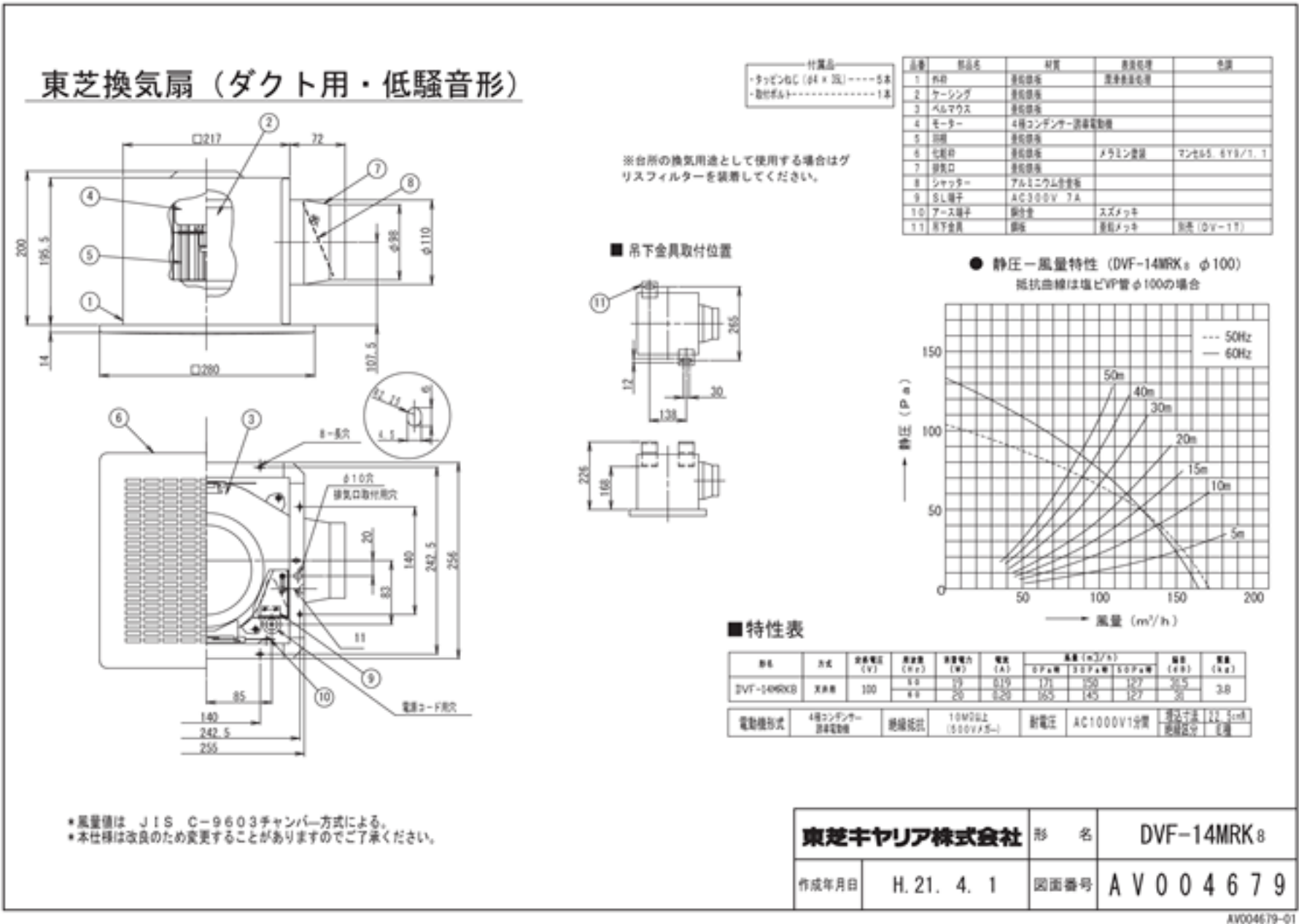
非常警報設備複合盤・放送設備・動力設備 S=1/100

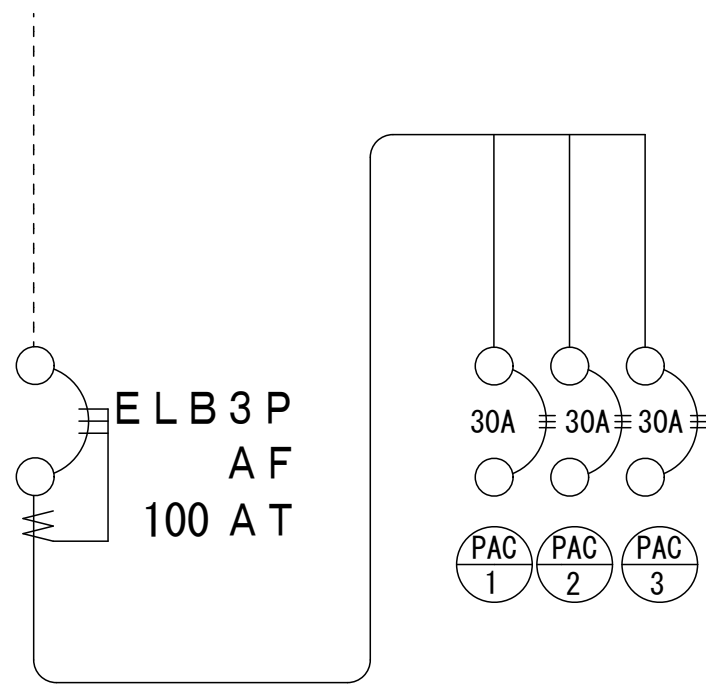


電灯・コンセント設備 S=1/100

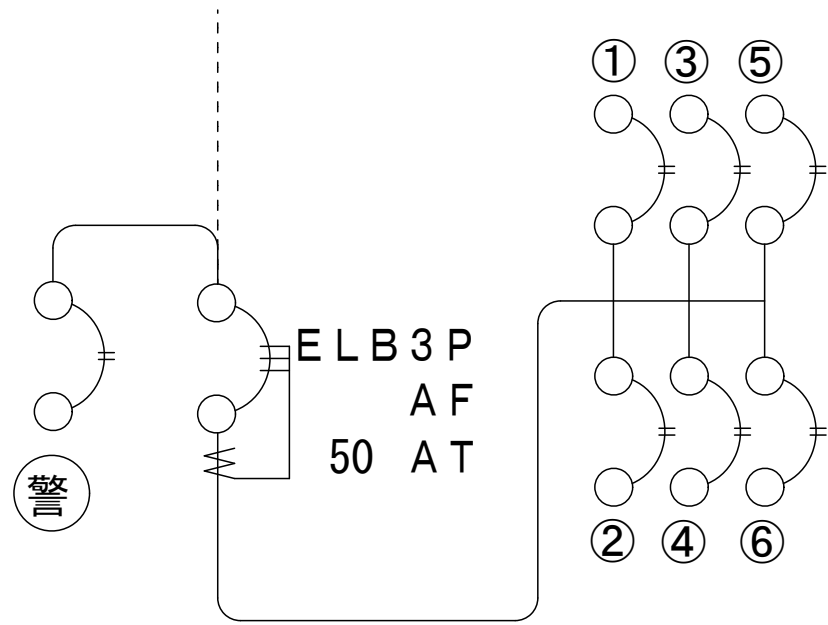
2 4 時間換気

	①	②	③	④	⑤ (③×④)	⑥	⑦ (⑥÷③)	⑧	⑨	備考
	床面積 (㎡)	天井高さ (m)	容積 (m3)	必要換気回数	必要換気量	機器風量	換気回数	換気量の判定	自然給気口	
教室1	65.83㎡	2.70	177.74	0.5回/h	88.87m3/h	165m3/h	1.86	適合	φ100×1	参考型式 DV14MRK8 (FE-1) 0A-1)
教室2	65.83㎡	2.70	177.74	0.5回/h	88.87m3/h	165m3/h	1.86	適合	φ100×1	参考型式 DV14MRK8 (FE-1) 0A-1)
教室3	65.83㎡	2.70	177.74	0.5回/h	88.87m3/h	165m3/h	1.86	適合	φ100×1	参考型式 DV14MRK8 (FE-1) 0A-1)



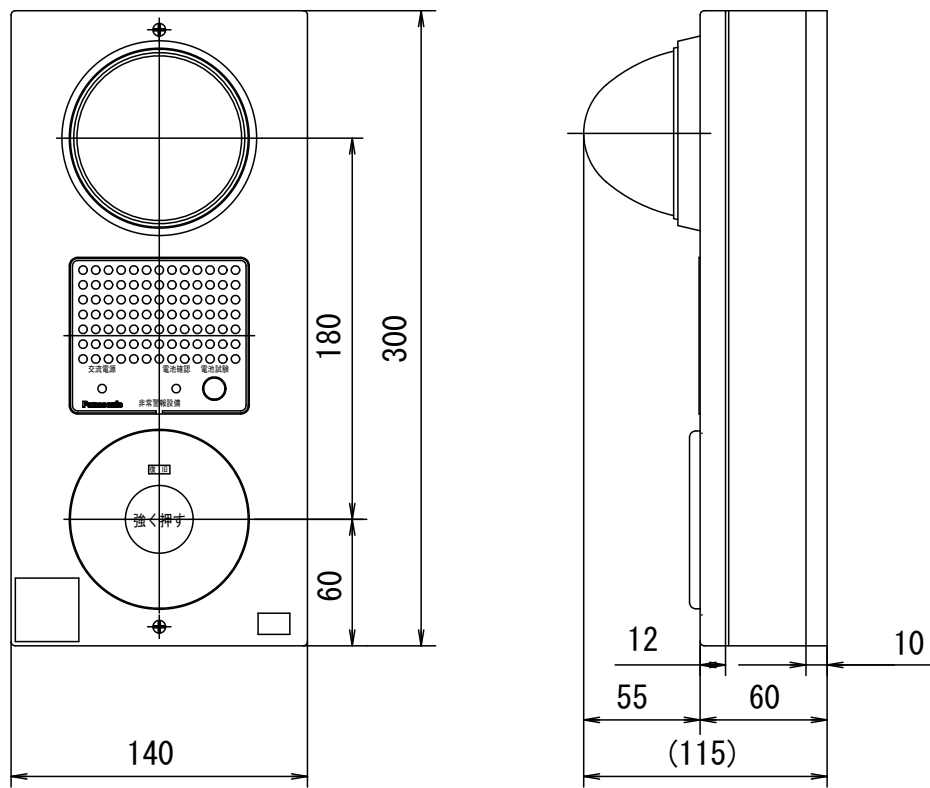


動力分電盤



電灯分電盤

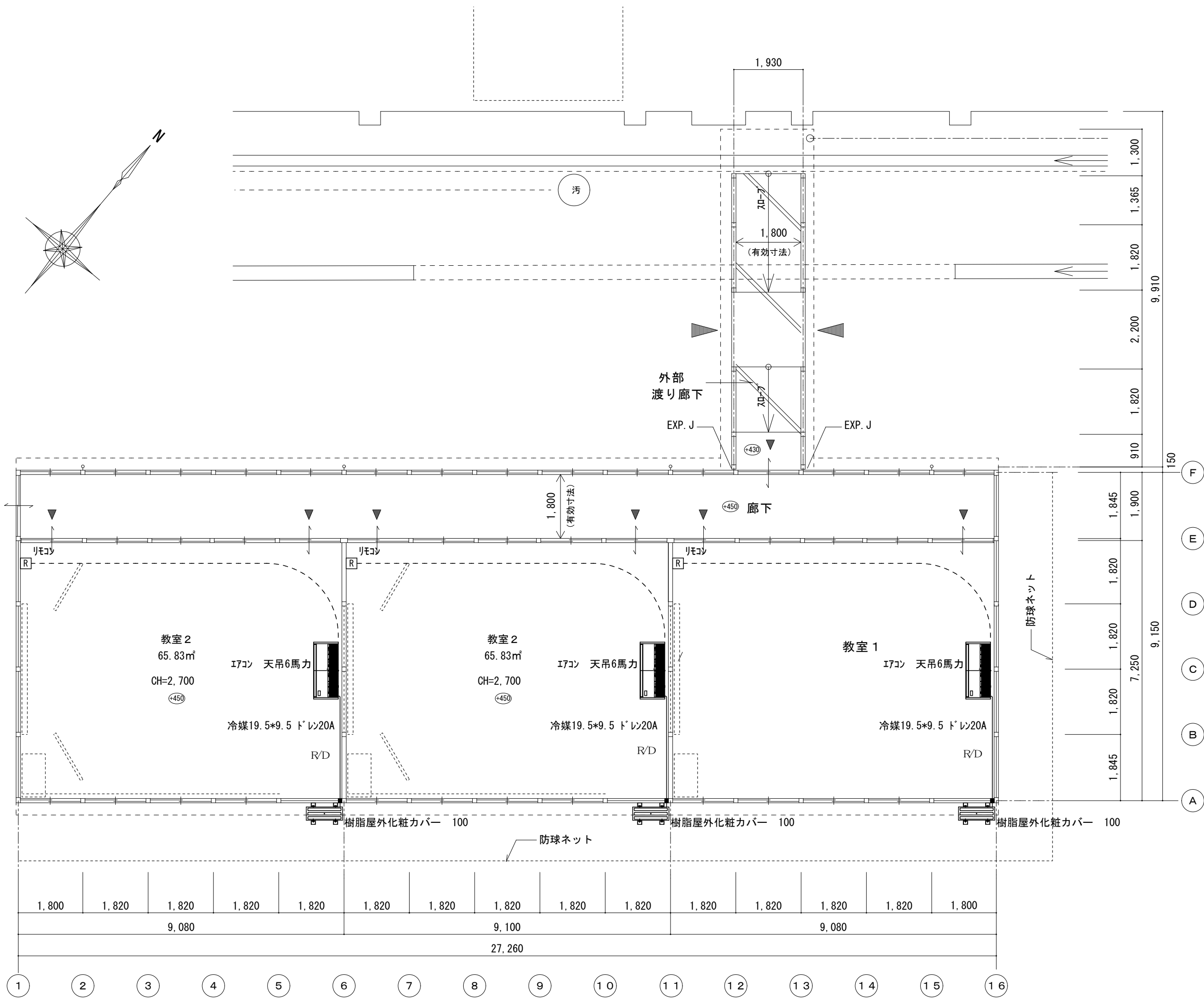
非常警報設備複合装置露出型



種別	自動式サイレン
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	警戒時最大：6.5VA 警報時最大：8.5VA
予備電源	DC6V 0.29Ah ニッケルカドニウム蓄電池
音響装置	サイレン音90dB以上 DC6V 250mA
使用周囲温度	-10～+40℃
質量	1.6kg

パナソニックBG7021H相当品

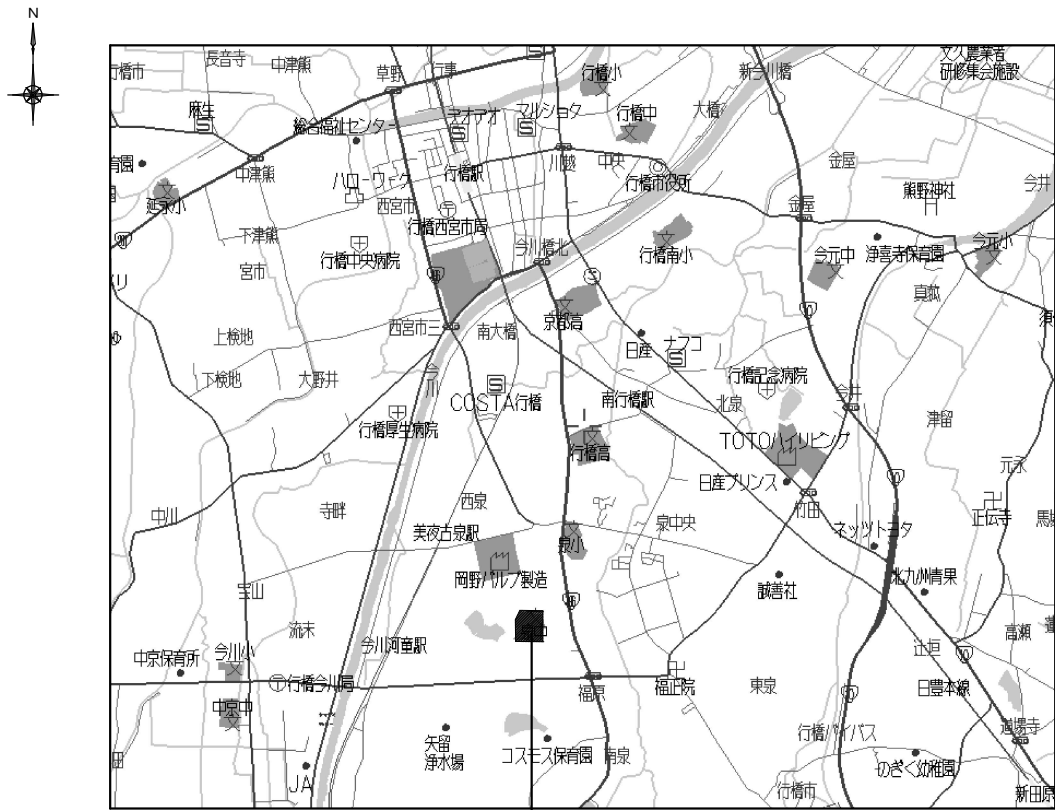
非常警報設備複合盤図



空調設備図 S=1/100

凡 例

	名 称	規 格	数量	単位	備 考
1	VVF	2.0-2C	110	m	
2	VVF	1.6-2C	250	m	
3	VVF	1.6-3C	70	m	
4	電灯分電盤		1	面	
5	Hf32W-1	V型	4	台	
6	Hf32W-1	黒板灯	6	台	
7	Hf32W-2	V型	18	台	
8	片切*3・バッド		3	個	
9	片切スイッチ*1			個	
10	防水3路スイッチ		2	個	
11	コンセント	2ヶ用	6	個	
12	コンセント	2ヶ用+テレビコンセント	3	個	
13	防火区画貫通処理材		9	個	
14	天井用換気扇	(24時間換気扇)	3	台	
15	自然給気口	φ100	3	面	
16	ベントキャップ	φ100	6	個	
17	AE	1.2-2C	60	m	
1	同軸ケーブル	S-5C-FB	70	m	
2	CV	5.5"-3C	80	m	
3	動力盤		1	面	
4	端子盤		1	面	
5	壁付スピーカー		3	台	
6	空調室外機		3	台	
7					
8					
9					

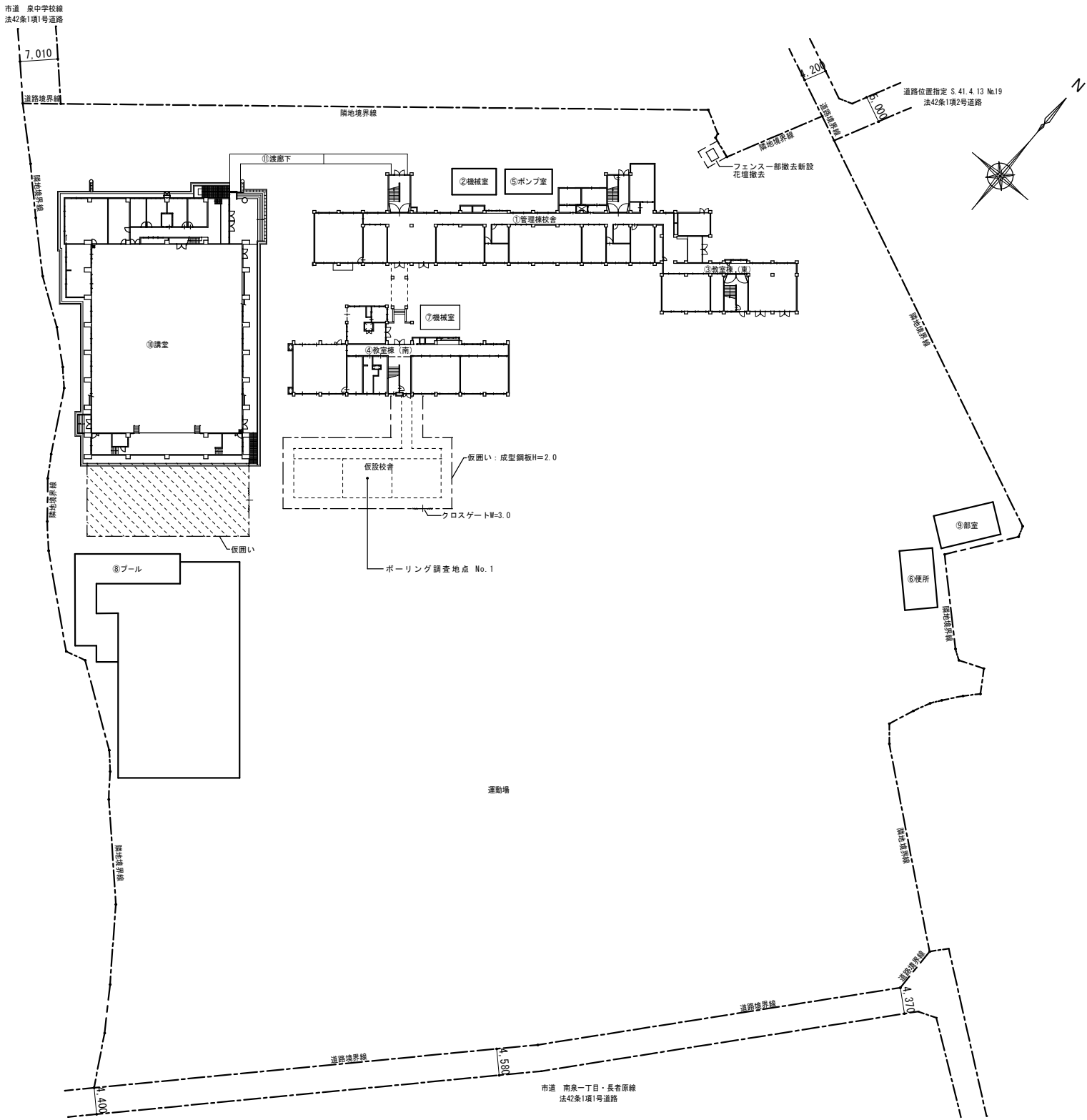


付近見取り図

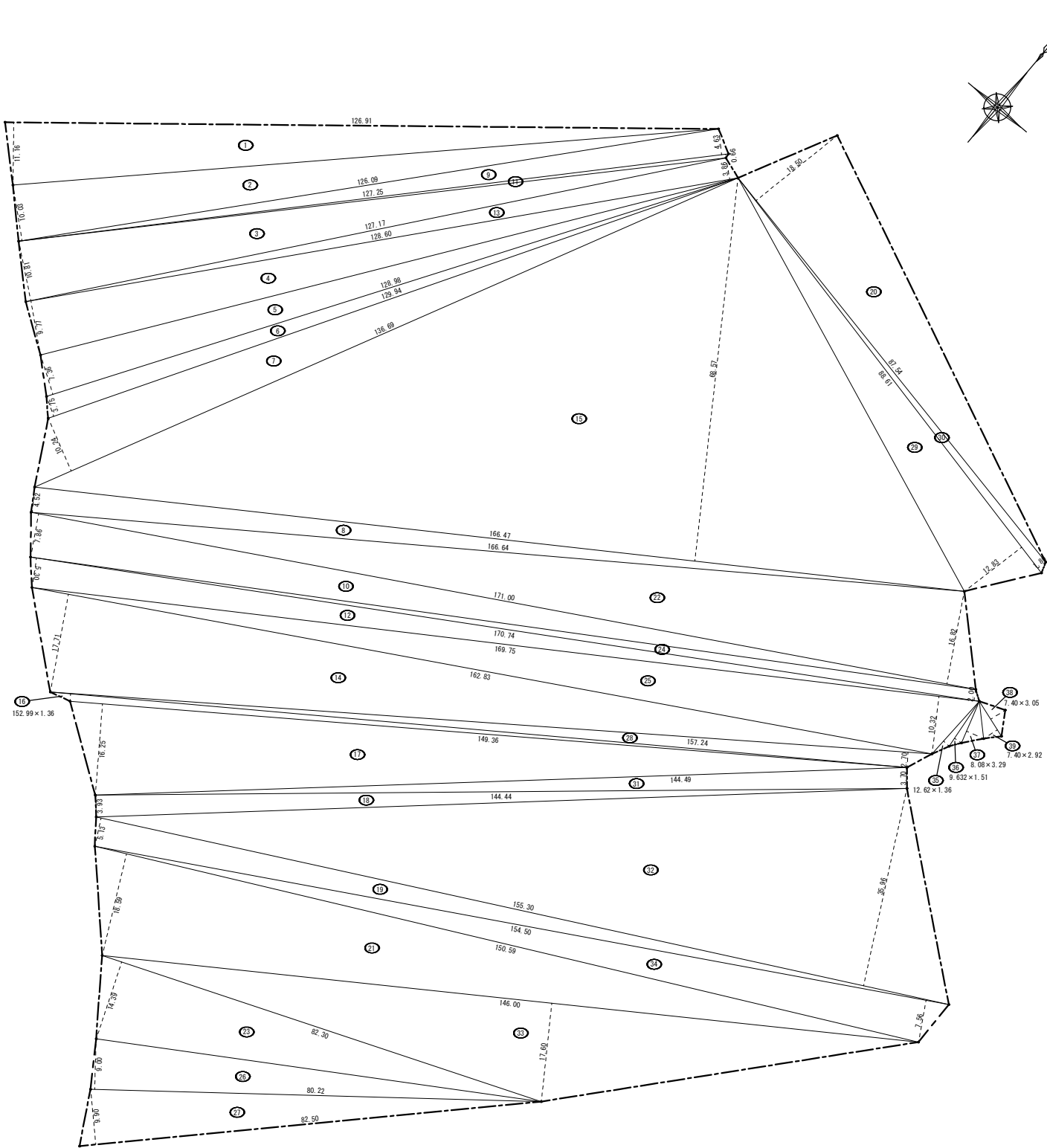
面 積 表					
棟	建物名称	建築面積 m ²	延床面積 m ²	構造	階数
①	管理教室棟	553.086	1,984.335	R C	3
②	機械室	40.000	40.000	R C	1
③	教室棟(東)	334.355	809.201	R C	3
④	教室棟(南)	495.589	1,353.904	R C	3
⑤	ポンプ室	38.250	38.250	R C	1
⑥	便所	69.490	69.490	C B	1
⑦	機械室	35.310	35.310	R C	1
⑧	プール	237.260	225.260	R C	1
⑨	部室	48.500	97.000	R C	2
⑩	講堂	1,602.310	1,502.660	R C	2
⑪	渡廊下	37.000	37.000	S	1
全体建物合計		3,491.150	6,192.410		

特記事項

※工事期間中、生徒、職員の安全に努めること。
※仮設物、仮囲い、現場事務所、等の設置場所については、施設関係者、監督員と協議して決定すること。
※敷地内の車両の通行に際しては、最徐行とし歩行者の安全に努めること。
※足場の進入口は鍵付とし、工事関係者以外の立ち入り禁止措置を行うこと。
※工事完了後は、仮囲い内の整地を行うこと。



配置図 S=1/500



敷地求積図 S=1/500

番号	底辺	高さ	倍	面積	面積
1	126.91	11.16	1.416.3156	708.15780	
2	126.09	10.03	1.264.6827	632.34135	
3	127.17	10.81	1.374.7077	687.35385	
4	128.60	9.77	1.256.4220	628.21100	
5	128.98	7.36	949.2928	474.64640	
6	129.94	3.75	487.2750	243.63750	
7	136.69	10.24	1.399.7056	699.85280	
8	166.64	4.52	753.2128	376.60640	
9	127.25	4.63	589.1675	294.58375	
10	171.00	7.86	1.344.0600	672.03000	
11	127.25	0.66	83.9850	41.99250	
12	170.74	5.30	904.9220	452.46100	
13	128.60	3.86	496.3960	248.19800	
14	162.83	17.71	2.883.7193	1,441.85965	
15	166.47	68.57	11,414.8479	5,707.42395	
16	152.99	1.36	208.0664	104.03320	
17	149.36	16.25	2,427.1000	1,213.55000	
18	144.44	3.93	567.6492	283.82460	
19	155.30	5.13	796.6890	398.34450	
20	87.54	18.50	1,619.4900	809.74500	
21	150.59	18.59	2,799.4681	1,399.73405	
22	171.00	16.82	2,876.2200	1,438.11000	
23	82.30	14.39	1,184.2970	592.14850	
24	170.74	2.00	341.4800	170.74000	
25	169.75	10.32	1,751.8200	875.91000	
26	80.22	9.00	721.9800	360.99000	
27	82.50	9.90	816.7500	408.37500	
28	157.24	2.70	424.5480	212.27400	
29	88.61	12.83	1,136.8663	568.43315	
30	88.61	1.80	159.4980	79.74900	
31	144.49	3.70	534.6130	267.30650	
32	155.30	35.96	5,584.5880	2,792.29400	
33	146.00	17.60	2,569.6000	1,284.80000	
34	154.50	7.56	1,168.0200	584.01000	
35	12.62	1.36	17.1632	8.58160	
36	9.63	1.51	14.5413	7.27065	
37	8.08	3.29	26.5832	13.29160	
38	7.40	3.05	22.5700	11.28500	
39	7.40	2.92	21.6080	10.80400	
合計				27,204.96030	
敷地面積				27,204.96 m²	

